

吉岡町国民健康保険
第2期データヘルス計画書
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月
吉岡町

第1章 保険者の特性把握と分析結果	
1. 分析の背景	5
2. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
3. 医療情報分析結果	19
(1) 基礎統計	19
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	20
① 高額レセプトの件数及び割合	20
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	21
(3) 疾病別医療費	23
① 大分類による疾病別医療費統計	23
② 中分類による疾病別医療費統計	25
(4) 生活習慣病に係る医療費	32
第2章 第2期データヘルス計画	
1. 計画策定について	35
(1) 背景	35
(2) 計画期間	35
(3) 基本方針	36
(4) データヘルス計画の位置づけ	37
(5) 実施体制・関係者連携	37
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	39
3. 保健事業実施に係る分析結果	41
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	41
(2) 特定健康診査に係る分析	42
(3) 特定保健指導に係る分析	44
(4) 健診異常値放置者に係る分析	46
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	48
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	50
(7) 受診行動適正化に係る分析	54
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	57
(9) 薬剤併用禁忌に係る分析	59
(10) 服薬情報に係る分析	61
4. 分析結果に基づく健康課題の把握	63
(1) 分析結果	63
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	66
5. 保健事業実施計画	67

	(1) 各事業の目的と概要一覧	67
	(2) 全体スケジュール	69
	(3) 各事業の実施内容と評価方法	70
	① 特定健康診査受診勧奨事業	70
	② 特定保健指導事業	72
	③ 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	73
	④ ジェネリック医薬品差額通知事業	74
	⑤ 健診異常値放置者受診勧奨事業	76
	⑥ 糖尿病性腎症重症化予防事業	78
	⑦ 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	79
	6. その他	81
	(1) データヘルス計画の見直し	81
	① 評価	81
	② 評価時期	81
	(2) 計画の公表・周知	81
	(3) 個人情報の取り扱い	82
	(4) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	82
第3章	第3期特定健康診査等実施計画	
	1. 計画策定にあたって	85
	(1) 計画策定の趣旨	85
	(2) 特定健康診査等実施計画の位置づけ	85
	(3) 計画期間	86
	2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況	87
	(1) 特定健康診査の受診率	87
	(2) 特定保健指導の実施率	88
	3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み	91
	4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果	92
	(1) 特定健康診査結果の分析	92
	① 有所見者割合	92
	② 質問別回答状況	95
	③ 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	98
	(2) 特定保健指導の効果分析	99
	(3) 特定保健指導対象者の分析	101
	① 保健指導レベル該当状況	101
	② 特定保健指導リスク因子別該当状況	104
	③ 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較	106
	5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策	108
	6. 特定健康診査等実施計画	109
	(1) 目標	109
	(2) 対象者数推計	109
	① 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み	109
	② 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み	110

第1章 保険者の特性把握と分析結果

1. 分析の背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」としている。また、データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。

本分析では「人口構成」「特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況」「介護保険の状況」「主たる死因の状況」等により保険者の特性を把握し、さらに健康・医療情報の分析結果を踏まえ、様々な角度から吉岡町国民健康保険の現状を分析し、課題の洗い出しを行う。これら結果を受け、対策が必要と判断した課題に対し、データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画にて策定した事業の実施に活用することとする。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料など)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトデータ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

2. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は19.6%であり、県との比較で0.8倍、同規模との比較で0.9倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は4,688人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は23.9%である。国民健康保険被保険者平均年齢は50.2歳である。

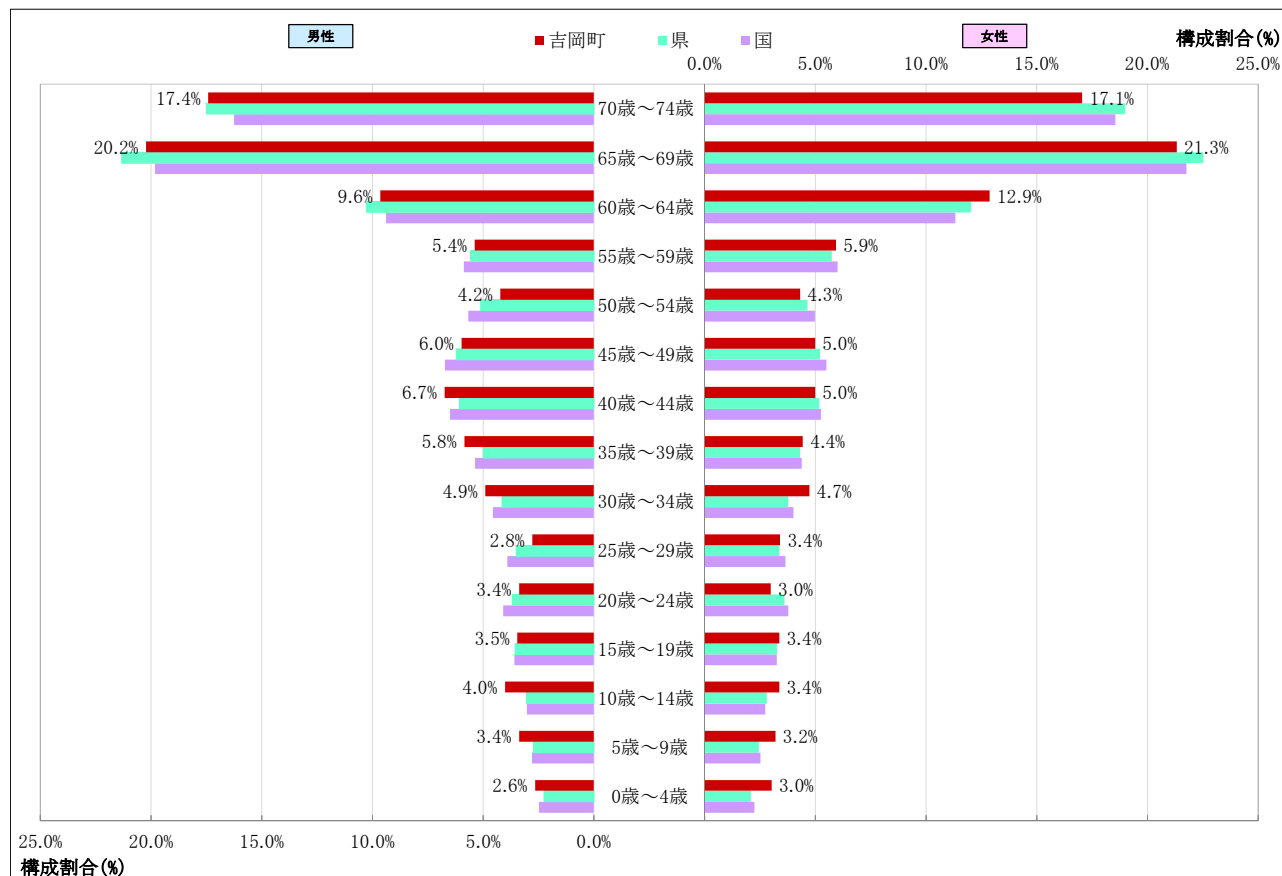
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
吉岡町	19,654	19.6%	4,688	23.9%	50.2	5.4%	4.7%
県	1,959,150	23.9%	529,107	27.0%	51.5	9.2%	11.6%
同規模	28,645	22.9%	7,305	25.1%	52.6	8.8%	9.5%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は群馬県を指す。以下すべての表において同様である。

出典: 国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

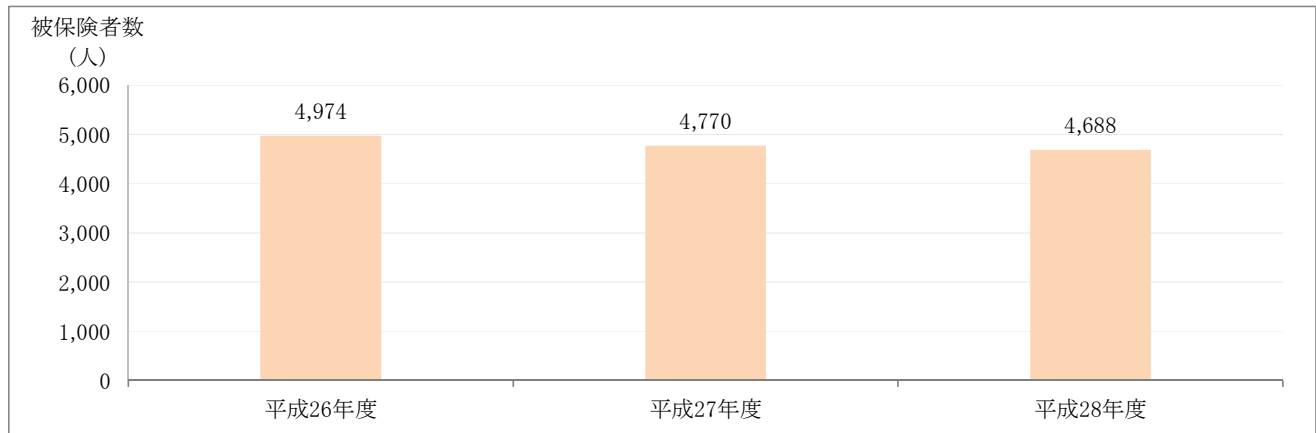
男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

年度別被保険者数を年度別に示す。

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示す。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位:人

年齢階層	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	147	60	87	130	54	76	133	62	71
5歳～9歳	157	85	72	144	80	64	154	79	75
10歳～14歳	171	85	86	166	87	79	173	94	79
15歳～19歳	183	99	84	161	86	75	160	81	79
20歳～24歳	149	73	76	149	78	71	149	79	70
25歳～29歳	191	95	96	162	68	94	145	65	80
30歳～34歳	268	138	130	241	133	108	226	115	111
35歳～39歳	256	132	124	237	131	106	241	137	104
40歳～44歳	271	152	119	260	149	111	275	158	117
45歳～49歳	265	143	122	244	129	115	257	140	117
50歳～54歳	249	132	117	241	120	121	200	99	101
55歳～59歳	288	131	157	272	133	139	265	126	139
60歳～64歳	618	265	353	582	251	331	528	226	302
65歳～69歳	915	463	452	973	491	482	974	474	500
70歳～74歳	846	426	420	808	407	401	808	408	400
合計	4,974	2,479	2,495	4,770	2,397	2,373	4,688	2,343	2,345

出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本町の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	吉岡町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.2	0.3
診療所数	3.0	2.9	2.5	3.0
病床数	105.4	46.5	44.6	46.8
医師数	6.0	8.5	7.5	9.2
外来患者数	719.3	678.3	692.6	668.3
入院患者数	18.5	18.2	19.6	18.2
受診率	737.8	696.5	712.3	686.5
一件当たり医療費(円)	34,010	33,970	35,950	35,330
一般(円)	33,830	33,940	35,900	35,270
退職(円)	39,760	35,210	37,560	37,860
外来				
外来費用の割合	59.6%	59.9%	59.2%	60.1%
外来受診率	719.3	678.3	692.6	668.3
一件当たり医療費(円)	20,780	20,890	21,900	21,820
一人当たり医療費(円)	14,950	14,170	15,170	14,580
一日当たり医療費(円)	13,020	13,590	13,980	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	40.4%	40.1%	40.8%	39.9%
入院率	18.5	18.2	19.6	18.2
一件当たり医療費(円)	548,230	520,350	531,770	531,780
一人当たり医療費(円)	10,150	9,490	10,440	9,670
一日当たり医療費(円)	32,690	32,390	33,620	34,030
一件当たり在院日数	16.8	16.1	15.8	15.6

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

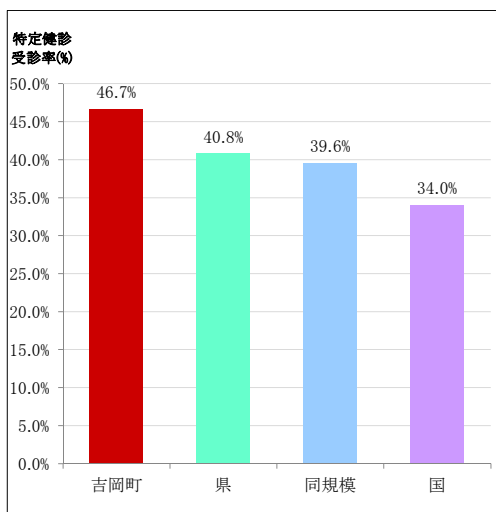
本町の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
吉岡町	46.7%
県	40.8%
同規模	39.6%
国	34.0%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

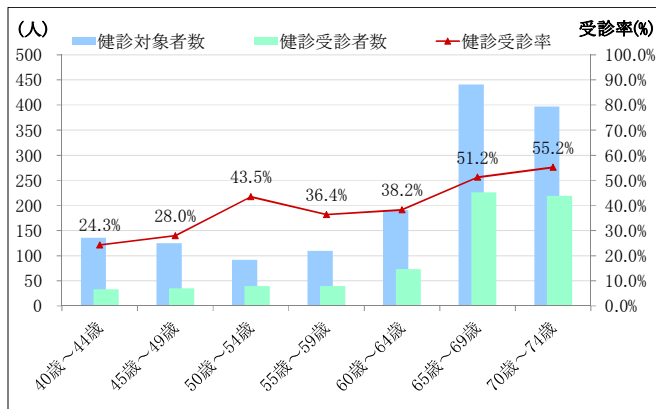
特定健康診査受診率(平成28年度)



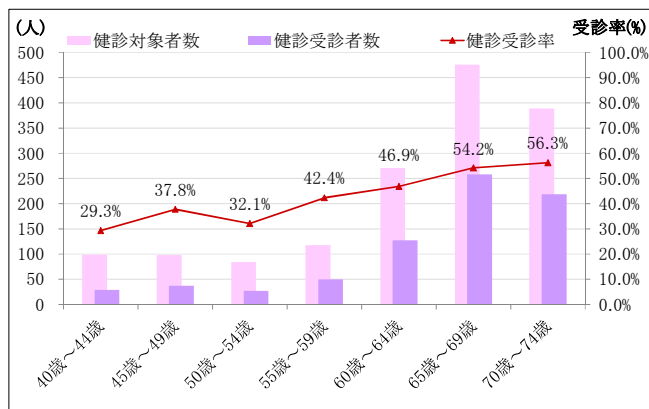
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

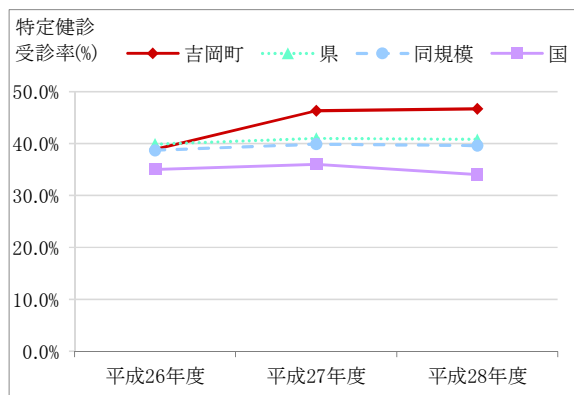
本町の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率46.7%は平成26年度38.9%より7.8ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
吉岡町	38.9%	46.3%	46.7%
県	39.9%	41.0%	40.8%
同規模	38.7%	39.9%	39.6%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

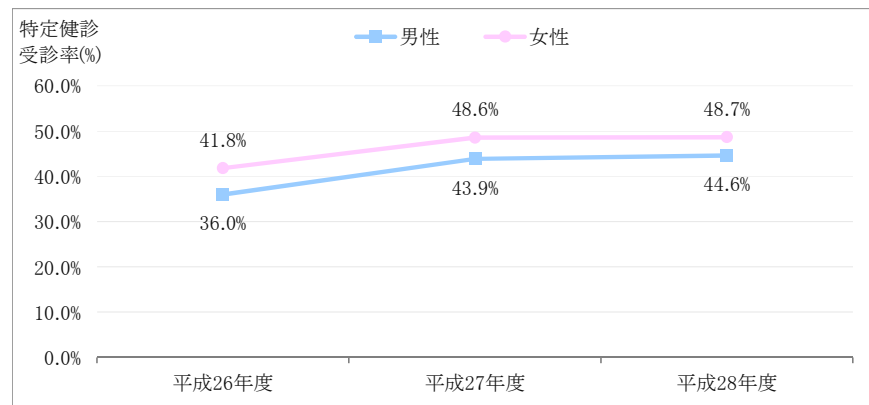
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率44.6%は平成26年度36.0%より8.6ポイント上昇し、女性の平成28年度受診率48.7%は平成26年度41.8%より6.9ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

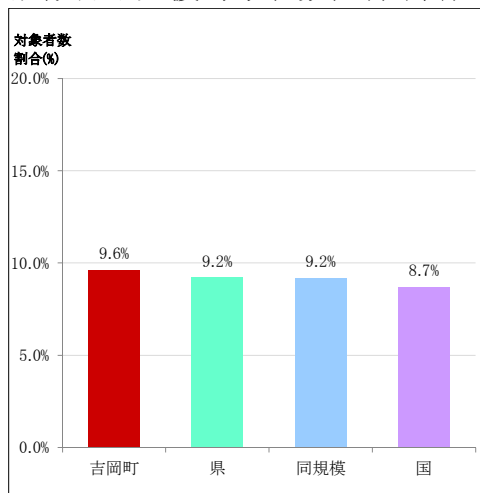
本町の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
吉岡町	9.6%	3.5%	13.2%	33.9%
県	9.2%	2.9%	12.2%	12.7%
同規模	9.2%	3.1%	12.3%	34.6%
国	8.7%	3.2%	11.9%	22.7%

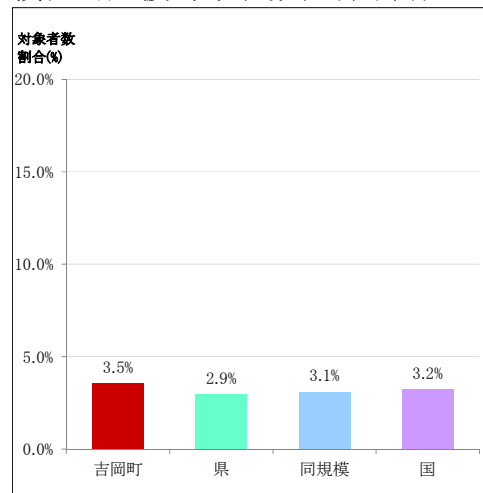
動機付け支援対象者割合・積極的支援対象者割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



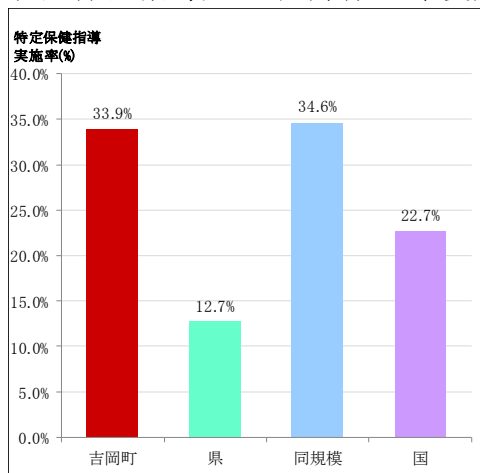
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率33.9%は平成26年度37.7%より3.8ポイント減少している。

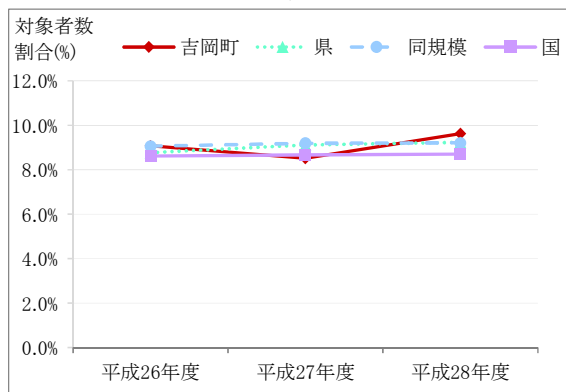
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
吉岡町	9.1%	8.5%	9.6%	3.2%	3.5%	3.5%	12.3%	12.0%	13.2%	37.7%	35.5%	33.9%
県	8.8%	9.1%	9.2%	3.1%	3.0%	2.9%	11.8%	12.2%	12.2%	11.4%	11.9%	12.7%
同規模	9.1%	9.2%	9.2%	3.2%	3.1%	3.1%	12.3%	12.3%	12.3%	32.7%	32.8%	34.6%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	22.7%

動機付け支援対象者割合・積極的支援対象者割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

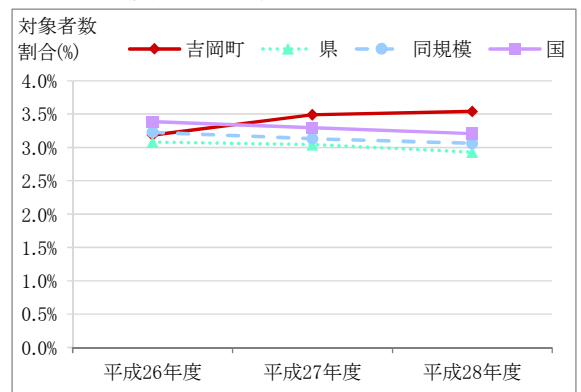
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



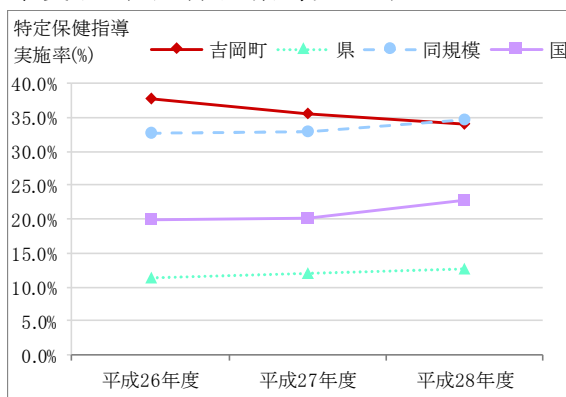
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

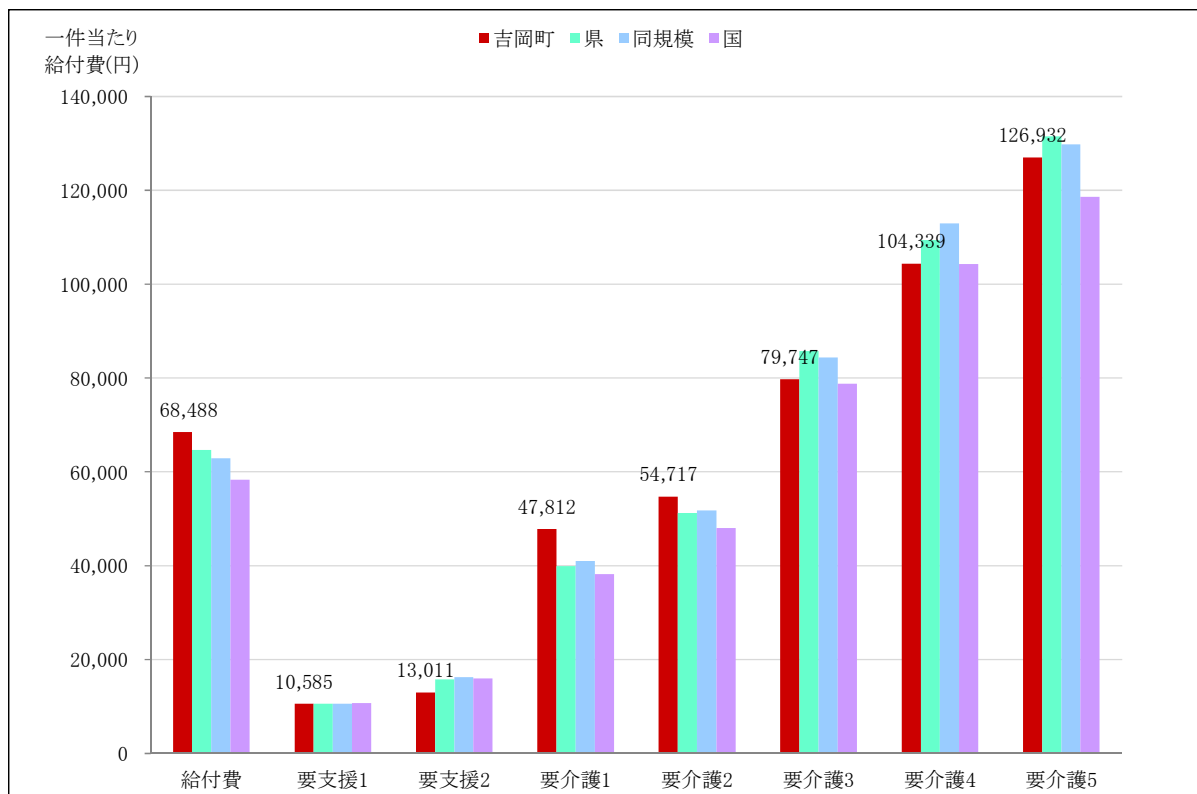
本町の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	吉岡町	県	同規模	国
認定率	19.3%	20.4%	19.5%	21.2%
認定者数(人)	773	98,986	219,963	6,034,085
第1号(65歳以上)	747	96,452	214,190	5,882,340
第2号(40～64歳)	26	2,534	5,773	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	68,488	64,608	62,877	58,349
要支援1	10,585	10,625	10,587	10,730
要支援2	13,011	15,779	16,246	15,996
要介護1	47,812	39,947	41,021	38,200
要介護2	54,717	51,230	51,806	48,047
要介護3	79,747	85,707	84,324	78,791
要介護4	104,339	109,422	112,925	104,264
要介護5	126,932	131,496	129,730	118,599

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

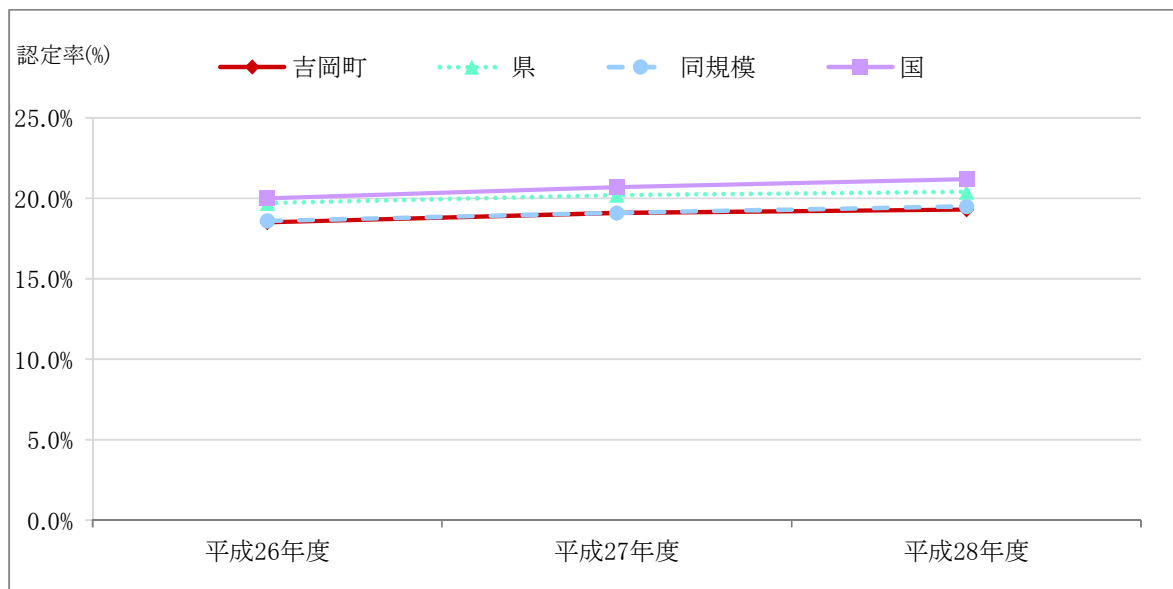
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率19.3%は平成26年度18.5%より0.8ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数773人は平成26年度736人より37人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
吉岡町	平成26年度	18.5%	736	714	22
	平成27年度	19.1%	776	749	27
	平成28年度	19.3%	773	747	26
県	平成26年度	19.7%	96,541	93,813	2,728
	平成27年度	20.2%	97,610	95,031	2,579
	平成28年度	20.4%	98,986	96,452	2,534
同規模	平成26年度	18.6%	217,861	211,550	6,311
	平成27年度	19.1%	215,880	209,996	5,884
	平成28年度	19.5%	219,963	214,190	5,773
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると2,212人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

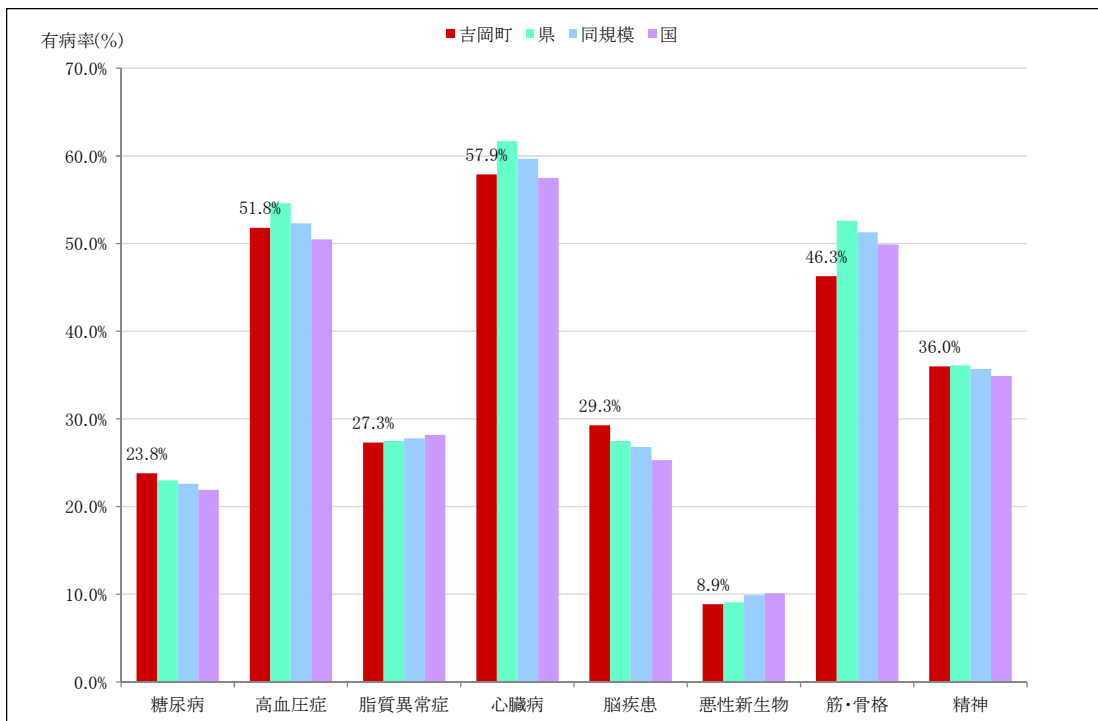
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	吉岡町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	773		98,986		219,963		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	181	23,071		50,596		1,343,240	
	有病率	23.8%	23.0%		22.6%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	411	54,722		116,354		3,085,109	
	有病率	51.8%	54.6%		52.3%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	215	27,764		62,322		1,733,323	
	有病率	27.3%	27.5%		27.8%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	460	61,734		132,584		3,511,354	
	有病率	57.9%	61.7%		59.7%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	222	27,349		59,279		1,530,506	
	有病率	29.3%	27.5%		26.8%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	71	9,141		22,271		629,053	
	有病率	8.9%	9.1%		9.9%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	368	52,689		114,209		3,051,816	
	有病率	46.3%	52.6%		51.3%		49.9%	
精神	実人数(人)	284	36,460		79,819		2,141,880	
	有病率	36.0%	36.1%		35.7%		34.9%	

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本町の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

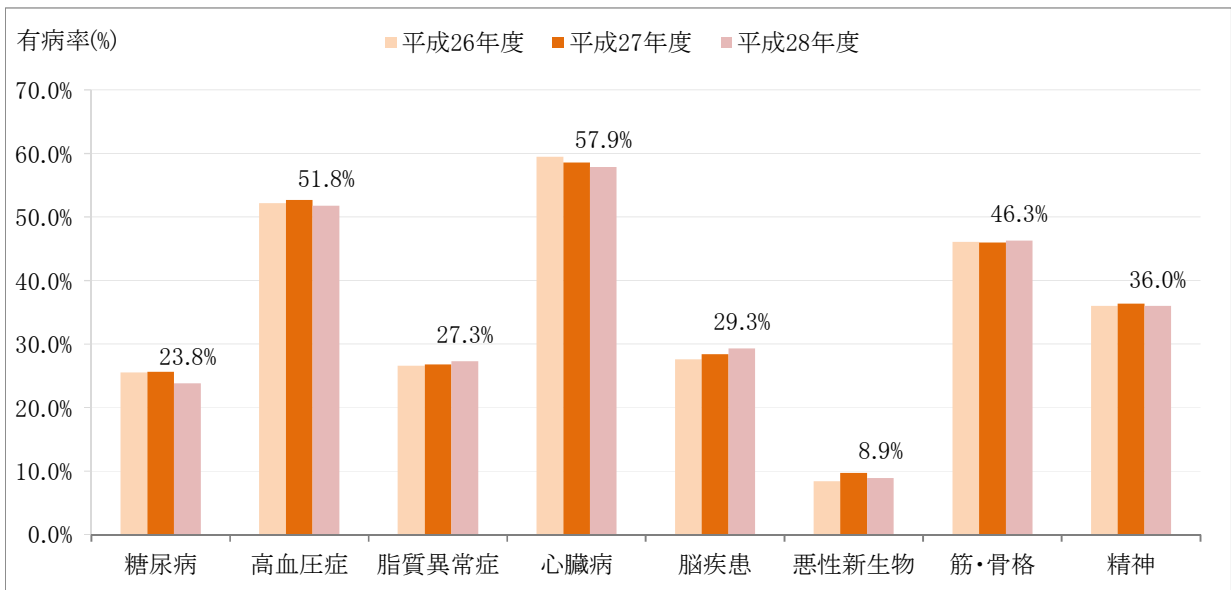
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	吉岡町			県			同規模			国						
	平成26年度 順位	平成27年度 順位	平成28年度 順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
認定者数(人)	736	776	773	96,541	97,610	98,986	217,861	215,880	219,963	5,324,880	5,751,982	6,034,085				
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	182 25.5%	7 2	201 25.6%	7 2	181 23.8%	7 2	22,145 22.7%	22,758 22.9%	23,071 23.0%	46,691 20.8%	48,753 22.3%	50,596 22.6%	1,089,285 20.3%	1,241,024 21.4%	1,343,240 21.9%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	391 52.2%	2 2	413 52.7%	2 2	411 51.8%	2 2	52,651 54.2%	54,026 54.7%	54,722 54.6%	108,699 48.6%	113,278 51.8%	116,354 52.3%	2,551,660 47.9%	2,865,466 49.7%	3,085,109 50.5%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	210 26.6%	6 6	218 26.8%	6 6	215 27.3%	6 6	25,869 26.2%	26,998 27.0%	27,764 27.5%	56,669 25.2%	59,801 27.2%	62,322 27.8%	1,386,541 25.7%	1,586,963 27.3%	1,733,323 28.2%
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	443 59.5%	1 1	464 58.6%	1 1	460 57.9%	1 1	59,535 61.4%	60,988 61.8%	61,734 61.7%	124,434 55.7%	129,132 59.3%	132,584 59.7%	2,914,608 54.8%	3,261,576 56.7%	3,511,354 57.5%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	218 27.6%	5 5	233 28.4%	5 5	222 29.3%	5 5	27,244 28.4%	27,503 28.0%	27,349 27.5%	57,749 26.0%	58,564 27.1%	59,279 26.8%	1,324,669 25.2%	1,455,985 25.4%	1,530,506 25.3%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	67 8.4%	8 8	75 9.7%	8 8	71 8.9%	8 8	8,581 8.7%	9,024 9.0%	9,141 9.1%	20,426 9.1%	21,325 9.8%	22,271 9.9%	493,808 9.2%	569,967 9.8%	629,053 10.1%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	334 46.1%	3 3	362 46.0%	3 3	368 46.3%	3 3	50,279 51.6%	51,633 52.3%	52,689 52.6%	105,856 47.4%	110,477 50.6%	114,209 51.3%	2,505,146 47.1%	2,813,795 48.9%	3,051,816 49.9%
精神	実人数(人) 有病率(%)	269 36.0%	4 4	280 36.4%	4 4	284 36.0%	4 4	34,115 34.9%	35,481 35.7%	36,460 36.1%	73,791 32.8%	76,887 35.1%	79,819 35.7%	1,720,172 32.2%	1,963,213 33.8%	2,141,880 34.9%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

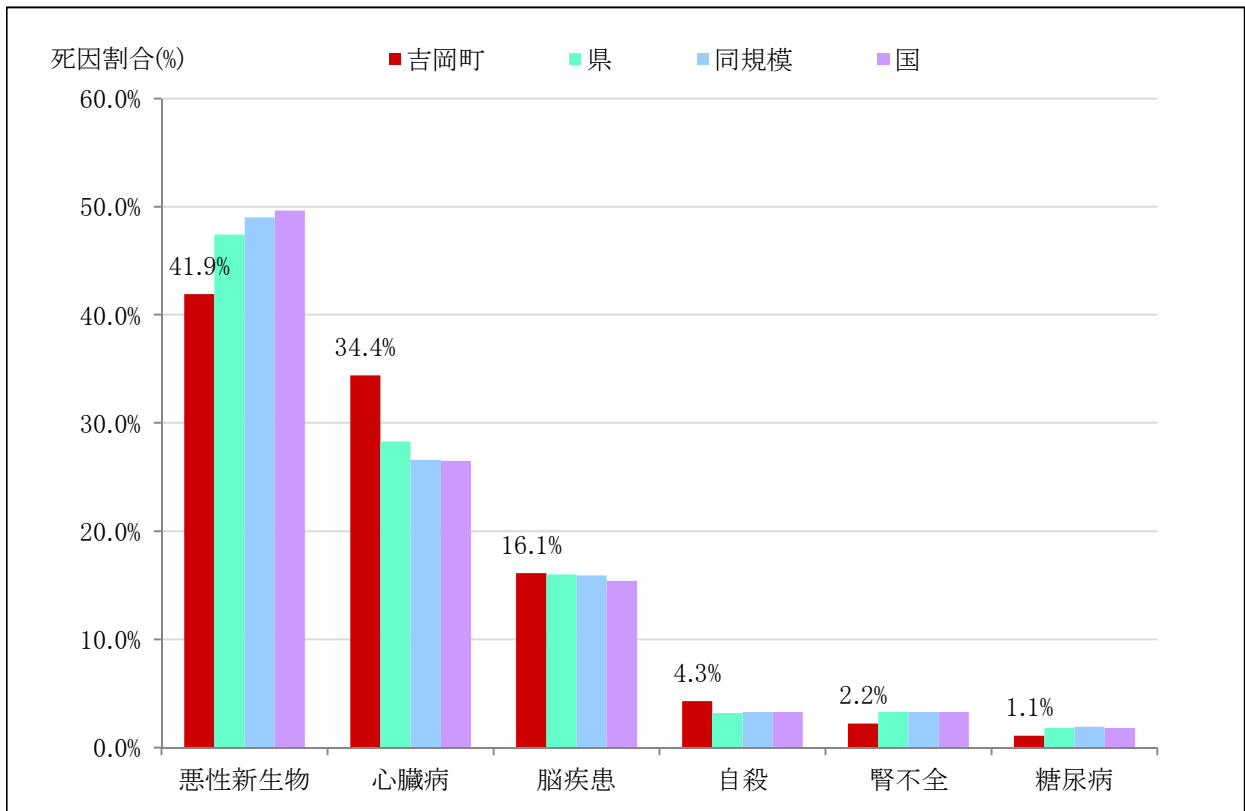
本町の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	吉岡町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	39	41.9%	47.4%	49.0%	49.6%
心臓病	32	34.4%	28.3%	26.6%	26.5%
脳疾患	15	16.1%	16.0%	15.9%	15.4%
自殺	4	4.3%	3.2%	3.3%	3.3%
腎不全	2	2.2%	3.3%	3.3%	3.3%
糖尿病	1	1.1%	1.8%	1.9%	1.8%
合計	93				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

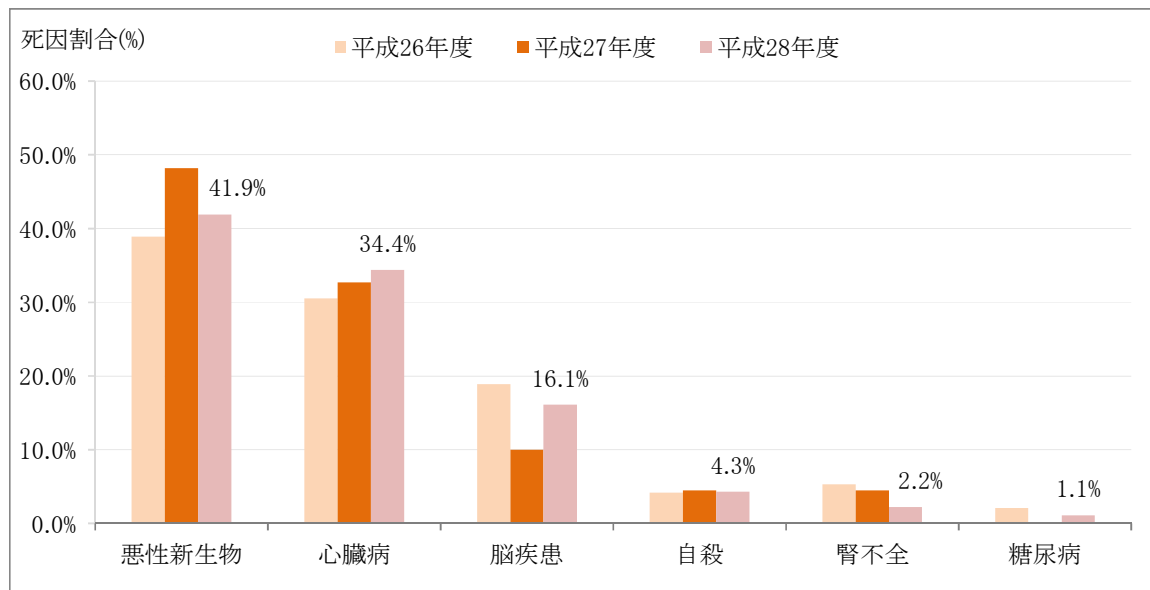
本町の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物39人は平成26年度37人より2人増加しており、心臓病32人は平成26年度29人より3人増加している。また、脳疾患15人は平成26年度18人より3人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	吉岡町						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	37	53	39	38.9%	48.2%	41.9%	46.3%	47.4%	47.4%	47.3%	48.7%	49.0%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	29	36	32	30.5%	32.7%	34.4%	26.5%	26.7%	28.3%	27.2%	26.3%	26.6%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	18	11	15	18.9%	10.0%	16.1%	17.8%	17.1%	16.0%	16.7%	16.3%	15.9%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	4	5	4	4.2%	4.5%	4.3%	3.7%	3.9%	3.2%	3.5%	3.5%	3.3%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	5	5	2	5.3%	4.5%	2.2%	3.0%	3.0%	3.3%	3.3%	3.5%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	2	0	1	2.1%	0.0%	1.1%	2.6%	1.9%	1.8%	2.0%	1.8%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	95	110	93												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、吉岡町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均4,706人、レセプト件数は平均5,284件、患者数は平均2,421人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均49,300円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	4,789	4,716	4,722	4,728	4,725	4,722	4,704	
B	レセプト件数(件)	入院外	3,433	3,393	3,489	3,382	3,354	3,406	3,472
		入院	86	73	73	89	85	89	91
		調剤	1,807	1,786	1,771	1,752	1,753	1,757	1,823
		合計	5,326	5,252	5,333	5,223	5,192	5,252	5,386
C	医療費(円) ※	126,194,040	111,608,480	113,308,380	115,559,980	127,289,540	118,886,960	117,357,450	
D	患者数(人) ※	2,485	2,431	2,434	2,372	2,388	2,420	2,436	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,351	23,666	23,996	24,442	26,940	25,177	24,948	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,694	21,251	21,247	22,125	24,516	22,637	21,789	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	50,782	45,911	46,552	48,718	53,304	49,127	48,176	
B/A	受診率(%)	111.2%	111.4%	112.9%	110.5%	109.9%	111.2%	114.5%	
D/A	有病率(%)	51.9%	51.5%	51.5%	50.2%	50.5%	51.2%	51.8%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	4,684	4,659	4,671	4,681	4,671	4,706		
B	レセプト件数(件)	入院外	3,463	3,435	3,287	3,240	3,485	3,403	40,839
		入院	91	102	89	99	88	88	1,055
		調剤	1,810	1,806	1,800	1,725	1,924	1,793	21,514
		合計	5,364	5,343	5,176	5,064	5,497	5,284	63,408
C	医療費(円) ※	118,230,090	129,989,370	117,137,300	120,229,890	116,169,010	119,330,041	1,431,960,490	
D	患者数(人) ※	2,457	2,433	2,368	2,353	2,469	2,421	29,046	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,241	27,901	25,078	25,685	24,870	25,357		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,041	24,329	22,631	23,742	21,133	22,583		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,120	53,428	49,467	51,096	47,051	49,300		
B/A	受診率(%)	114.5%	114.7%	110.8%	108.2%	117.7%	112.3%		
D/A	有病率(%)	52.5%	52.2%	50.7%	50.3%	52.9%	51.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは434件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は4億6,689万円となり、医療費全体の32.6%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	5,326	5,252	5,333	5,223	5,192	5,252	5,386
B	高額レセプト件数(件)	37	34	30	32	41	38	35
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.8%	0.7%	0.6%
C	医療費(円) ※	126,194,040	111,608,480	113,308,380	115,559,980	127,289,540	118,886,960	117,357,450
D	高額レセプトの医療費(円) ※	45,069,220	33,754,160	32,446,380	32,602,370	49,663,220	40,278,220	36,511,580
E	その他レセプトの医療費(円) ※	81,124,820	77,854,320	80,862,000	82,957,610	77,626,320	78,608,740	80,845,870
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.7%	30.2%	28.6%	28.2%	39.0%	33.9%	31.1%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	5,364	5,343	5,176	5,064	5,497	5,284	63,408
B	高額レセプト件数(件)	34	39	37	40	37	36	434
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	
C	医療費(円) ※	118,230,090	129,989,370	117,137,300	120,229,890	116,169,010	119,330,041	1,431,960,490
D	高額レセプトの医療費(円) ※	35,925,530	46,753,590	39,651,280	42,164,620	32,070,120	38,907,524	466,890,290
E	その他レセプトの医療費(円) ※	82,304,560	83,235,780	77,486,020	78,065,270	84,098,890	80,422,517	965,070,200
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.4%	36.0%	33.9%	35.1%	27.6%	32.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示した。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の分析期間中の全医療費を入院、入院外で集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「妊娠及び胎児発育に関連する障害」「白血病」「悪性リンパ腫」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児	1	12,306,030	723,680	13,029,710	13,029,710
2	0209	白血病	急性骨髄性白血病	1	12,373,770	88,560	12,462,330	12,462,330
3	0208	悪性リンパ腫	ホジキンリンパ腫, 悪性リンパ腫	2	3,162,410	21,523,770	24,686,180	12,343,090
4	0908	その他の脳血管疾患	前交通動脈瘤	1	7,761,400	323,380	8,084,780	8,084,780
5	0904	くも膜下出血	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	15,843,590	129,650	15,973,240	7,986,620
6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,271,490	0	7,271,490	7,271,490
7	1004	肺炎	肺炎, 細菌性肺炎	2	12,717,340	330,240	13,047,580	6,523,790
8	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	2	10,955,200	742,060	11,697,260	5,848,630
9	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	ヘパリン起因性血小板減少症	1	0	5,668,480	5,668,480	5,668,480
10	1307	その他の脊柱障害	胸腰椎後弯	1	4,496,830	768,030	5,264,860	5,264,860
11	1011	その他の呼吸器系の疾患	慢性呼吸不全, 誤嚥性肺炎	2	10,199,140	35,580	10,234,720	5,117,360
12	0606	その他の神経系の疾患	脊髄小脳変性症, 多発性硬化症	2	7,076,460	2,424,080	9,500,540	4,750,270
13	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全	8	18,945,010	17,556,770	36,501,780	4,562,723
14	1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	1	2,734,650	1,805,280	4,539,930	4,539,930
15	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎ウイルス感染	5	669,260	20,648,650	21,317,910	4,263,582
16	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 解離性大動脈瘤StanfordB, 肺血栓栓塞症	5	18,539,430	1,991,120	20,530,550	4,106,110
17	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 原発性肺癌, 上葉肺癌	10	21,303,530	19,535,430	40,838,960	4,083,896
18	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房, 乳房上内側部肺癌, 乳房上外側部肺癌	6	13,155,210	11,159,970	24,315,180	4,052,530
19	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	結節性硬化症	1	86,370	3,841,300	3,927,670	3,927,670
20	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前底部癌	6	20,752,700	2,451,330	23,204,030	3,867,338

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	多発性骨髄腫, 肝門部胆管癌, 去勢抵抗性前立腺癌	13	26,744,410	20,994,380	47,738,790	3,672,215
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 原発性肺癌, 上葉肺癌	10	21,303,530	19,535,430	40,838,960	4,083,896
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 心室頻拍, 発作性上室頻拍	10	17,990,170	3,792,390	21,782,560	2,178,256
4	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性下壁心筋梗塞	9	19,180,570	2,820,930	22,001,500	2,444,611
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	8	17,981,000	6,828,700	24,809,700	3,101,213
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎後性腎不全	8	18,945,010	17,556,770	36,501,780	4,562,723
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	7	18,107,590	723,960	18,831,550	2,690,221
7	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 総胆管結石性胆管炎, 胆石性急性胆のう炎	7	5,104,680	1,082,240	6,186,920	883,846
7	1901	骨折	膝蓋骨骨折, 骨盤骨折, 寛骨臼骨折	7	18,780,430	1,613,320	20,393,750	2,913,393
10	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌	6	20,752,700	2,451,330	23,204,030	3,867,338
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房上外側部乳癌	6	13,155,210	11,159,970	24,315,180	4,052,530
10	0906	脳梗塞	心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 脳梗塞	6	16,992,140	1,267,940	18,260,080	3,043,347
10	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	頸椎症性脊髄症, 腰部脊柱管狭窄症	6	14,677,220	3,397,500	18,074,720	3,012,453
10	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, アキレス腱部分断裂, 内側半月板損傷	6	6,494,130	1,331,430	7,825,560	1,304,260
15	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎ウイルス感染	5	669,260	20,648,650	21,317,910	4,263,582
15	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	小脳テント髄膜腫, 良性縦隔腫瘍, 子宮筋腫	5	6,338,770	1,256,210	7,594,980	1,518,996
15	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 解離性大動脈瘤StanfordB, 肺血栓塞栓症	5	18,539,430	1,991,120	20,530,550	4,106,110
18	0704	その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 滲出型加齢黄斑変性, 網膜静脈分枝閉塞症	4	2,728,800	4,354,450	7,083,250	1,770,813
18	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 食道潰瘍, 消化管出血	4	3,604,700	733,740	4,338,440	1,084,610
18	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 骨壊死, デュビュイトラン拘縮	4	10,216,980	1,804,960	12,021,940	3,005,485

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の16.0%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.8%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	46,820,255	3.3%	12	4,889	11	1,412	7	33,159	15
II. 新生物<腫瘍>	228,624,517	16.0%	1	4,090	13	1,047	10	218,362	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,268,235	0.9%	16	1,514	16	390	16	34,021	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	123,288,717	8.6%	5	19,593	2	1,890	4	65,232	8
V. 精神及び行動の障害	144,387,518	10.1%	3	5,512	9	557	14	259,224	2
VI. 神経系の疾患	69,972,614	4.9%	9	9,396	6	1,011	12	69,211	7
VII. 眼及び付属器の疾患	52,937,789	3.7%	10	7,323	7	1,676	6	31,586	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,753,406	0.6%	17	1,688	15	504	15	17,368	19
IX. 循環器系の疾患	226,135,006	15.8%	2	22,678	1	1,979	3	114,267	4
X. 呼吸器系の疾患	90,691,096	6.3%	7	13,265	4	2,522	1	35,960	13
X I. 消化器系の疾患 ※	79,980,415	5.6%	8	15,798	3	2,193	2	36,471	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	25,768,114	1.8%	13	6,064	8	1,397	8	18,445	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	128,443,539	9.0%	4	12,708	5	1,759	5	73,021	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	98,237,924	6.9%	6	4,602	12	958	13	102,545	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,373,215	0.1%	20	81	20	35	20	39,235	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	13,686,938	1.0%	15	35	21	12	21	1,140,578	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,124,258	0.3%	18	230	18	76	18	54,267	9
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,328,257	1.6%	14	4,897	10	1,207	9	18,499	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	46,849,192	3.3%	11	3,279	14	1,028	11	45,573	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,634,837	0.2%	19	1,235	17	230	17	11,456	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	624,608	0.0%	21	209	19	58	19	10,769	21
合計	1,428,930,450			63,094		4,352		328,339	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

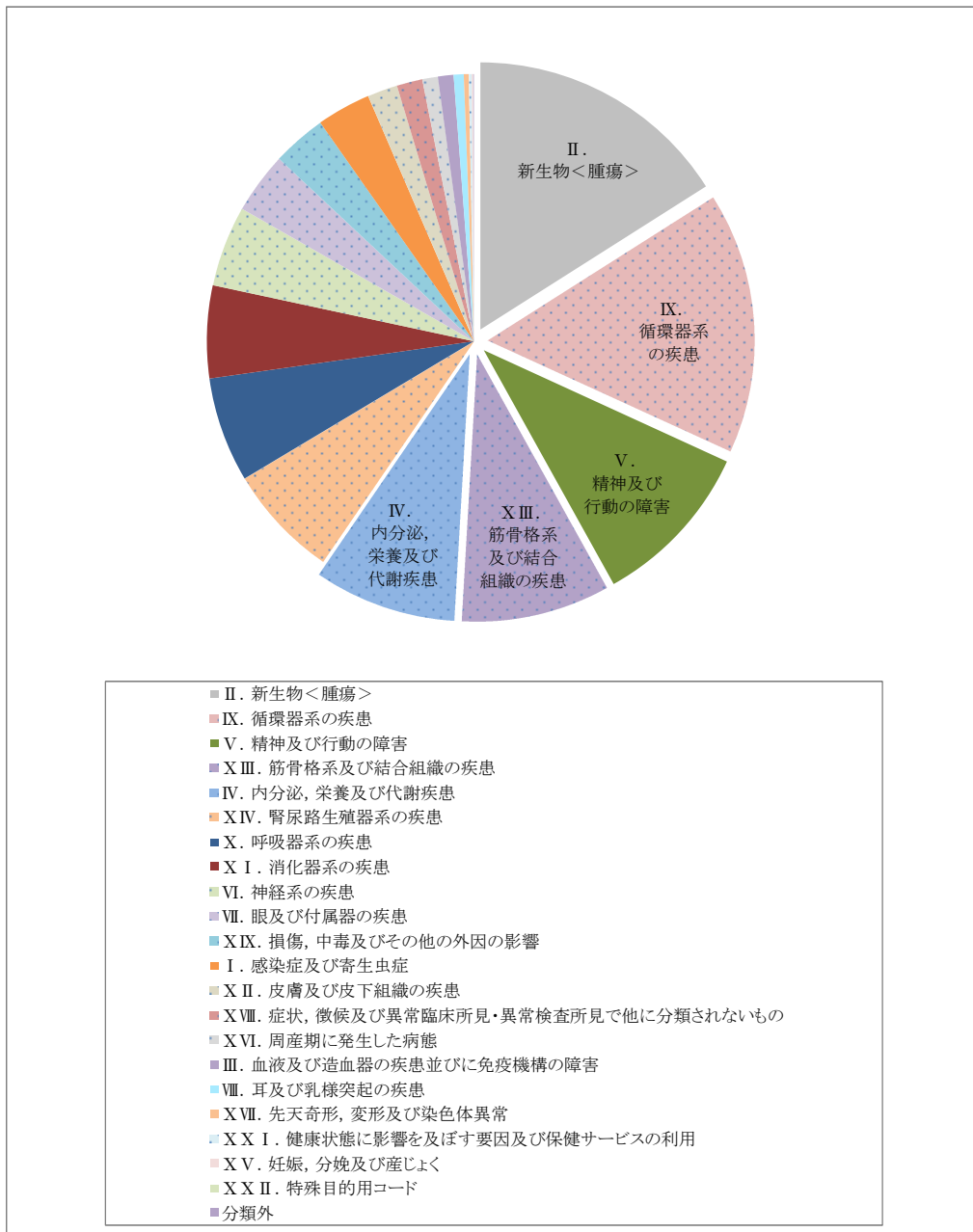
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「精神及び行動の障害」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」の医療費で過半数を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	89,725,342	6.3%	149
2	0901 高血圧性疾患	70,651,729	4.9%	1,393
3	1402 腎不全	67,403,218	4.7%	70
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	64,617,991	4.5%	412
5	0402 糖尿病	63,467,020	4.4%	1,120
6	0903 その他の心疾患	49,060,906	3.4%	684
7	1113 その他の消化器系の疾患	45,096,807	3.2%	1,216
8	0403 脂質異常症	39,093,341	2.7%	1,004
9	0606 その他の神経系の疾患	38,981,204	2.7%	931
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	35,263,702	2.5%	106

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	1105 胃炎及び十二指腸炎	15,019,059	1,434	33.0%
2	0901 高血圧性疾患	70,651,729	1,393	32.0%
3	1006 アレルギー性鼻炎	12,461,247	1,266	29.1%
4	0703 屈折及び調節の障害	5,153,931	1,257	28.9%
5	1113 その他の消化器系の疾患	45,096,807	1,216	27.9%
6	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,328,257	1,207	27.7%
7	1003 その他の急性上気道感染症	8,575,593	1,180	27.1%
8	0402 糖尿病	63,467,020	1,120	25.7%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	30,195,697	1,120	25.7%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,320,023	1,059	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	12,552,808	6	2,092,135
2	1402	腎不全	67,403,218	70	962,903
3	0208	悪性リンパ腫	24,428,246	27	904,750
4	0904	くも膜下出血	11,409,480	16	713,093
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,633,888	26	678,226
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	89,725,342	149	602,184
7	0209	白血病	7,707,044	16	481,690
8	0501	血管性及び詳細不明の認知症	5,403,201	13	415,631
9	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,801,823	20	390,091
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	35,263,702	106	332,676

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	1,428,930,450		63,094		4,352	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
	46,820,255	3.3%		4,889	7.7%		1,412	32.4%		33,159	
0101 腸管感染症	4,527,078	0.3%	69	1,335	2.1%	40	543	12.5%	24	8,337	99
0102 結核	889,458	0.1%	97	194	0.3%	92	65	1.5%	86	13,684	84
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	454,156	0.0%	108	152	0.2%	95	82	1.9%	80	5,538	111
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	2,693,160	0.2%	80	657	1.0%	58	247	5.7%	45	10,903	90
0105 ウイルス性肝炎	24,360,690	1.7%	17	696	1.1%	56	172	4.0%	59	141,632	16
0106 その他のウイルス性疾患	3,892,638	0.3%	73	147	0.2%	96	80	1.8%	81	48,658	39
0107 真菌症	4,260,498	0.3%	70	1,246	2.0%	41	360	8.3%	34	11,835	88
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	8,229	0.0%	119	15	0.0%	116	2	0.0%	118	4,115	117
0109 その他の感染症及び寄生虫症	5,734,348	0.4%	61	925	1.5%	48	336	7.7%	36	17,067	82
II. 新生物<腫瘍>											
	228,624,517	16.0%		4,090	6.5%		1,047	24.1%		218,362	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	17,826,574	1.2%	28	496	0.8%	70	190	4.4%	57	93,824	24
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,217,762	0.7%	42	687	1.1%	57	241	5.5%	47	42,397	46
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,633,888	1.2%	29	147	0.2%	96	26	0.6%	99	678,226	5
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,797,702	0.6%	45	213	0.3%	85	69	1.6%	85	127,503	19
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	35,263,702	2.5%	10	425	0.7%	76	106	2.4%	73	332,676	10
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	21,589,638	1.5%	20	341	0.5%	78	65	1.5%	86	332,148	11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	1,815,251	0.1%	84	178	0.3%	93	85	2.0%	78	21,356	67
0208 悪性リンパ腫	24,428,246	1.7%	16	195	0.3%	90	27	0.6%	98	904,750	3
0209 白血病	7,707,044	0.5%	51	44	0.1%	107	16	0.4%	106	481,690	7
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	64,617,991	4.5%	4	1,514	2.4%	38	412	9.5%	32	156,840	14
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	18,726,719	1.3%	27	910	1.4%	49	402	9.2%	33	46,584	41
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害											
	13,268,235	0.9%		1,514	2.4%		390	9.0%		34,021	
0301 貧血	6,165,383	0.4%	60	1,023	1.6%	47	251	5.8%	44	24,563	64
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,102,852	0.5%	55	617	1.0%	60	192	4.4%	56	36,994	50
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患											
	123,288,717	8.6%		19,593	31.1%		1,890	43.4%		65,232	
0401 甲状腺障害	6,661,872	0.5%	56	1,535	2.4%	37	328	7.5%	39	20,311	69
0402 糖尿病	63,467,020	4.4%	5	9,210	14.6%	4	1,120	25.7%	8	56,667	35
0403 脂質異常症	39,093,341	2.7%	8	11,839	18.8%	2	1,004	23.1%	11	38,938	48
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	14,066,484	1.0%	33	3,561	5.6%	14	578	13.3%	22	24,336	65
V. 精神及び行動の障害											
	144,387,518	10.1%		5,512	8.7%		557	12.8%		259,224	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	5,403,201	0.4%	62	52	0.1%	106	13	0.3%	109	415,631	8
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	875,211	0.1%	98	91	0.1%	100	19	0.4%	103	46,064	42
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	89,725,342	6.3%	1	1,864	3.0%	32	149	3.4%	64	602,184	6

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,428,930,450	63,094	4,352

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	28,888,850	2.0%	13	2,754	4.4%	27	236	5.4%	50	122,410	21
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	9,672,865	0.7%	43	2,935	4.7%	23	331	7.6%	38	29,223	58
0506	知的障害<精神遅滞>	1,437,857	0.1%	89	62	0.1%	105	14	0.3%	108	102,704	23
0507	その他の精神及び行動の障害	8,384,192	0.6%	48	428	0.7%	75	57	1.3%	90	147,091	15
VI. 神経系の疾患		69,972,614	4.9%		9,396	14.9%		1,011	23.2%		69,211	
0601	パーキンソン病	12,737,388	0.9%	36	756	1.2%	53	79	1.8%	82	161,233	13
0602	アルツハイマー病	3,654,772	0.3%	78	205	0.3%	87	19	0.4%	103	192,356	12
0603	てんかん	6,542,384	0.5%	57	765	1.2%	51	88	2.0%	77	74,345	29
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,801,823	0.5%	50	138	0.2%	99	20	0.5%	102	390,091	9
0605	自律神経系の障害	255,043	0.0%	114	231	0.4%	84	26	0.6%	99	9,809	97
0606	その他の神経系の疾患	38,981,204	2.7%	9	8,354	13.2%	5	931	21.4%	13	41,870	47
VII. 眼及び付属器の疾患		52,937,789	3.7%		7,323	11.6%		1,676	38.5%		31,586	
0701	結膜炎	4,689,251	0.3%	68	2,999	4.8%	21	837	19.2%	14	5,602	110
0702	白内障	12,898,910	0.9%	35	2,338	3.7%	30	426	9.8%	30	30,279	57
0703	屈折及び調節の障害	5,153,931	0.4%	65	5,574	8.8%	7	1,257	28.9%	4	4,100	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	30,195,697	2.1%	12	5,330	8.4%	8	1,120	25.7%	8	26,960	61
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		8,753,406	0.6%		1,688	2.7%		504	11.6%		17,368	
0801	外耳炎	601,544	0.0%	106	305	0.5%	79	141	3.2%	65	4,266	116
0802	その他の外耳疾患	624,096	0.0%	105	246	0.4%	81	130	3.0%	68	4,801	114
0803	中耳炎	1,811,698	0.1%	85	547	0.9%	65	171	3.9%	60	10,595	93
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	136,211	0.0%	115	69	0.1%	102	26	0.6%	99	5,239	112
0805	メニエール病	1,696,441	0.1%	87	501	0.8%	68	84	1.9%	79	20,196	70
0806	その他の内耳疾患	308,204	0.0%	113	35	0.1%	112	17	0.4%	105	18,130	79
0807	その他の耳疾患	3,575,212	0.3%	79	452	0.7%	74	180	4.1%	58	19,862	71
IX. 循環器系の疾患		226,135,006	15.8%		22,678	35.9%		1,979	45.5%		114,267	
0901	高血圧性疾患	70,651,729	4.9%	2	18,045	28.6%	1	1,393	32.0%	2	50,719	37
0902	虚血性心疾患	34,092,280	2.4%	11	3,158	5.0%	17	443	10.2%	28	76,958	28
0903	その他の心疾患	49,060,906	3.4%	6	3,966	6.3%	11	684	15.7%	18	71,726	30
0904	くも膜下出血	11,409,480	0.8%	40	41	0.1%	108	16	0.4%	106	713,093	4
0905	脳内出血	7,387,596	0.5%	52	195	0.3%	90	54	1.2%	91	136,807	17
0906	脳梗塞	19,178,147	1.3%	26	1,554	2.5%	36	280	6.4%	42	68,493	32
0907	脳動脈硬化(症)	409,782	0.0%	109	9	0.0%	118	3	0.1%	117	136,594	18
0908	その他の脳血管疾患	8,616,613	0.6%	46	553	0.9%	64	139	3.2%	66	61,990	33
0909	動脈硬化(症)	4,902,227	0.3%	66	3,068	4.9%	18	611	14.0%	21	8,023	100
0911	低血圧(症)	746,187	0.1%	100	37	0.1%	111	8	0.2%	114	93,273	25
0912	その他の循環器系の疾患	19,680,059	1.4%	25	1,100	1.7%	45	246	5.7%	46	80,000	27
X. 呼吸器系の疾患		90,691,096	6.3%		13,265	21.0%		2,522	58.0%		35,960	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	662,703	0.0%	102	469	0.7%	73	206	4.7%	54	3,217	119
1002	急性鼻咽頭炎及び急性扁桃炎	4,148,766	0.3%	71	1,772	2.8%	33	649	14.9%	19	6,393	107
1003	その他の急性上気道感染症	8,575,593	0.6%	47	3,251	5.2%	15	1,180	27.1%	7	7,267	103

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,428,930,450	63,094	4,352

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	12,185,654	0.9%	39	764	1.2%	52	332	7.6%	37	36,704	51
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,320,023	0.5%	53	3,061	4.9%	19	1,059	24.3%	10	6,912	105
1006	アレルギー性鼻炎	12,461,247	0.9%	38	4,989	7.9%	9	1,266	29.1%	3	9,843	96
1007	慢性副鼻腔炎	1,209,216	0.1%	91	610	1.0%	61	153	3.5%	62	7,903	101
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	1,076,736	0.1%	94	534	0.8%	67	240	5.5%	48	4,486	115
1009	慢性閉塞性肺疾患	6,259,451	0.4%	59	1,563	2.5%	35	215	4.9%	53	29,114	59
1010	喘息	19,841,593	1.4%	23	3,863	6.1%	13	544	12.5%	23	36,474	52
1011	その他の呼吸器系の疾患	16,950,114	1.2%	31	2,343	3.7%	29	822	18.9%	15	20,621	68
X I . 消化器系の疾患		79,980,415	5.6%		15,798	25.0%		2,193	50.4%		36,471	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	10,297	0.0%	118	3	0.0%	119	2	0.0%	118	5,149	113
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	47,439	0.0%	117	10	0.0%	117	7	0.2%	115	6,777	106
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3,985,012	0.3%	72	1,111	1.8%	44	202	4.6%	55	19,728	73
1105	胃炎及び十二指腸炎	15,019,059	1.1%	32	7,373	11.7%	6	1,434	33.0%	1	10,474	94
1106	痔核	1,630,047	0.1%	88	347	0.5%	77	100	2.3%	75	16,300	83
1107	アルコール性肝疾患	63,537	0.0%	116	39	0.1%	109	10	0.2%	112	6,354	108
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	781,703	0.1%	99	245	0.4%	82	40	0.9%	92	19,543	75
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,223,014	0.1%	90	204	0.3%	88	37	0.9%	93	33,054	54
1110	その他の肝疾患	3,657,675	0.3%	77	1,186	1.9%	43	430	9.9%	29	8,506	98
1111	胆石症及び胆のう炎	7,301,440	0.5%	54	501	0.8%	68	102	2.3%	74	71,583	31
1112	膵疾患	1,164,385	0.1%	92	290	0.5%	80	91	2.1%	76	12,795	86
1113	その他の消化器系の疾患	45,096,807	3.2%	7	9,898	15.7%	3	1,216	27.9%	5	37,086	49
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		25,768,114	1.8%		6,064	9.6%		1,397	32.1%		18,445	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	1,714,275	0.1%	86	588	0.9%	62	240	5.5%	48	7,143	104
1202	皮膚炎及び湿疹	10,721,367	0.8%	41	3,958	6.3%	12	984	22.6%	12	10,896	91
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	13,332,472	0.9%	34	3,000	4.8%	20	777	17.9%	17	17,159	81
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		128,443,539	9.0%		12,708	20.1%		1,759	40.4%		73,021	
1301	炎症性多発性関節障害	27,204,664	1.9%	14	2,406	3.8%	28	301	6.9%	40	90,381	26
1302	関節症	19,826,640	1.4%	24	2,763	4.4%	26	417	9.6%	31	47,546	40
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	22,583,812	1.6%	18	2,955	4.7%	22	493	11.3%	26	45,809	43
1304	椎間板障害	3,853,031	0.3%	74	631	1.0%	59	167	3.8%	61	23,072	66
1305	頸腕症候群	1,017,788	0.1%	95	564	0.9%	63	135	3.1%	67	7,539	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	6,461,785	0.5%	58	2,915	4.6%	24	543	12.5%	24	11,900	87
1307	その他の脊柱障害	5,300,040	0.4%	64	487	0.8%	72	125	2.9%	69	42,400	45
1308	肩の傷害<損傷>	4,757,582	0.3%	67	1,395	2.2%	39	252	5.8%	43	18,879	77
1309	骨の密度及び構造の障害	17,031,512	1.2%	30	2,823	4.5%	25	345	7.9%	35	49,367	38
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20,406,685	1.4%	22	3,239	5.1%	16	649	14.9%	19	31,443	55

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,428,930,450	63,094	4,352

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	98,237,924	6.9%		4,602	7.3%		958	22.0%		102,545	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	5,343,313	0.4%	63	546	0.9%	66	119	2.7%	71	44,902	44
1402 腎不全	67,403,218	4.7%	3	742	1.2%	54	70	1.6%	84	962,903	2
1403 尿路結石症	2,097,987	0.1%	83	198	0.3%	89	76	1.7%	83	27,605	60
1404 その他の腎尿路系の疾患	8,821,844	0.6%	44	1,699	2.7%	34	447	10.3%	27	19,736	72
1405 前立腺肥大(症)	8,058,532	0.6%	49	1,052	1.7%	46	152	3.5%	63	53,017	36
1406 その他の男性生殖器系の疾患	627,650	0.0%	103	141	0.2%	98	32	0.7%	95	19,614	74
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,114,650	0.1%	82	489	0.8%	71	111	2.6%	72	19,051	76
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	3,770,730	0.3%	76	710	1.1%	55	283	6.5%	41	13,324	85
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	1,373,215	0.1%		81	0.1%		35	0.8%		39,235	
1501 流産	405,870	0.0%	110	19	0.0%	114	13	0.3%	109	31,221	56
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	967,345	0.1%	96	67	0.1%	103	28	0.6%	96	34,548	53
XVI. 周産期に発生した病態	13,686,938	1.0%		35	0.1%		12	0.3%		1,140,578	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	12,552,808	0.9%	37	27	0.0%	113	6	0.1%	116	2,092,135	1
1602 その他の周産期に発生した病態	1,134,130	0.1%	93	17	0.0%	115	9	0.2%	113	126,014	20
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,124,258	0.3%		230	0.4%		76	1.7%		54,267	
1701 心臓の先天奇形	321,408	0.0%	112	66	0.1%	104	13	0.3%	109	24,724	63
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	3,802,850	0.3%	75	165	0.3%	94	64	1.5%	88	59,420	34
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,328,257	1.6%		4,897	7.8%		1,207	27.7%		18,499	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,328,257	1.6%	19	4,897	7.8%	10	1,207	27.7%	6	18,499	78
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	46,849,192	3.3%		3,279	5.2%		1,028	23.6%		45,573	
1901 骨折	24,647,334	1.7%	15	901	1.4%	50	235	5.4%	51	104,882	22
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	482,238	0.0%	107	38	0.1%	110	28	0.6%	96	17,223	80
1903 熱傷及び腐食	345,814	0.0%	111	70	0.1%	101	35	0.8%	94	9,880	95
1904 中毒	724,231	0.1%	101	241	0.4%	83	124	2.8%	70	5,841	109
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	20,649,575	1.4%	21	2,314	3.7%	31	818	18.8%	16	25,244	62
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,634,837	0.2%		1,235	2.0%		230	5.3%		11,456	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	2,479	0.0%	120	1	0.0%	120	1	0.0%	120	2,479	120
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	1,428,930,450	63,094	4,352

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	2,632,358	0.2%	81	1,235	2.0%	42	230	5.3%	52	11,445	89
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		624,608	0.0%		209	0.3%		58	1.3%		10,769	
9999	分類外	624,608	0.0%	104	209	0.3%	86	58	1.3%	89	10,769	92

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

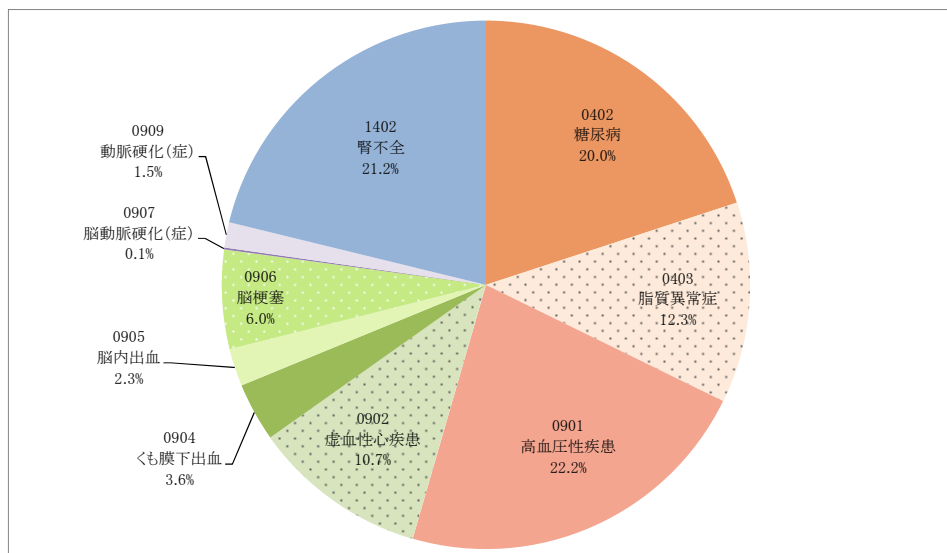
(4) 生活習慣病に係る医療費

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出した。糖尿病医療費は6,347万円、脂質異常症医療費は3,909万円、高血圧性疾患医療費は7,065万円、腎不全6,740万円となっている。

生活習慣病医療費

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
3	0402 糖尿病	63,467,020	1,120	56,667
4	0403 脂質異常症	39,093,341	1,004	38,938
1	0901 高血圧性疾患	70,651,729	1,393	50,719
5	0902 虚血性心疾患	34,092,280	443	76,958
7	0904 くも膜下出血	11,409,480	16	713,093
8	0905 脳内出血	7,387,596	54	136,807
6	0906 脳梗塞	19,178,147	280	68,493
10	0907 脳動脈硬化(症)	409,782	3	136,594
9	0909 動脈硬化(症)	4,902,227	611	8,023
2	1402 腎不全	67,403,218	70	962,903
合 計		317,994,820	4,994	2,249,195

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

第2章 第2期データヘルス計画

1. 計画策定について

(1) 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料など)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

(2) 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間



(3) 基本方針

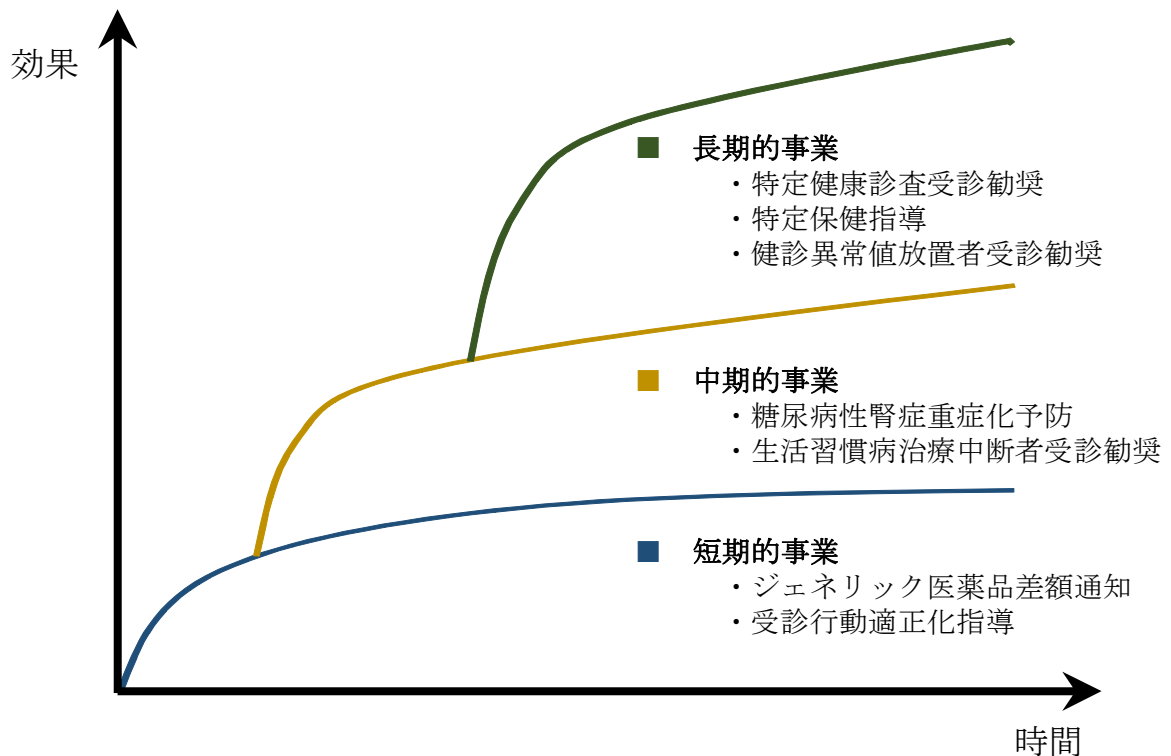
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画書には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を吉岡町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



(4) データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

(5) 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトデータ
 - 単年分析
 - 平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
 - 年度分析
 - 平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
 - 平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
 - 平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- 健康診査データ
 - 単年分析
 - 平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。全3事業のうち、目標達成している事業は0事業である。実施体制について特定健診単独で行っていた健診がその他の健診と同時に行える総合健診となったことが事業推進に当たっての好材料となったが、人員の配置等の面では見直しが必要である。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年時点)	評価
対象者を特定し、受診券を発送した。その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。	50.0%	46.7%	4
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。	40.0%	33.9%	2
年2回、629通郵送した。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。	切替可能なうち50.0%	9月送付361通 3月送付268通 合計629通 薬剤価格ベース 全体の薬剤の内16.9% 後発切替可能な内46.3%	3

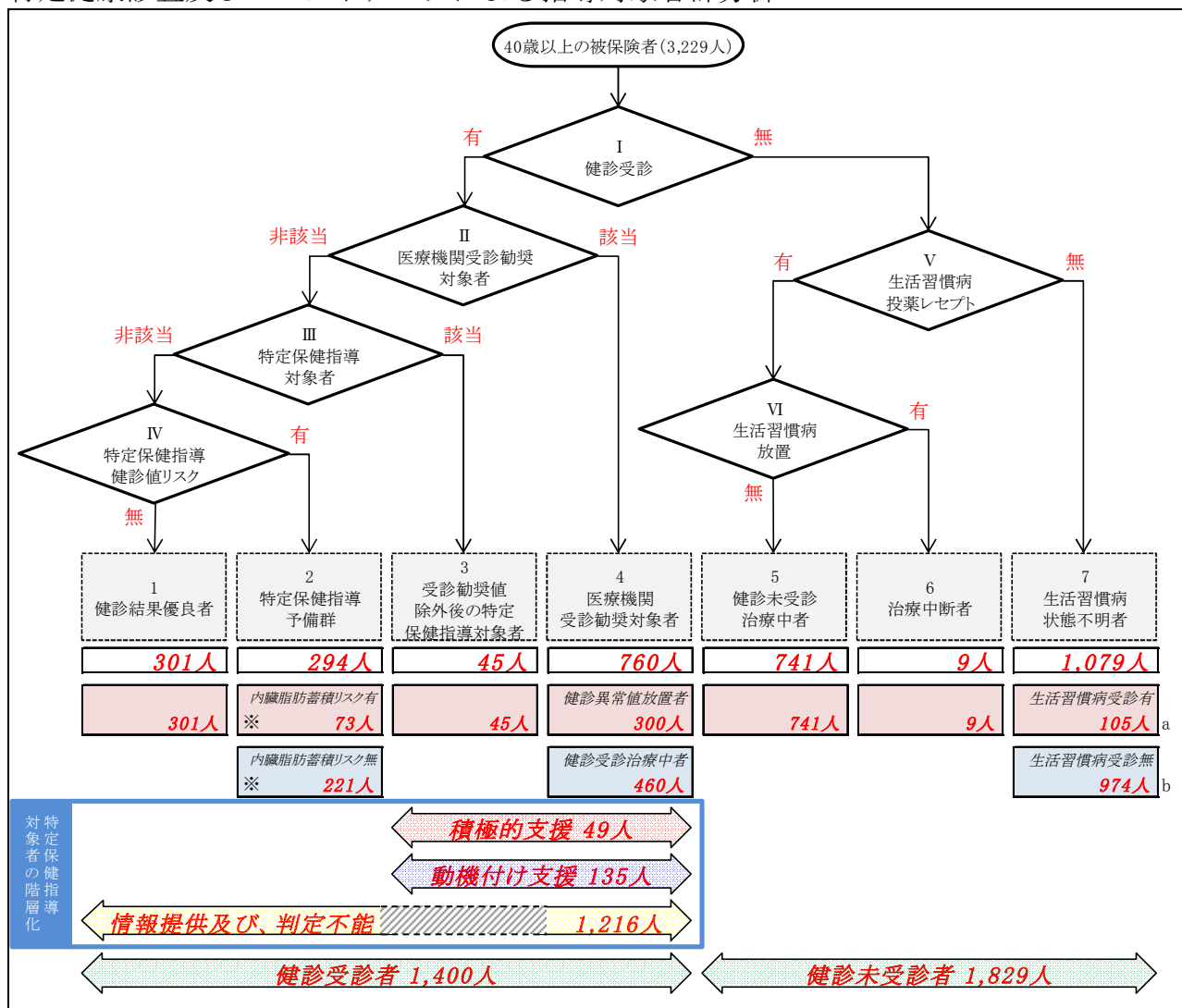
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

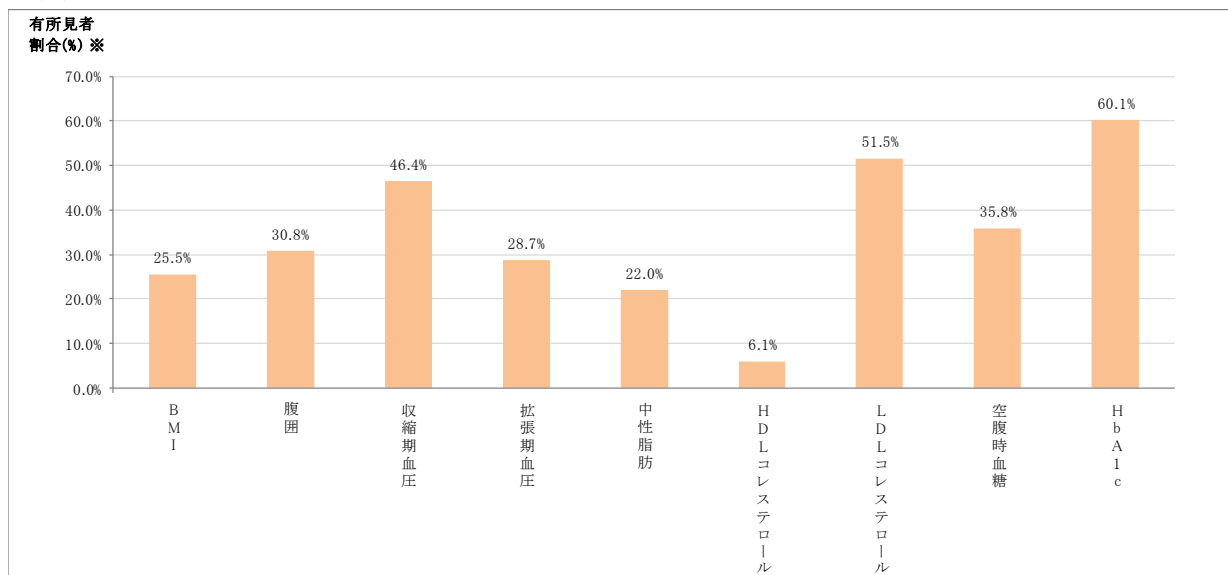
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,400	1,400	1,400	1,400
有所見者数(人) ※	357	431	650	402
有所見者割合(%) ※	25.5%	30.8%	46.4%	28.7%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,400	1,400	1,400	1,214	1,400
有所見者数(人) ※	308	85	721	435	842
有所見者割合(%) ※	22.0%	6.1%	51.5%	35.8%	60.1%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、BMI:25以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、中性脂肪:150mg/dl以上、

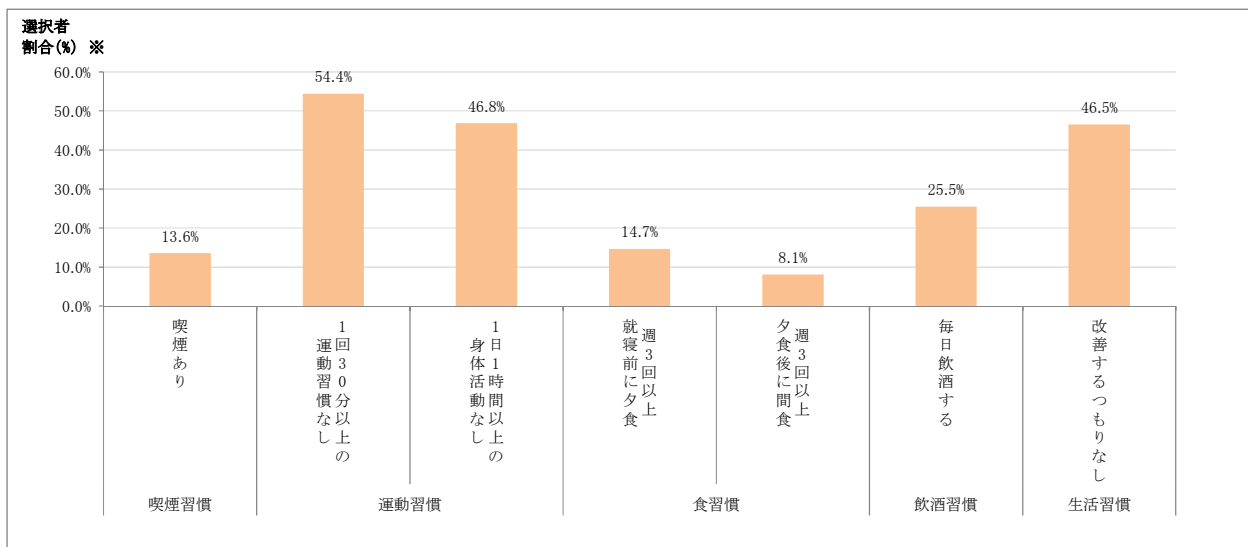
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	1,400	1,400	1,399
選択者数(人) ※	190	762	655
選択者割合(%) ※	13.6%	54.4%	46.8%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	1,399	1,399	1,398	1,393
選択者数(人) ※	205	113	357	648
選択者割合(%) ※	14.7%	8.1%	25.5%	46.5%

質問別選択者数割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者数割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は184人である。このうち、積極的支援の対象者は49人、動機付け支援の対象者は135人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			184人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	5人	49人 27%
	●	●	●	●	因子数3	血糖+血圧+脂質	6人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	4人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
	●	●	●	●		血圧+脂質+喫煙	8人	
	●	●	●	●	因子数2	血糖+血圧	7人	
	●	●	●	●		血糖+脂質	5人	
	●	●	●	●		血圧+脂質	7人	
	●	●	●	●		血糖+喫煙	1人	
	●	●	●	●		血圧+喫煙	2人	
	●	●	●	●	因子数1	脂質+喫煙	2人	
	●	●	●	●		血糖	0人	
	●	●	●	●		血圧	0人	
	●	●	●	●	因子数0	脂質	0人	
●	●	●	●	喫煙		0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	0人	135人 73%
	●	●	●	●	因子数3	血糖+血圧+脂質	3人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	15人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
	●	●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●	●	●	因子数2	血糖+血圧	24人	
	●	●	●	●		血糖+脂質	9人	
	●	●	●	●		血圧+脂質	7人	
	●	●	●	●		血糖+喫煙	1人	
	●	●	●	●		血圧+喫煙	5人	
	●	●	●	●	因子数1	脂質+喫煙	1人	
	●	●	●	●		血糖	20人	
	●	●	●	●		血圧	37人	
	●	●	●	●	因子数0	脂質	7人	
●	●	●	●	喫煙		0人		
●	●	●	●	なし	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

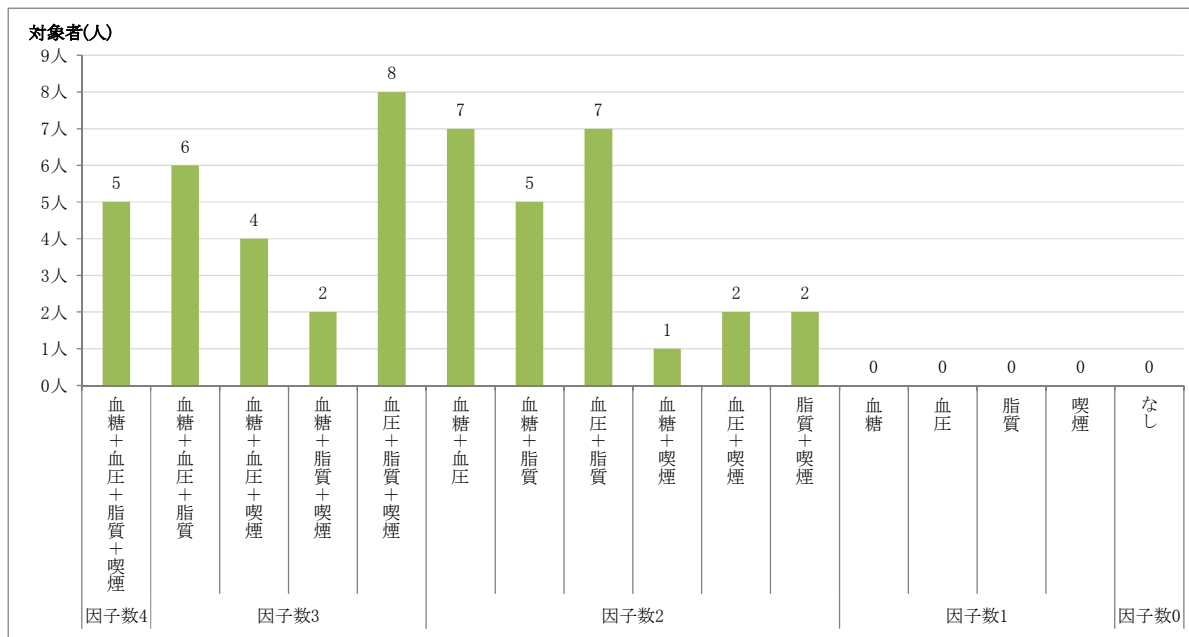
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定・・・健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

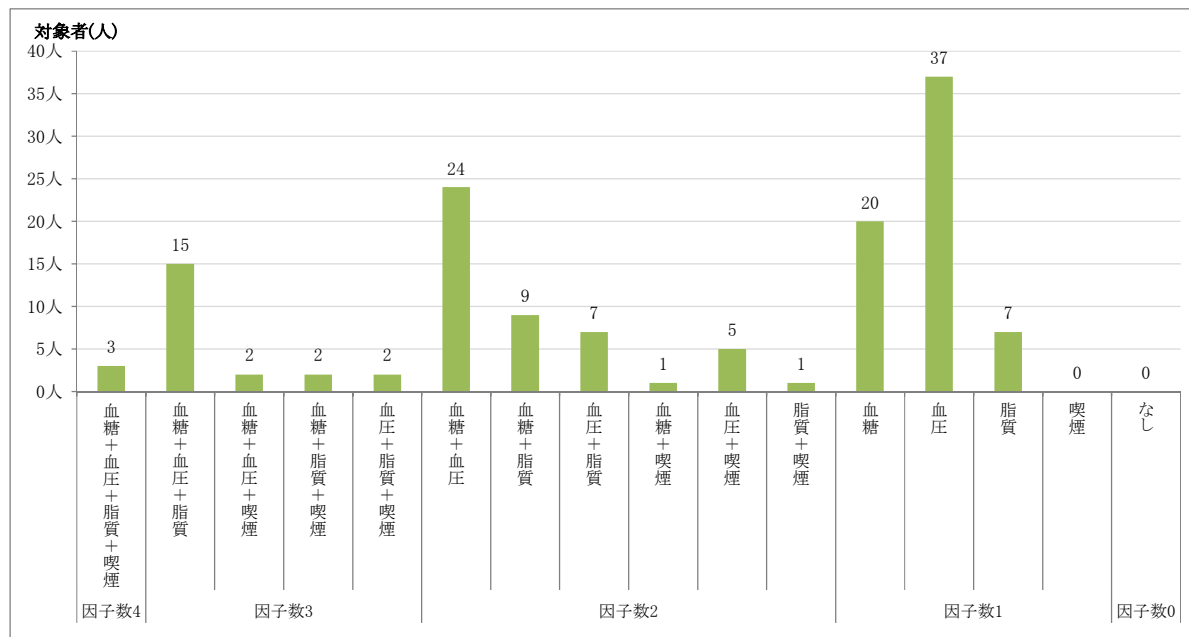
リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析の分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する300人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、4か月以上医療機関へ受診していない 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	300 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	69 人
除外患者を除いた候補者数		231 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者231人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 11人	候補者D 48人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 39人	候補者F 131人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			231人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「6. 治療中断者」と健診受診者のうちで治療中断が発生している患者13人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		候補者人数
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	9 人
	上記以外のグループ	4 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		13 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		除外理由別人数
除外	がん、難病等	1 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		12 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者12人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 2人	候補者B3 0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 1人	候補者C2 5人	候補者C3 4人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数			12人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、75.0%が生活習慣を起因とするものであり、その100.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

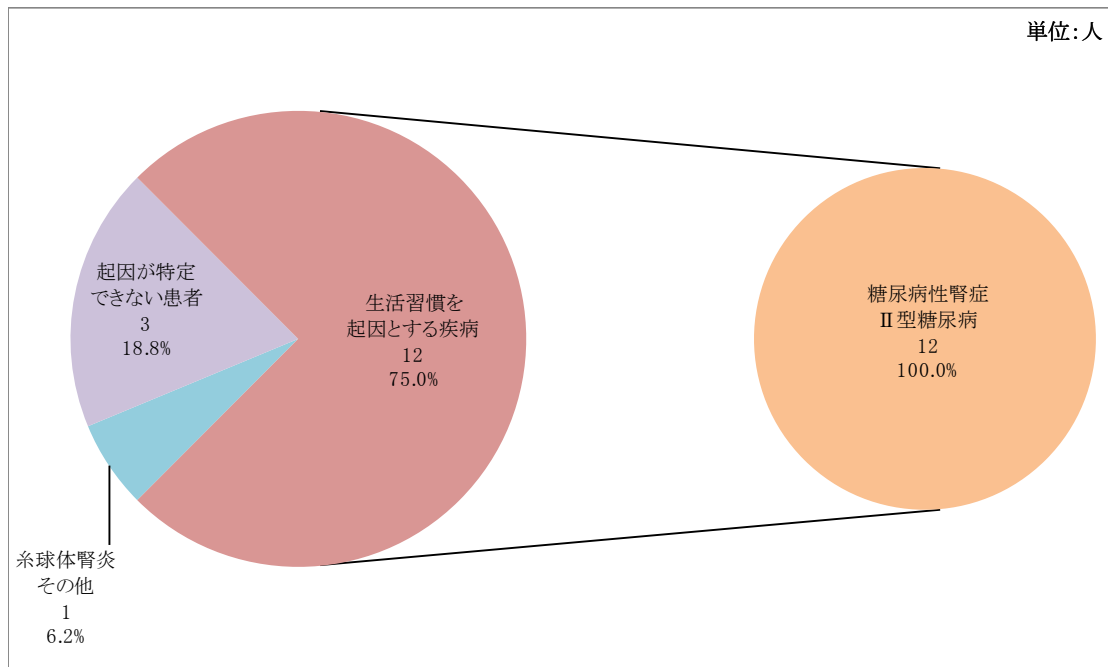
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	16
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	16

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

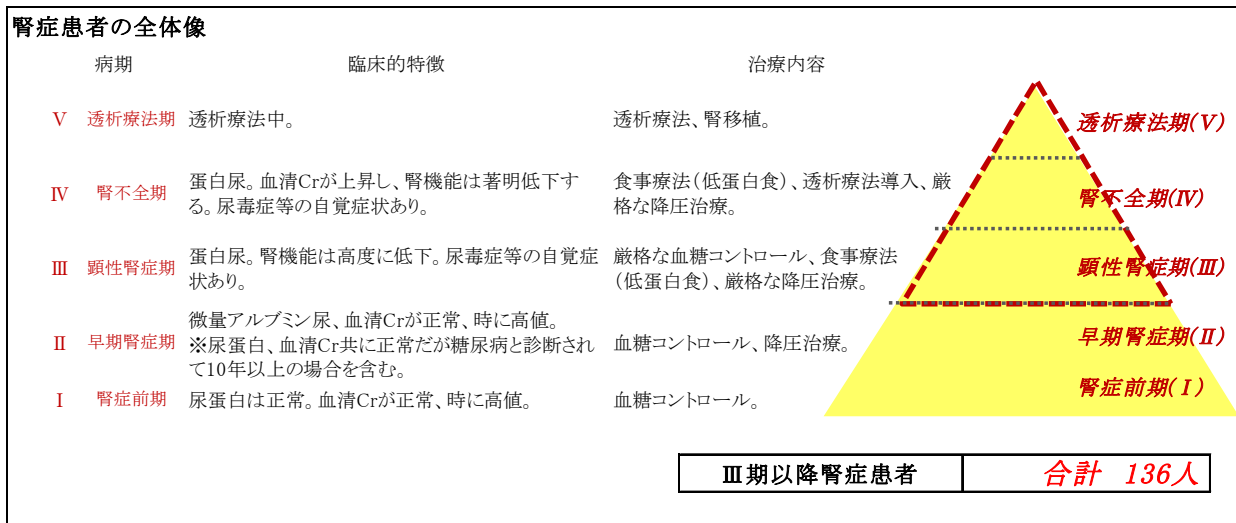
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者136人中39人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



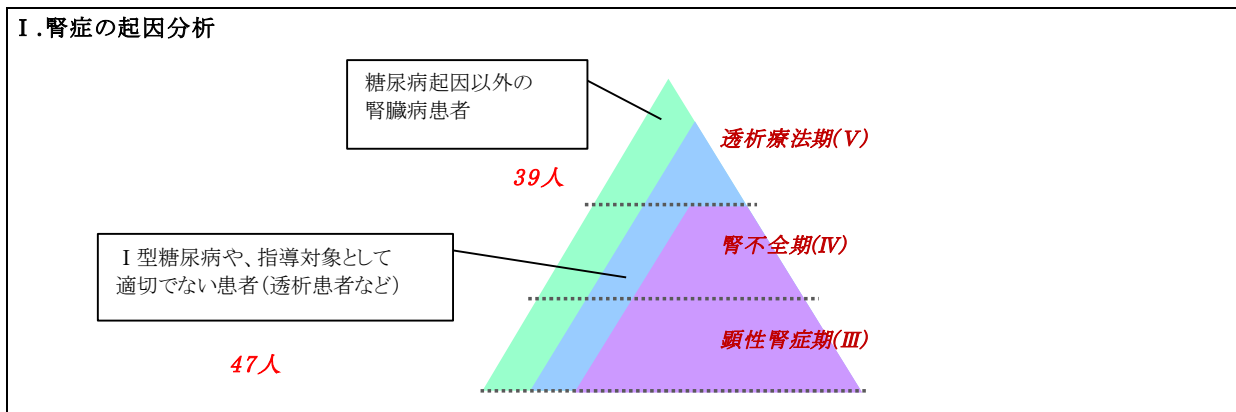
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、39人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、47人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析と指導対象者適合分析



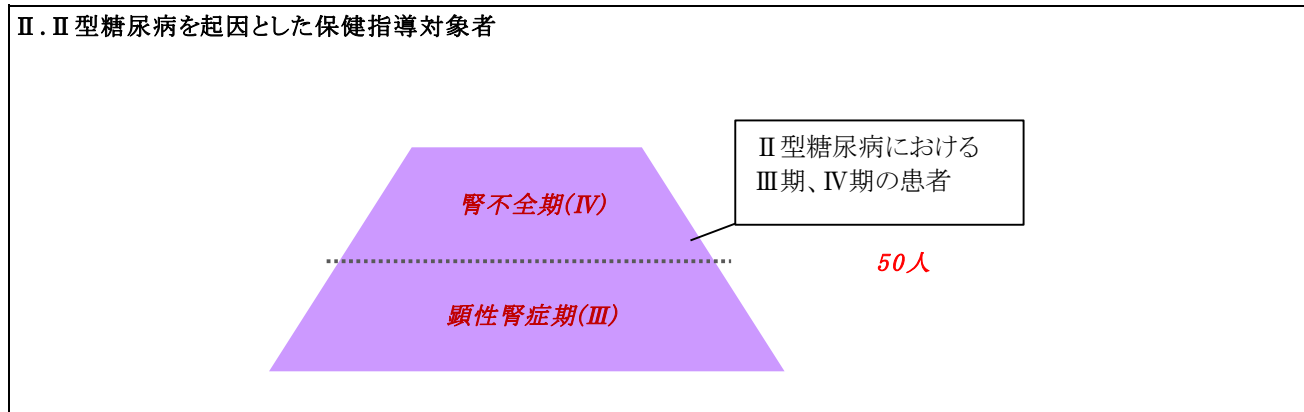
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて50人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

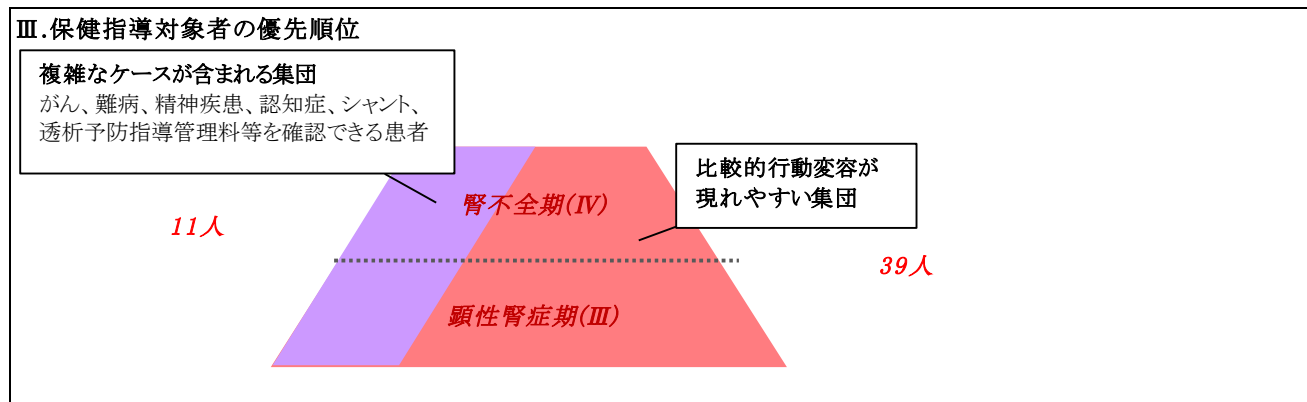


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。50人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、11人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、39人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

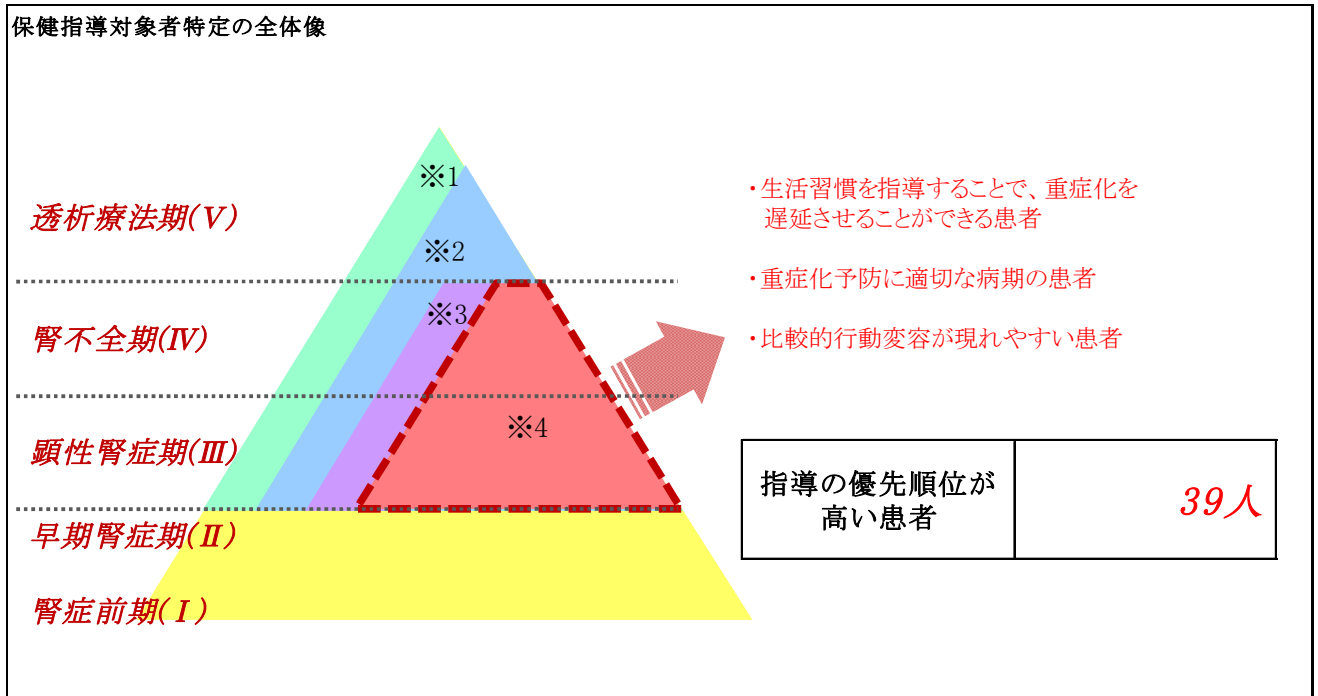
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、39人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	2	2	5	4	3	2	7	3	6	4	5	5
12カ月間の延べ人数											48	
12カ月間の実人数											31	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	30	27	36	28	29	24	22	25	22	21	28	27
12カ月間の延べ人数											319	
12カ月間の実人数											105	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	1	6	13	9	10	11	12	13	14	12	16	17
12カ月間の延べ人数											134	
12カ月間の実人数											70	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は31人、頻回受診者は105人、重複服薬者は70人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	194 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	122 人
除外②	がん、難病等 ※	122 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数			72 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者72人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは10人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 低 ↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 2人	候補者B 0人	候補者 と し な い 62人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者C 3人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 5人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			10人	

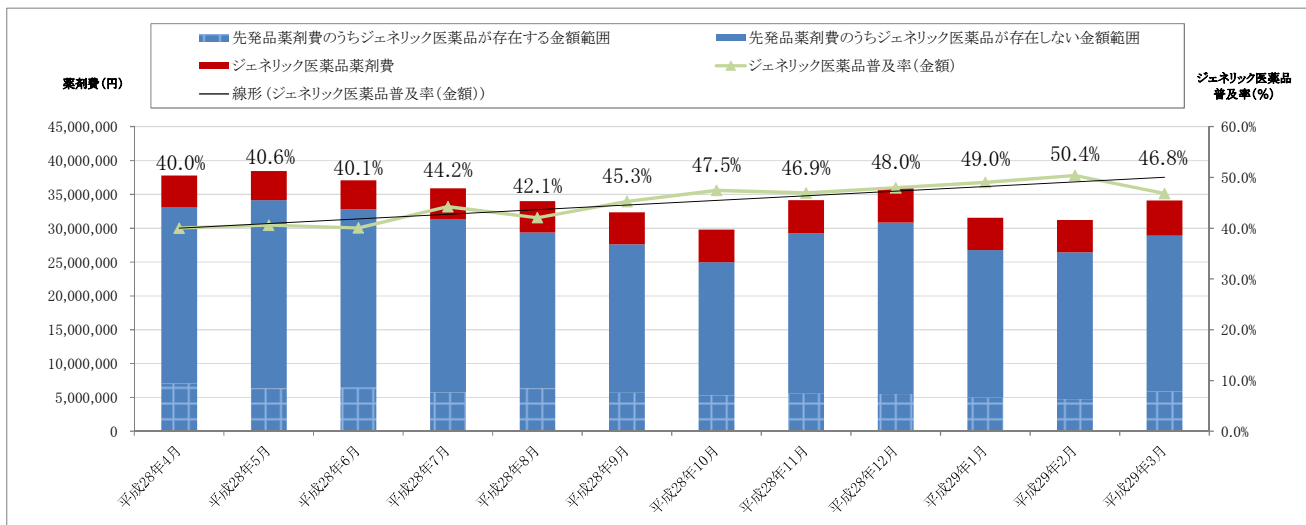
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は44.9%(金額ベース)、70.4%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



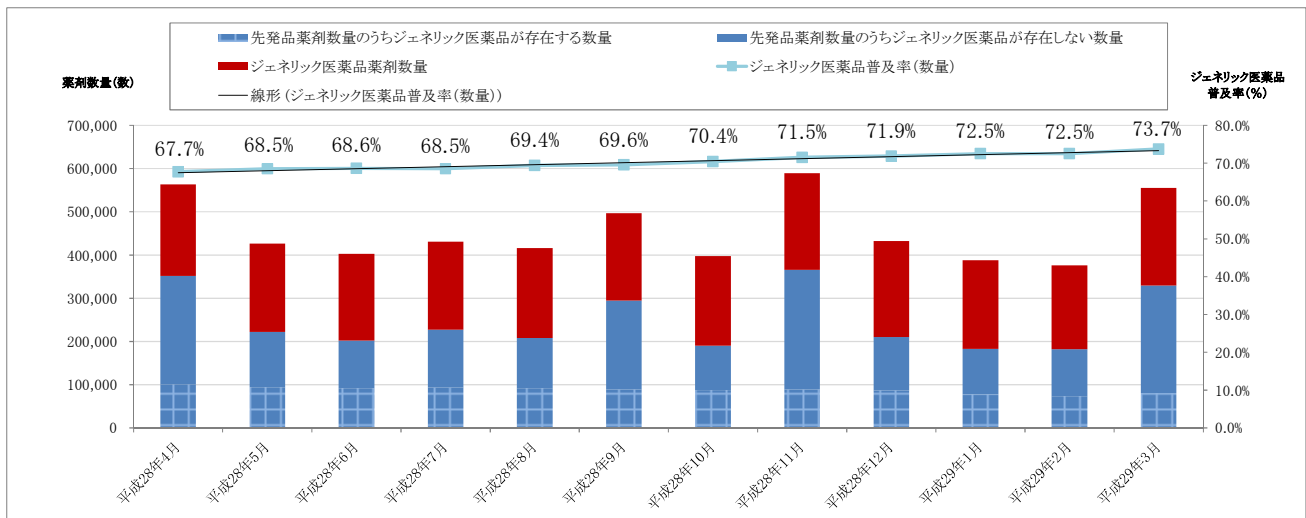
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

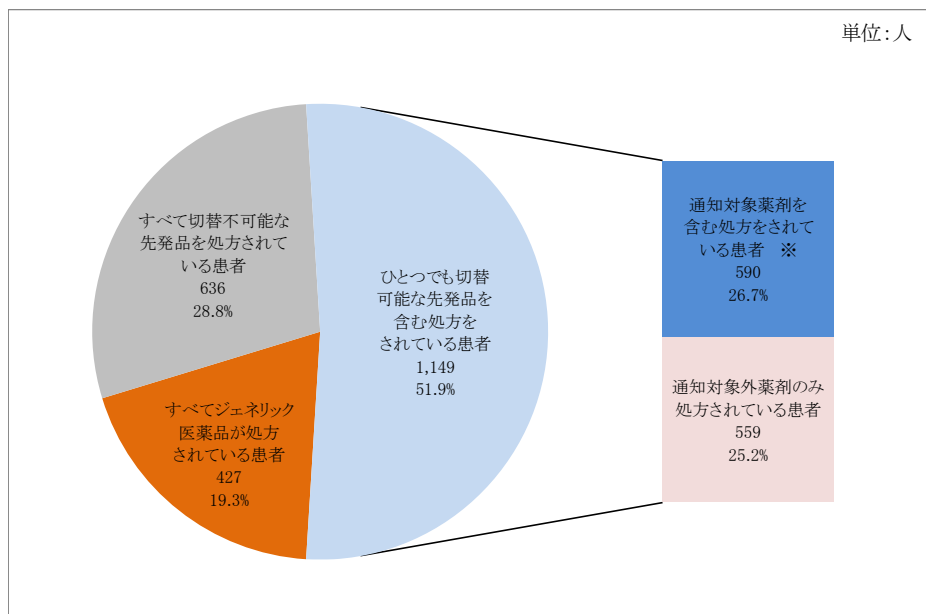
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は2,212人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,149人で患者数全体の51.9%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、590人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の26.7%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

薬剤併用禁忌が発生していた件数は12カ月の延べ人数は182人、実人数は120人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	13	11	12	10	9	13	21	18	30	17	12	16	
											12カ月間の延べ人数		182
											12カ月間の実人数		120

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	120
件数合計(件)	294

No.	A			B			件数
	剤型名	医薬品コード	医薬品名	剤型名	医薬品コード	医薬品名	
1	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	41
2	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	40
3	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	33
4	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	620005586	リスパダールOD錠1mg	31
5	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	22
6	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	621939801	リスパダールOD錠0.5mg	18
7	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	621939801	リスパダールOD錠0.5mg	13
8	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	9
9	内服	620001908	グルファスト錠10mg	内服	621999401	グリメリド錠3mg「オーハラ」	8
10	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	6
11	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	6
12	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	622017401	グリメリド錠1mg「三和」	5
13	内服	620154901	スルトブリド塩酸塩錠100mg「アメル」	内服	620142805	ハロペリドール錠0.75mg「JG」	4
14	内服	620154901	スルトブリド塩酸塩錠100mg「アメル」	内服	620006113	プロピタン錠50mg	4
15	内服	620154901	スルトブリド塩酸塩錠100mg「アメル」	内服	610453150	レボトミン錠5mg	4
16	内服	620416613	タンニン酸アルブミン「ニッコウ」	内服	613220039	フェロミア錠50mg 鉄50mg	4
17	内服	622316100	スルトブリド塩酸塩錠200mg錠	内服	611170296	ハロステン錠2mg	3
18	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	3
19	内服	620067313	アセトアミノフェン「ファイザー」原末	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
20	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	2
21	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	2
22	内服	622381201	コロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	2
23	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	621998701	グリメリド錠1mg「EMEC」	2
24	内服	622316100	スルトブリド塩酸塩錠200mg錠	内服	611170727	コントミン糖衣錠25mg	2
25	内服	620154901	スルトブリド塩酸塩錠100mg「アメル」	内服	611170727	コントミン糖衣錠25mg	2
26	内服	620154901	スルトブリド塩酸塩錠100mg「アメル」	内服	611170296	ハロステン錠2mg	2
27	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620002038	コカール錠200mg	1
28	内服	611140022	アセトアミノフェン	内服	620160501	PL配合顆粒	1
29	内服	620067313	アセトアミノフェン「ファイザー」原末	内服	620002038	コカール錠200mg	1
30	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
31	内服	621683101	アセトアミノフェン錠200mg「トーワ」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
32	内服	622028201	インヴェガ錠3mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	1
33	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	1
34	内服	611170065	オーラップ錠3mg	内服	620151101	チミベロン錠3mg「アメル」	1
35	内服	611170065	オーラップ錠3mg	内服	611170267	ニューレプチル錠25mg	1
36	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	1
37	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	1
38	内服	620002022	コロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	1
39	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	1
40	内服	620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	1
41	内服	622079301	クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP」	内服	621499701	クリアミン配合錠S0.5	1
42	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	622033701	グリメリド錠1mg「モチダ」	1
43	内服	622053601	グルベス配合錠	内服	613960039	パミルコン錠2.5mg	1
44	内服	620005428	コカール小児用ドライシロップ20%	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
45	内服	622316100	スルトブリド塩酸塩錠200mg錠	内服	621980601	ロナセン錠8mg	1
46	内服	620160801	トールチーム配合顆粒	内服	620002023	コロナール錠200 200mg	1
47	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	1
48	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621522601	アセトアミノフェン錠200mg「テバ」	1
49	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	1
50	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムビコートタービュヘイラー60吸入	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年3月1日時点。

※リストは51件以上省略

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。本町の薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は271人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層		対象者数(人)								合計
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	
被保険者数(人)		1,374	294	287	236	296	559	999	1,144	5,189
薬剤種類数	1種類	22	5	2	5	4	15	19	17	89
	2種類	25	6	4	0	7	17	30	26	115
	3種類	22	5	0	4	5	12	38	35	121
	4種類	12	3	2	2	6	10	37	43	115
	5種類	10	2	3	1	3	11	25	24	79
	6種類	2	2	0	2	4	7	27	19	63
	7種類	1	1	0	2	6	5	26	12	53
	8種類	1	3	1	0	0	3	14	17	39
	9種類	0	0	0	2	0	4	11	19	36
	10種類	1	0	2	0	2	1	8	9	23
	11種類	1	1	0	0	0	2	8	7	19
	12種類	0	0	1	0	1	2	3	6	13
	13種類	0	1	0	1	1	0	1	3	7
	14種類	0	0	1	2	0	0	0	1	4
	15種類	1	0	1	0	0	0	2	1	5
	16種類	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	17種類	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	18種類	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	19種類	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	20種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計		100	29	17	21	39	92	251	241	790



長期多剤服薬者数(人)※	271
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者271人が被保険者全体に占める割合は5.2%、長期服薬者全体に占める割合は34.3%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	1,374	294	287	236	296	559	999	1,144	5,189
B	長期服薬者数(人)※	100	29	17	21	39	92	251	241	790
C	長期多剤服薬者数(人)※	9	8	6	9	14	27	102	96	271
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.7%	2.7%	2.1%	3.8%	4.7%	4.8%	10.2%	8.4%	5.2%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	9.0%	27.6%	35.3%	42.9%	35.9%	29.3%	40.6%	39.8%	34.3%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	228,624,517円
2位	循環器系の疾患	226,135,006円
3位	精神及び行動の障害	144,387,518円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	2,522人
2位	消化器系の疾患	2,193人
3位	循環器系の疾患	1,979人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	1,140,578円
2位	精神及び行動の障害	259,224円
3位	新生物<腫瘍>	218,362円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	89,725,342円
2位	高血圧性疾患	70,651,729円
3位	腎不全	67,403,218円

患者数が多い疾病		患者数
1位	胃炎及び十二指腸炎	1,434人
2位	高血圧性疾患	1,393人
3位	アレルギー性鼻炎	1,266人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,092,135円
2位	腎不全	962,903円
3位	悪性リンパ腫	904,750円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	434件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	32.6%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	13,029,710円
2位	白血病	12,462,330円
3位	悪性リンパ腫	12,343,090円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	300人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	13人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	16人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	12人

【医療機関受診状況】

重複受診者	31人
頻回受診者	105人
重複服薬者	70人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	70.4%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	120人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	271人
---------	------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤併用禁忌防止
<p>◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬情報通知

5. 保健事業実施計画

(1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
健診異常値放置者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

高

優先順位（費用対効果、対象者の規模、改善の可能性、緊急性）

低

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者の特定健康診査受診率 55% 特定健康診査受診率 10% 向上
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率 45% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 10% 積極的支援及び動機付け支援対象者数 10% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 40% 以上	指導完了者の受診行動適正化 30% 指導完了者の医療費 20% 減少 重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20% 減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)通知開始時平均より 15% 向上
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 健診異常値放置者数 10% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 60% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 40% 指導完了者の検査値改善率 40% 新規人工透析患者割合 10%
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 生活習慣病治療中断者数 10% 減少

(2) 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査受診勧奨事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
特定保健指導事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
受診行動適正化指導事業 (重複受診、頻回受診、重複服薬)	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
ジェネリック医薬品差額通知事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
健診異常値放置者受診勧奨事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
糖尿病性腎症重症化予防事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
			評価						

(3) 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

① 特定健康診査受診勧奨事業

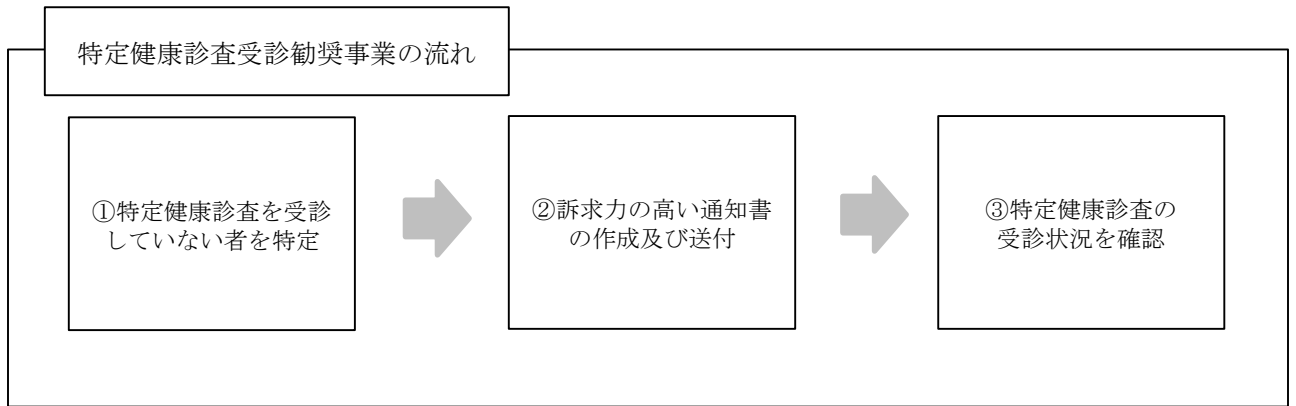
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



通知書デザイン

健診実施医療機関

1 受診券・資料の確認
XX市から受診券と「特定健診・特定保健指導のご案内」を被保険者様へお届けしています。



4 健診結果の通知
健診の結果は、受診した医療機関で説明をします。



2 健診のお申し込み
受診券に同封されている「健診実施医療機関一覧」または、このハガキの裏面の「健診実施医療機関一覧」に記載のある医療機関へ直接予約してください。

5 特定保健指導のご案内
健診データから、特定保健指導の対象となる方には利用券を送付します。

XX市国民健康保険課
ご不明な点はこちらまで
XXXX-XXXX-XXXX

特定健診の基本的な検査項目

• 問診	• 血圧測定
• 診察	• 血中脂質検査
• 身体計測	• 血糖検査



XXXX市XXXXXXXXXXXX

●●●●様

国民健康保険の被保険者のあなたへ
大切なお知らせです。

平成24年・25年の健診を受診していない方にお送りしてはまの健診を受診された方、資格を喪失された方につきましては行わないのでご容赦願います。

XX市国民健康保険課
ご不明な点はこちらまで
XXXX-XXXX-XXXX

OPEN 矢印の方向に、ゆっくりとねいに開いて中をご確認ください。
※万一このハガキが割っている場合は、十分に乾かしてから、ゆっくり丁寧に開いてください。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の特定健康診査受診率 55%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 10%	特定健康診査受診率を確認する。

②特定保健指導事業

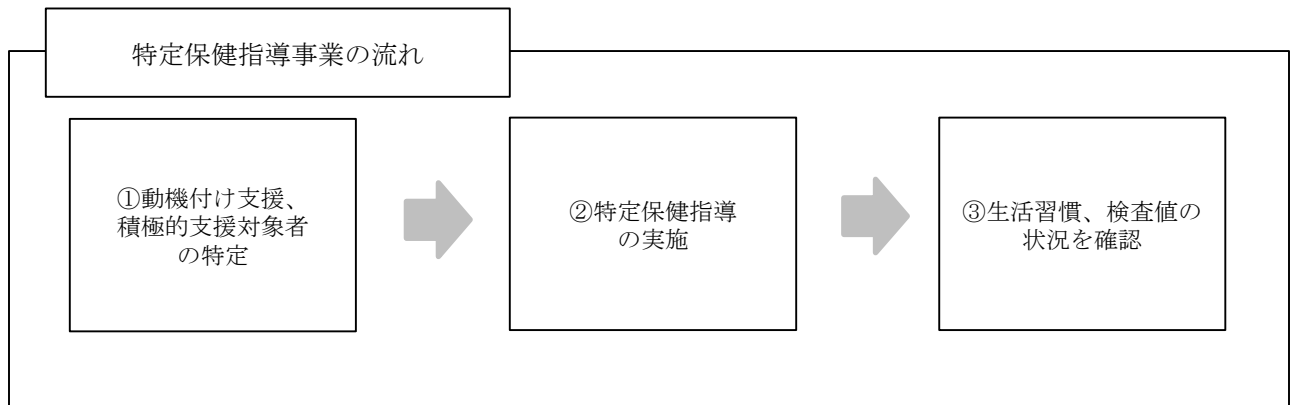
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率 45% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 10% 指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期	積極的支援及び動機付け支援対象者 10% 減少 特定保健指導対象者割合の推移を確認する。

※特定保健指導を実施することにより、指導前と指導後で生活習慣が改善された人数の割合。

③受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診・重複服薬)

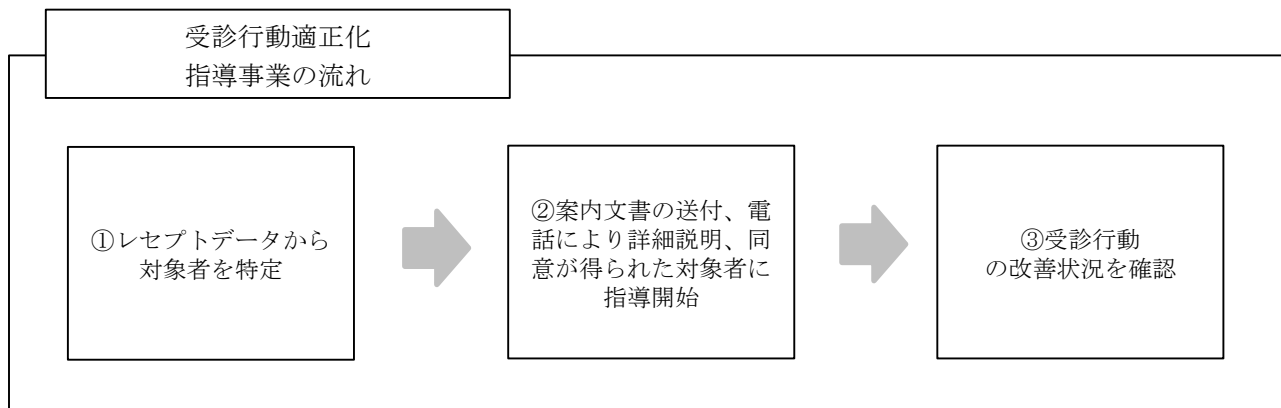
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 40% 以上	短期 指導完了者の受診行動適正化 30% 指導完了者の医療費 20% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期 重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 15% 向上
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)80%

⑤健診異常値放置者受診勧奨事業

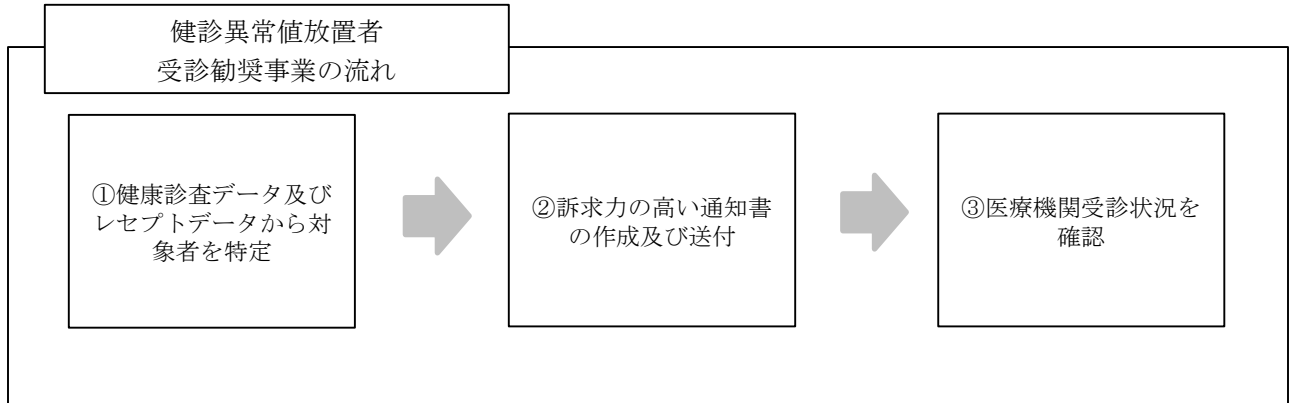
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

あなたのお体の状態についてのお知らせ

平成28年09月08日に受けられた特定健康診査結果は以下の通りです。
あなたの健康のため、医療機関の受診をお勧めします。

糖尿病の発症リスク

同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **2.8倍**

心血管病の発症リスク

同性同年齢と比べたあなたの現在のリスク **1.4倍**

※あなたの検査値をもとに、10年間の糖尿病、心血管病の発症リスク^{※1}を予測しています。

あなたの数値	総コレステロール	LDLコレステロール	HDLコレステロール	中性脂肪	HbA1c	空腹時血糖	BMI	
平成28年09月08日の受診結果	130 mg/dL	84 mg/dL	187 mg/dL	118 mg/dL	48 %	5.6 mg/dL	104	29.5
平成27年10月26日の受診結果	140 mg/dL	90 mg/dL	174 mg/dL	164 mg/dL	39 %	5.6 mg/dL	98	30.3
平成28年11月09日の受診結果	120 mg/dL	72 mg/dL	204 mg/dL	206 mg/dL	44 %	5.6 mg/dL	-	30.3

→ 平成28年09月08日結果
 平成27年10月26日結果
 平成28年11月09日結果

BMI

最高血圧

最低血圧

LDL
コレステロール

空腹時血糖

中性脂肪

HbA1c

HDL
コレステロール

右図はあなたの特定健康診査の結果です。

→ 要治療・精密検査ゾーン
 → 要治療・精密検査ゾーン
 → 精密検査ゾーン
 → 異常なしゾーン

0000000003

このレポートは、福岡県久山地域における疫学研究に関する次の論文にもとづいています。
 1. Aizawa H, et al. Hypertens Res 33:1119,2010 2. Doi Y, et al. Diabetic Med 29:107,2012

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 10% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

⑥糖尿病性腎症重症化予防事業

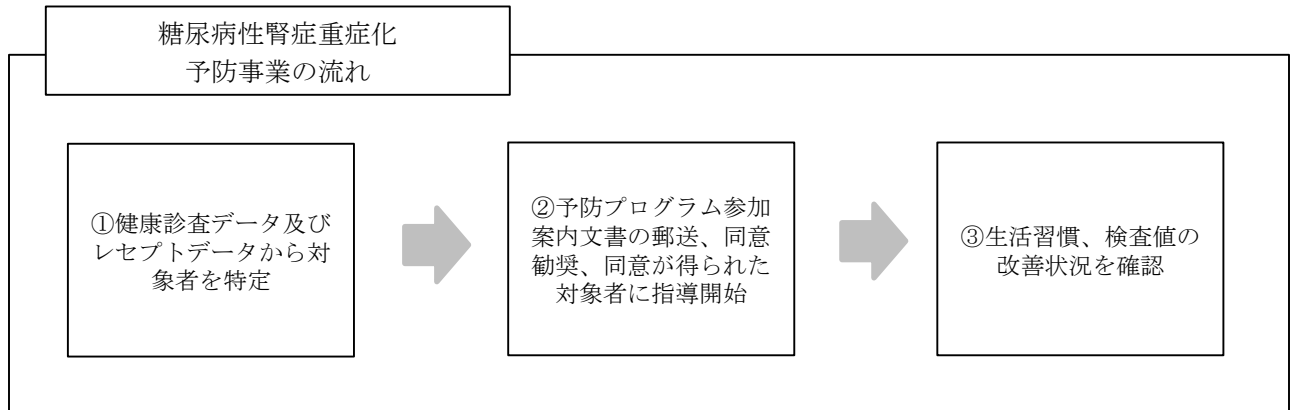
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標及び評価方法】

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 60% 以上	短期 指導完了者の生活習慣 改善率 40% 指導完了者の検査値 改善率 40%	指導後の結果から生活習慣や検査 値の改善状況を確認する。
	中長期 新規人工透析患者割合 10%	レセプトデータより新規人工透析 患者を確認する。

⑦生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

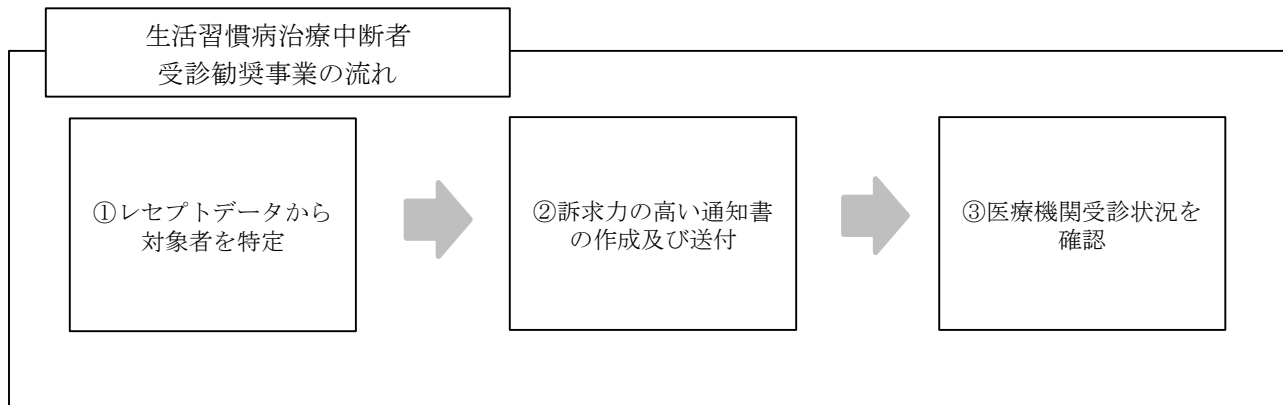
【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

**あなたの健康に関する
大切なお知らせです。**

郵便はがき

●●局
料金別納
郵便

123-4567
〇〇県△△市□□1-2-3

□□□□□□

Q 特に今は悪いところがないので、通院していませんが…

A 生活習慣病は自覚症状が気づいたときにはかなり進行し、重症化することを恐れません。生活習慣病は早めの予防医療機関での受診を中断するよりお願ひします。

Q 特定健康診査について…

A 特定健診とは糖尿病や見するための健診です。生活習慣病は早めの予防医療機関での受診を中断するよりお願ひします。1年に1回の特定健診を受診し、特定健康診査を受ける際の電話番号までお知らせください。

あなたの健康に関する大切なお知らせです。
～生活習慣病の治療を中断されていないでしようか～

あなたは医療機関での生活習慣病の治療を中断されていないでしようか？
この通知は診療報酬明細書(レセプト)を元に、生活習慣病の受診を中断されていると思われる方に送付しています。

生活習慣病は継続して治療を受けることが大切です。もし、中断されているのであれば、なるべく早く治療を再開されることをお勧めします。
なお、医師の指示に基づき定期的治療を受けている方や、既に病気が完治し、医師より「受診の必要なし」とのご判断をいただいた方にこの「お知らせ」が届いた場合はご容赦ください。

【生活習慣病の治療を怠ったとき、以下のようなことも考えられます】

**予防せず
放っておくと**

腎不全
狭心症
脳梗塞
脳出血
心筋梗塞
など…

重症の場合
「半身の麻痺」や「認知症」
「失明」「四肢切断」など
将来、介護が必要になる
危険性が高くなり、
深刻な事態を招きます。

生活習慣病は、早めの予防、早めの治療が命により大切です。特定健康診査を受けておられない方は、ぜひ受診しましょう!

**特定健診をご活用
されていますか？**

特定健康診査をご活用されていますでしょうか。特定健康診査は、あなたご自身のおからだの状態を知ることができます。特定健康診査を受診し、ご自身の健康管理に努めましょう。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

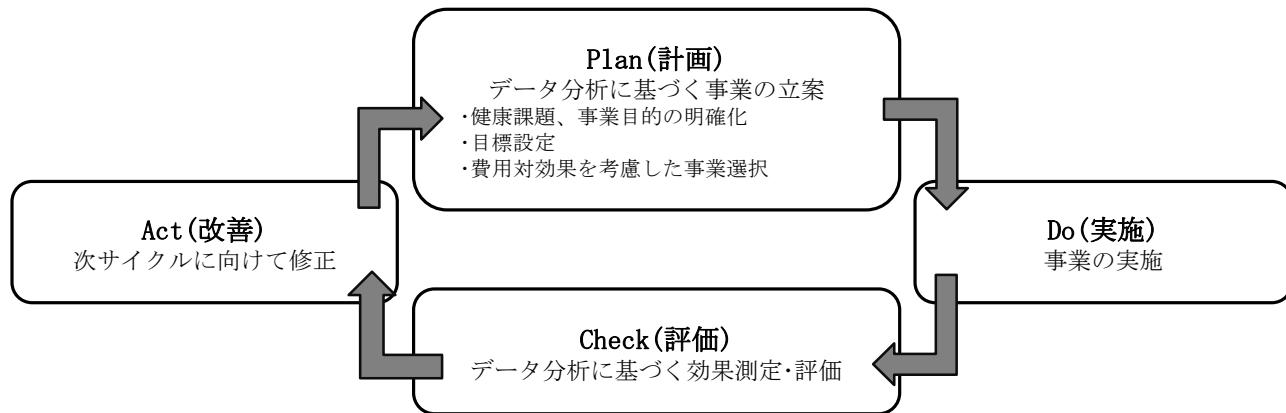
アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	生活習慣病治療中断者 10% 減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。

6. その他

(1) データヘルス計画の見直し

① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

(2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

(3) 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「吉岡町個人情報保護条例」「吉岡町情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

(4) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

第3章 第3期特定健康診査等実施計画

1. 計画策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)に基づき、被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

吉岡町国民健康保険においては、法第19条に基づき第1期特定健康診査等実施計画、第2期特定健康診査等実施計画を策定し特定健康診査及び特定保健指導を実施してきた。このたび、前期計画の計画期間満了に伴い、平成30年度を初年度とする第3期特定健康診査等実施計画を策定する。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

(2) 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第18条を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」、「市町村健康増進計画」及び「データヘルス計画」で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る必要がある。

(3) 計画期間

第1期特定健康診査等実施計画及び第2期特定健康診査等実施計画は5年を一期としていたが、医療費適正化計画が6年一期に見直されたことを踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画からは6年を一期として策定する(特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)より)。なお、計画期間は平成30年度から平成35年度とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

■ データ分析期間

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・健康診査データ

単年分析

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)

平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)

平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

2. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

(1) 特定健康診査の受診率

平成20年度から平成29年度における、特定健康診査の受診状況等は以下の通りである。

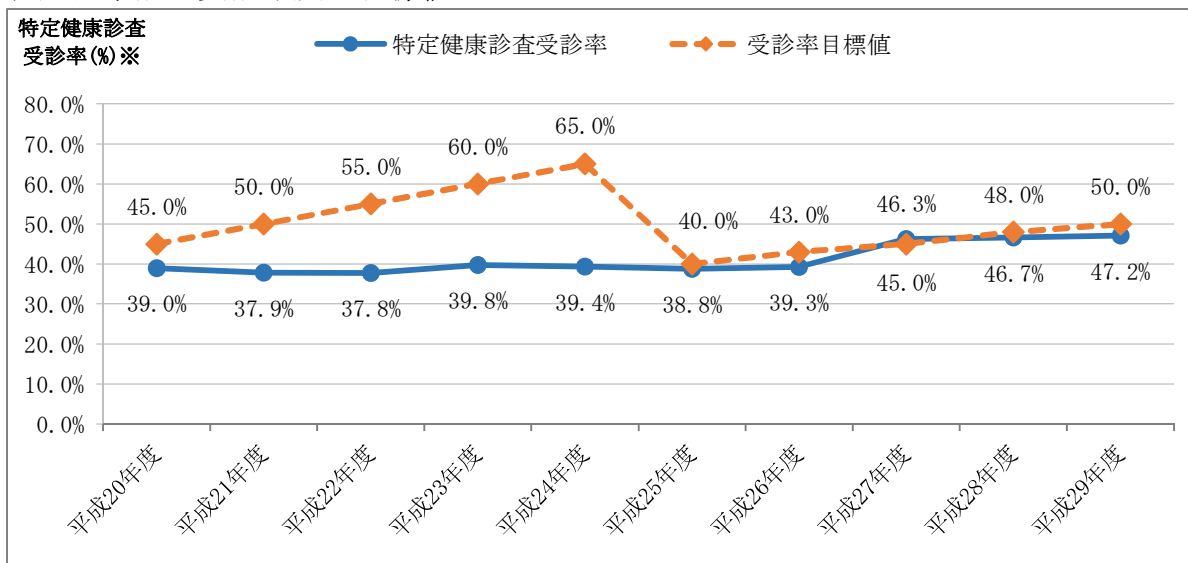
特定健康診査受診率及び目標値

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査対象者数(人)	3,180	3,215	3,341	3,216	3,221
特定健康診査受診者数(人)	1,240	1,218	1,262	1,279	1,269
特定健康診査受診率(%)※	39.0%	37.9%	37.8%	39.8%	39.4%
受診率目標値(%)	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	3,227	3,192	3,098	3,026	2,990
特定健康診査受診者数(人)	1,253	1,255	1,433	1,412	1,410
特定健康診査受診率(%)※	38.8%	39.3%	46.3%	46.7%	47.2%
受診率目標値(%)	40.0%	43.0%	45.0%	48.0%	50.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

(2) 特定保健指導の実施率

平成20年度から平成29年度における、特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

特定保健指導実施率及び目標値

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定保健指導対象者数(人)	192	181	179	189	186
特定保健指導利用者数(人)	27	54	60	69	72
特定保健指導実施者数(人)※	27	54	60	69	72
特定保健指導実施率(%)※	14.1%	29.8%	33.5%	36.5%	38.7%
実施率目標値(%)	45.0%	45.0%	48.0%	50.0%	53.0%

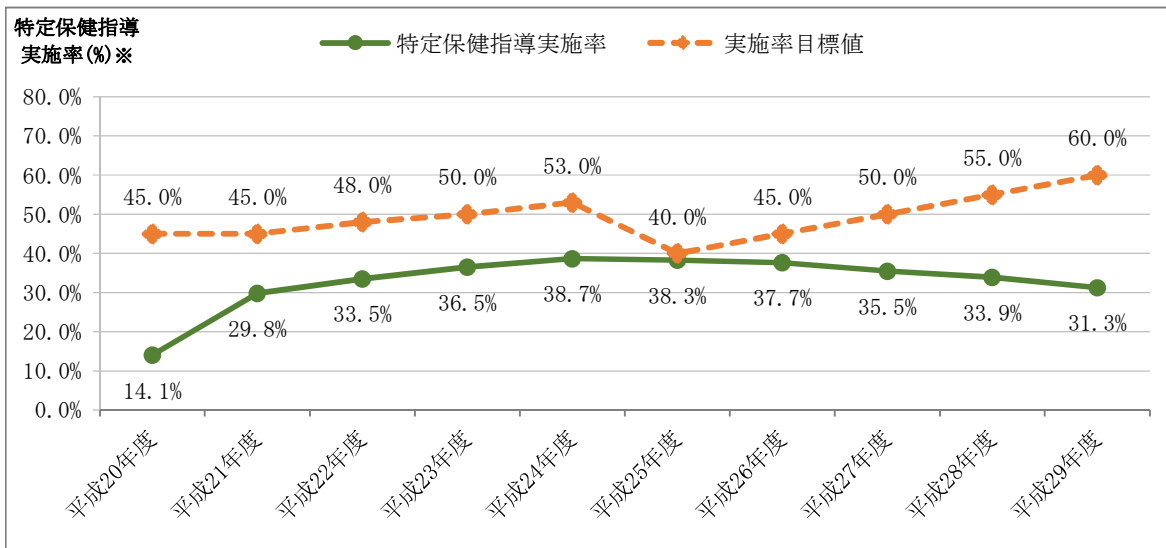
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	154	154	172	186	211
特定保健指導利用者数(人)	59	58	61	63	66
特定保健指導実施者数(人)※	59	58	61	63	66
特定保健指導実施率(%)※	38.3%	37.7%	35.5%	33.9%	31.3%
実施率目標値(%)	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合。

支援レベル別の特定保健指導の実施状況等は以下の通りである。

積極的支援実施状況

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
積極的支援対象者数(人)	67	54	63	67	70
積極的支援利用者数(人)	7	9	14	15	18
積極的支援実施者数(人)※	7	9	14	15	18
積極的支援実施率(%)※	10.4%	16.7%	22.2%	22.4%	25.7%

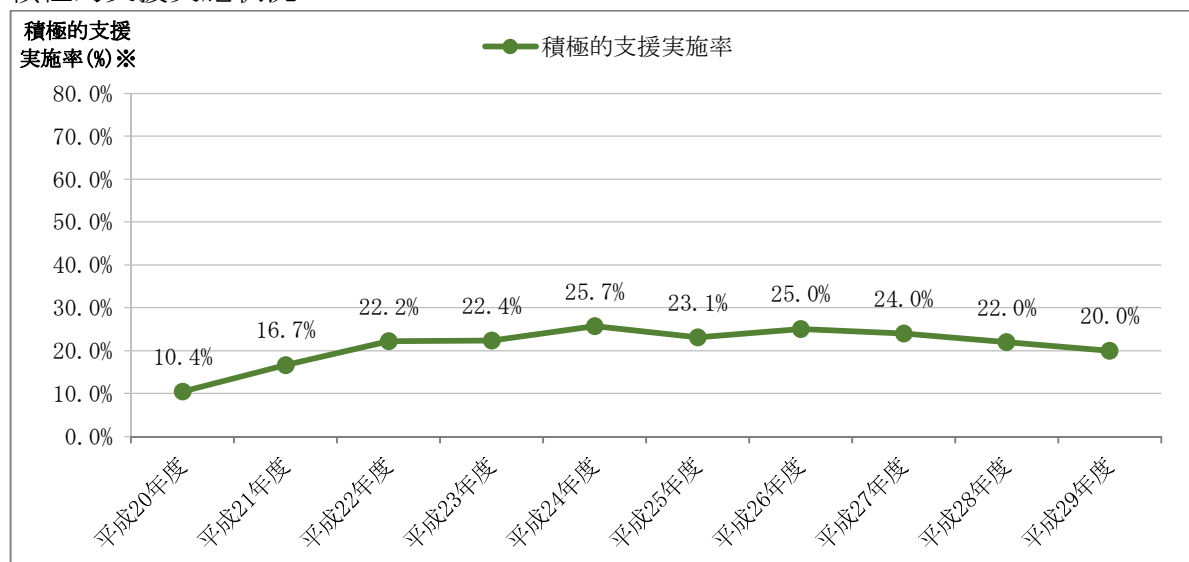
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	39	40	50	50	55
積極的支援利用者数(人)	9	10	12	11	11
積極的支援実施者数(人)※	9	10	12	11	11
積極的支援実施率(%)※	23.1%	25.0%	24.0%	22.0%	20.0%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
動機付け支援対象者数(人)	125	127	116	122	116
動機付け支援利用者数(人)	20	45	46	54	54
動機付け支援実施者数(人)※	20	45	46	54	54
動機付け支援実施率(%)※	16.0%	35.4%	39.7%	44.3%	46.6%

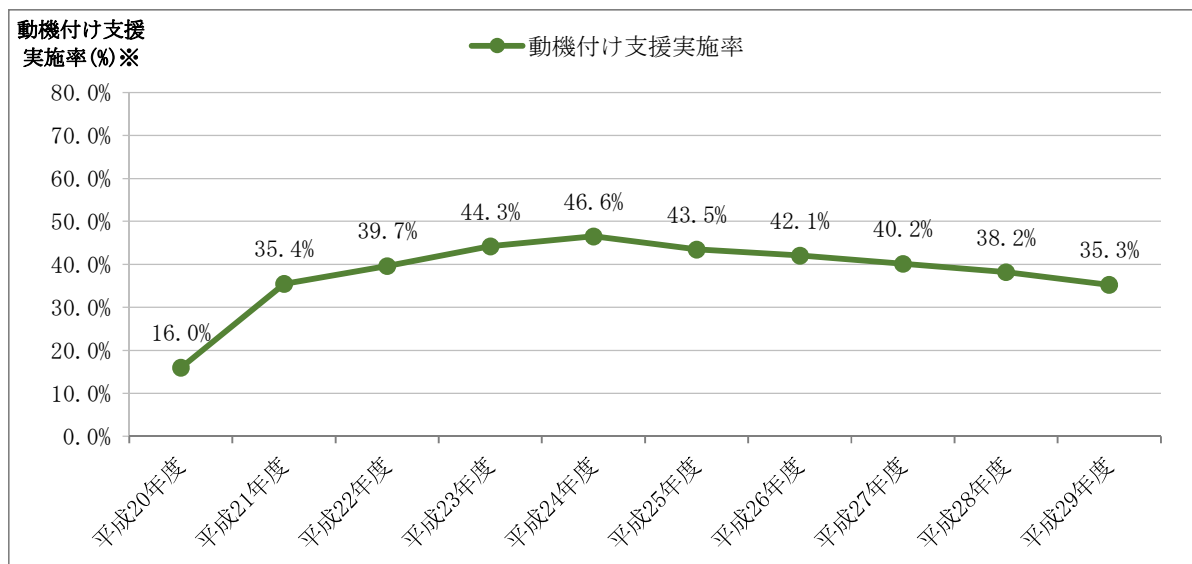
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	115	114	122	136	156
動機付け支援利用者数(人)	50	48	49	52	55
動機付け支援実施者数(人)※	50	48	49	52	55
動機付け支援実施率(%)※	43.5%	42.1%	40.2%	38.2%	35.3%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

3. 特定健康診査及び特定保健指導に係る主な取り組み

特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを以下に示す。

【特定健康診査】

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成28年度	広報・ホームページへの掲載	特定健康診査の周知	特定健康診査の重要性を知ってもらうために、市の広報紙やホームページ等の媒体を利用する。	広報誌「広報よしおか」に掲載(5月号)
平成28年度	休日健診の導入	特定健康診査の受診体制充実	平日に受診が困難な対象者に、休日の健診日を設ける。	休日健診2回実施
平成28年度	特定健康診査受診勧奨	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。	通知書2,683通送付

【特定保健指導】

実施年度	取り組み	目的	概要	実施状況
平成28年度	特定保健指導利用勧奨	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導を受けていない者を対象者とし個別に案内を送付するとともに、電話による利用勧奨を行う。	対象者30人に実施
平成28年度	特定保健指導運動教室開催	利用者の生活習慣の改善	国保被保険者と利用者に対して運動教室を開催し生活習慣につながる運動を行う。	参加者人数30人

4. 特定健康診査及び特定保健指導に係る分析結果

(1) 特定健康診査結果の分析

① 有所見者割合

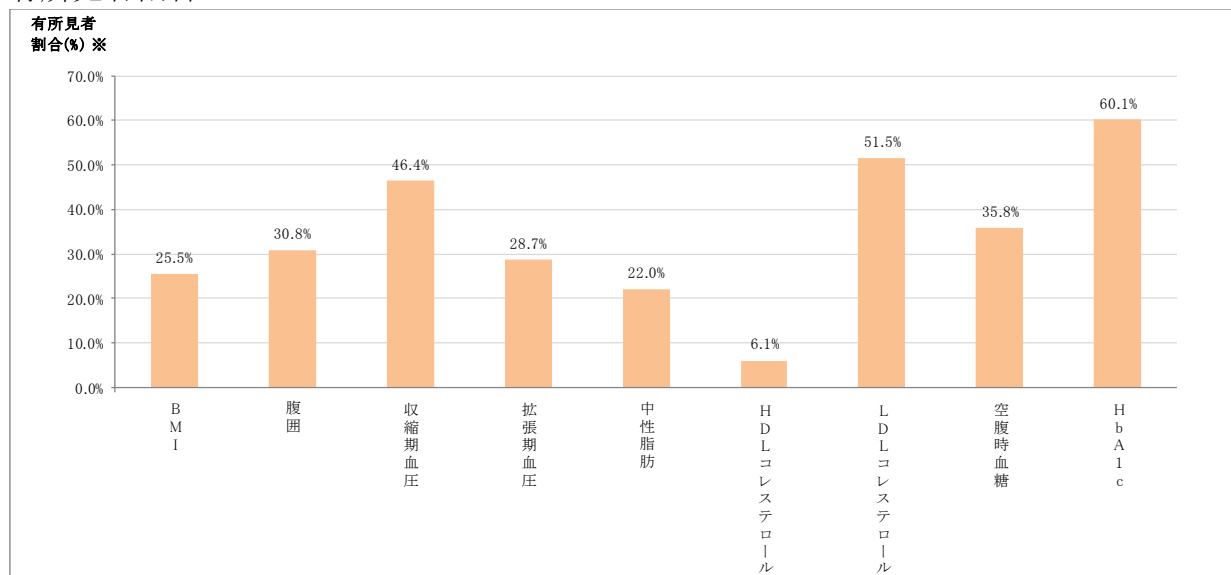
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下の通りである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,400	1,400	1,400	1,400
有所見者数(人) ※	357	431	650	402
有所見者割合(%) ※	25.5%	30.8%	46.4%	28.7%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,400	1,400	1,400	1,214	1,400
有所見者数(人) ※	308	85	721	435	842
有所見者割合(%) ※	22.0%	6.1%	51.5%	35.8%	60.1%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
BMI	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	261	317	357
	有所見者割合(%) ※	22.2%	23.1%	25.5%
腹囲	対象者数(人) ※	1,175	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	337	393	431
	有所見者割合(%) ※	28.7%	28.6%	30.8%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	481	624	650
	有所見者割合(%) ※	40.9%	45.4%	46.4%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	248	363	402
	有所見者割合(%) ※	21.1%	26.4%	28.7%
中性脂肪	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	258	273	308
	有所見者割合(%) ※	21.9%	19.9%	22.0%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	61	75	85
	有所見者割合(%) ※	5.2%	5.5%	6.1%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	612	711	721
	有所見者割合(%) ※	52.0%	51.7%	51.5%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	1,041	1,236	1,214
	有所見者数(人) ※	276	430	435
	有所見者割合(%) ※	26.5%	34.8%	35.8%
HbA1c	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	687	700	842
	有所見者割合(%) ※	58.4%	50.9%	60.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

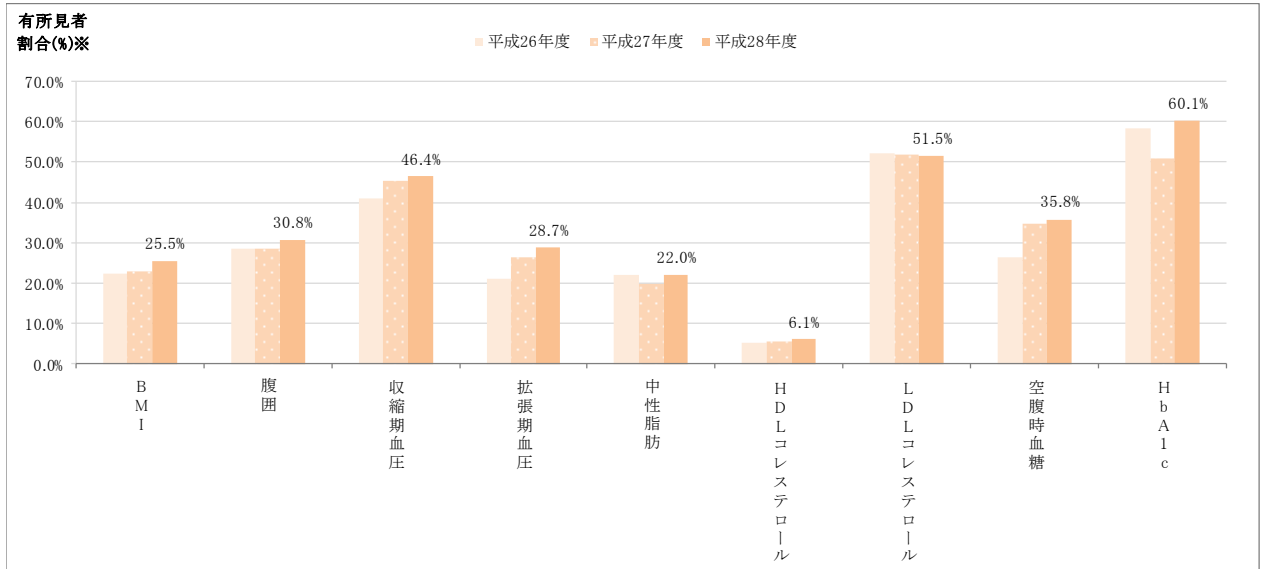
BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※有所見者割合…特定健康診査を受診した人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

②質問別回答状況

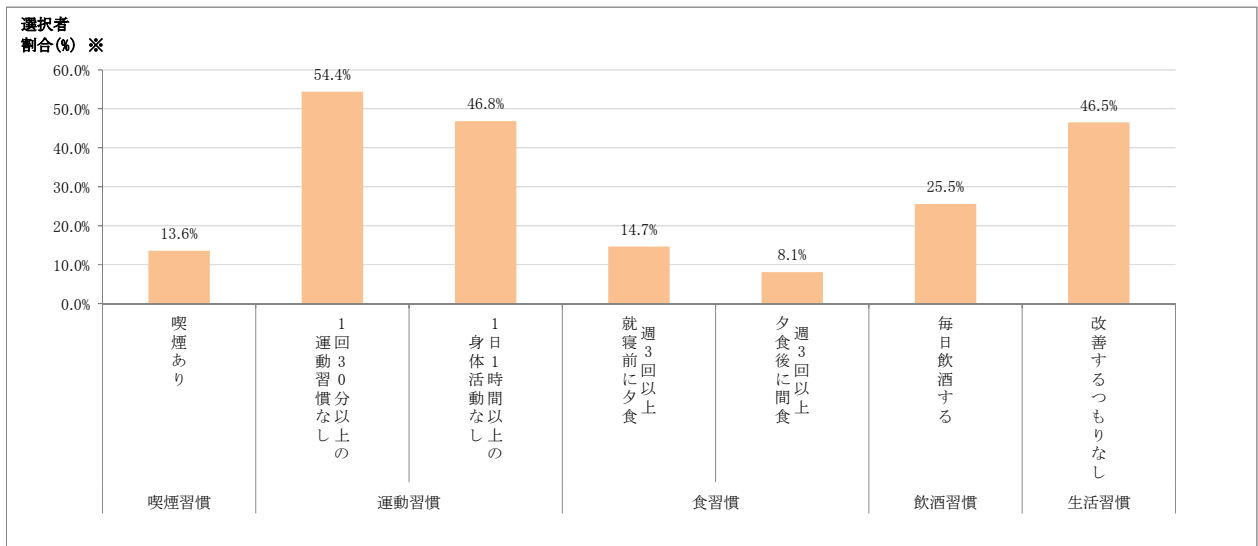
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況は以下の通りである。

質問別 回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	1,400	1,400	1,399
選択者数(人) ※	190	762	655
選択者割合(%) ※	13.6%	54.4%	46.8%

	食習慣	飲酒習慣	生活習慣	
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	
質問回答者数(人) ※	1,399	1,399	1,398	1,393
選択者数(人) ※	205	113	357	648
選択者割合(%) ※	14.7%	8.1%	25.5%	46.5%

質問別 選択者数割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者数割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者の喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する質問別回答状況を年度別に示す。

年度別 質問別回答状況

			平成26年度	平成27年度	平成28年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
		選択者数(人) ※	167	194	190
		選択者割合(%) ※	14.2%	14.1%	13.6%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	1,175	1,373	1,400
		選択者数(人) ※	664	745	762
		選択者割合(%) ※	56.5%	54.3%	54.4%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	1,176	1,373	1,399
		選択者数(人) ※	527	611	655
		選択者割合(%) ※	44.8%	44.5%	46.8%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	1,176	1,372	1,399
		選択者数(人) ※	195	213	205
		選択者割合(%) ※	16.6%	15.5%	14.7%
	週3回以上夕食後に間食	質問回答者数(人) ※	1,174	1,373	1,399
		選択者数(人) ※	75	123	113
		選択者割合(%) ※	6.4%	9.0%	8.1%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	1,175	1,373	1,398
		選択者数(人) ※	301	358	357
		選択者割合(%) ※	25.6%	26.1%	25.5%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	1,161	1,367	1,393
		選択者数(人) ※	580	633	648
		選択者割合(%) ※	50.0%	46.3%	46.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者数割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

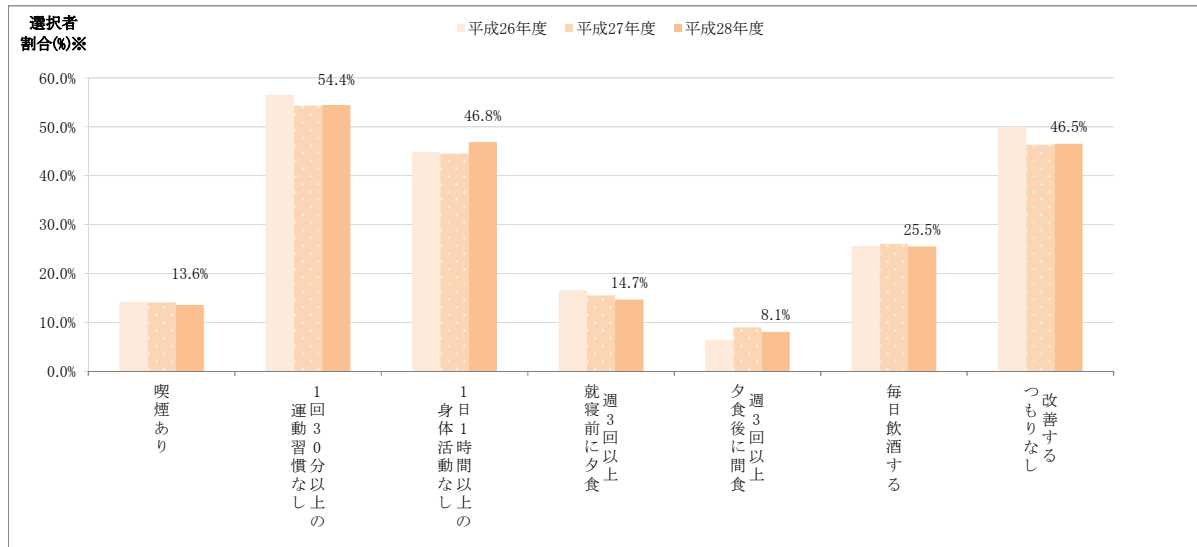
週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

年度別 質問別選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※選択者数割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の49.8%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の41.0%である。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	1,400	43.4%	1,406,440	65,449,863	66,856,303
健診未受診者	1,829	56.6%	3,843,804	79,971,454	83,815,258
合計	3,229		5,250,244	145,421,317	150,671,561

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	32	2.3%	697	49.8%	697	49.8%	43,951	93,902	95,920
健診未受診者	77	4.2%	745	40.7%	750	41.0%	49,920	107,344	111,754
合計	109	3.4%	1,442	44.7%	1,447	44.8%	48,167	100,847	104,127

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

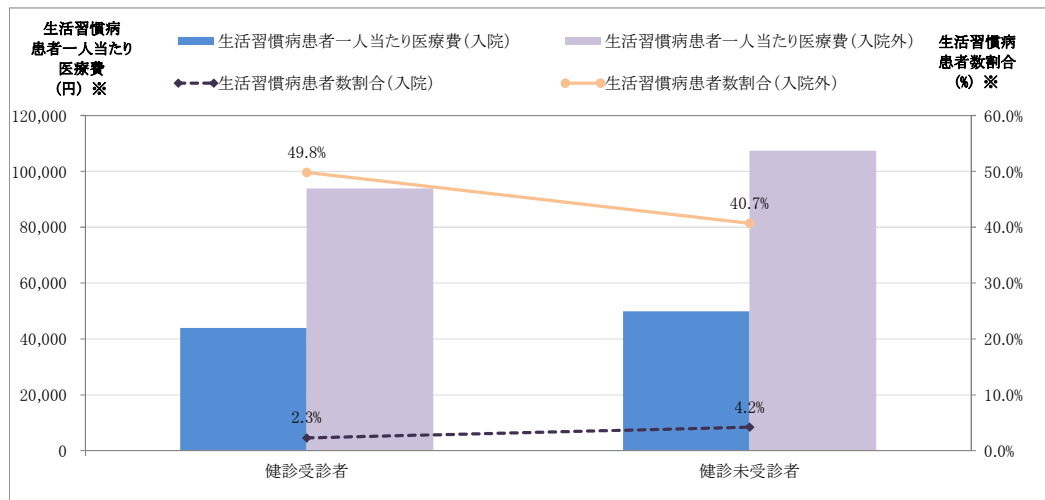
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月末日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区別なく集計した実人数。

特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…2015年3月1日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

(2) 特定保健指導の効果分析

特定保健指導の効果について、平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況より分析する。基準該当241人、予備群該当134人である。

メタボリックシンドローム該当状況

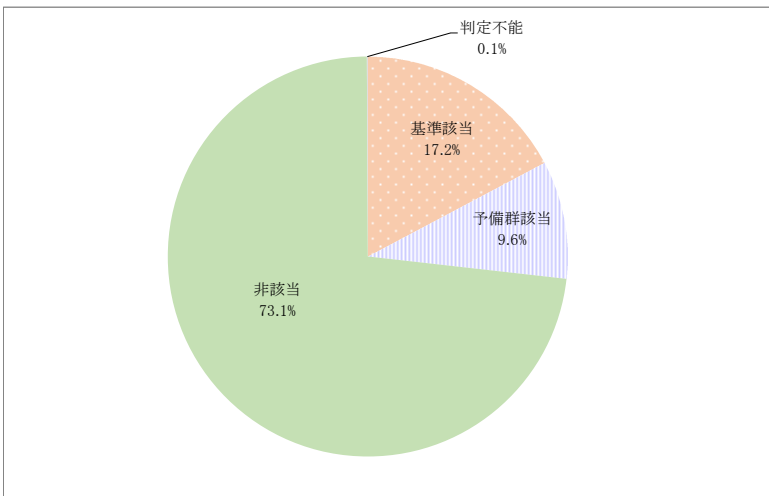
	特定健康診査 受診者(人)	該当レベル			
		基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	1,400	241	134	1,024	1
割合※(%)	-	17.2%	9.6%	73.1%	0.1%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成26年度から平成28年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示す。平成28年度基準該当17.2%は平成26年度12.6%より上昇しており、平成28年度予備群該当9.6%は平成26年度10.9%より低下している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

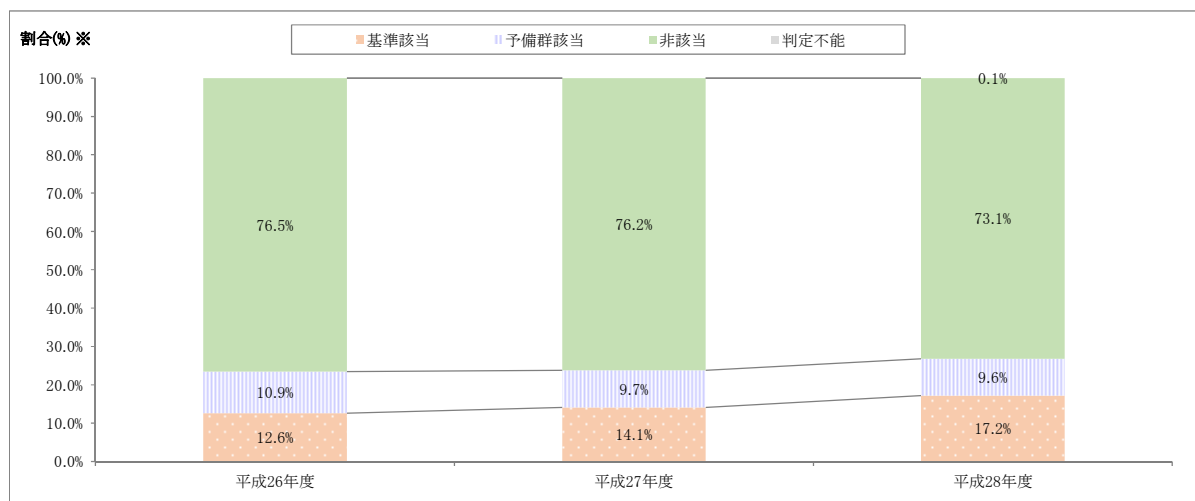
年度	健診受診者数(人)
平成26年度	1,176
平成27年度	1,374
平成28年度	1,400

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	148	12.6%	128	10.9%	900	76.5%	0	0.0%
平成27年度	194	14.1%	133	9.7%	1,047	76.2%	0	0.0%
平成28年度	241	17.2%	134	9.6%	1,024	73.1%	1	0.1%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

(3) 特定保健指導対象者の分析

①保健指導レベル該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は49人、動機付け支援対象者は135人である。

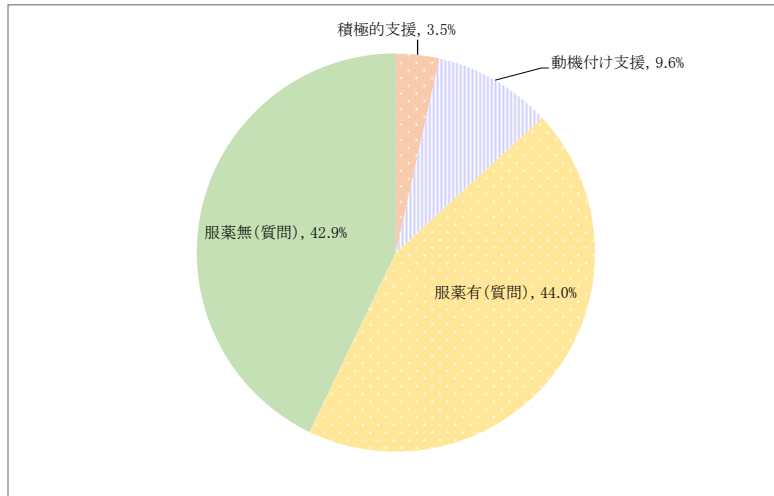
保健指導レベル該当状況

	健診受診者数 (人)	該当レベル					判定不能
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	
該当者数(人)	1,400	184	49	135	616	600	0
割合※(%)	-	13.1%	3.5%	9.6%	44.0%	42.9%	0.0%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下の通りである。

年齢階層別 保健指導レベル該当状況

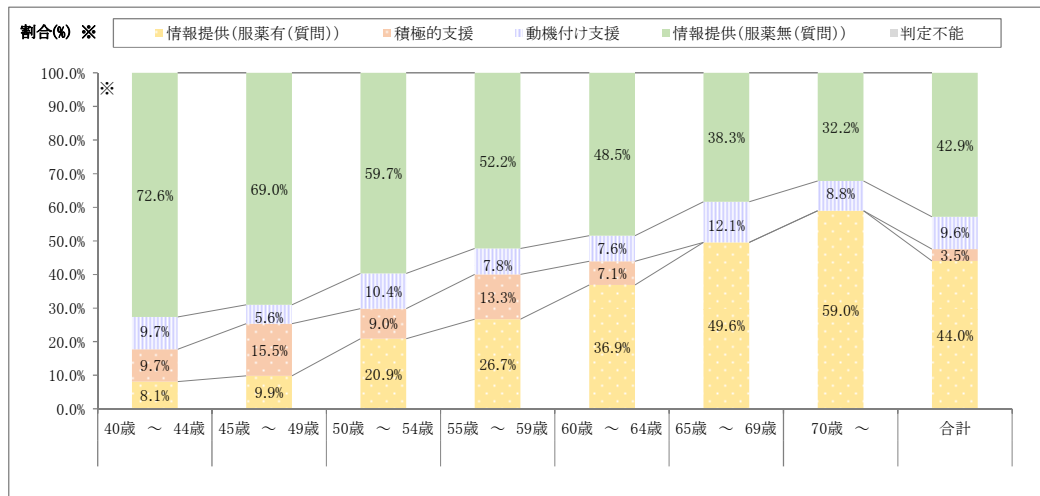
年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)						
		積極的支援		動機付け支援		判定不能		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
40歳～44歳	62	12	6	9.7%	6	9.7%	0	0.0%
45歳～49歳	71	15	11	15.5%	4	5.6%	0	0.0%
50歳～54歳	67	13	6	9.0%	7	10.4%	0	0.0%
55歳～59歳	90	19	12	13.3%	7	7.8%	0	0.0%
60歳～64歳	198	29	14	7.1%	15	7.6%	0	0.0%
65歳～69歳	480	58	0	0.0%	58	12.1%	0	0.0%
70歳～	432	38	0	0.0%	38	8.8%	0	0.0%
合計	1,400	184	49	3.5%	135	9.6%	0	0.0%

年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳～44歳	62	5	8.1%	45	72.6%	0	0.0%
45歳～49歳	71	7	9.9%	49	69.0%	0	0.0%
50歳～54歳	67	14	20.9%	40	59.7%	0	0.0%
55歳～59歳	90	24	26.7%	47	52.2%	0	0.0%
60歳～64歳	198	73	36.9%	96	48.5%	0	0.0%
65歳～69歳	480	238	49.6%	184	38.3%	0	0.0%
70歳～	432	255	59.0%	139	32.2%	0	0.0%
合計	1,400	616	44.0%	600	42.9%	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年齢階層別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

平成26年度から平成28年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示す。平成28年度積極的支援49人は平成26年度35人より増加しており、平成28年度動機付け支援135人は平成26年度104人より増加している。

年度別 保健指導レベルの該当状況

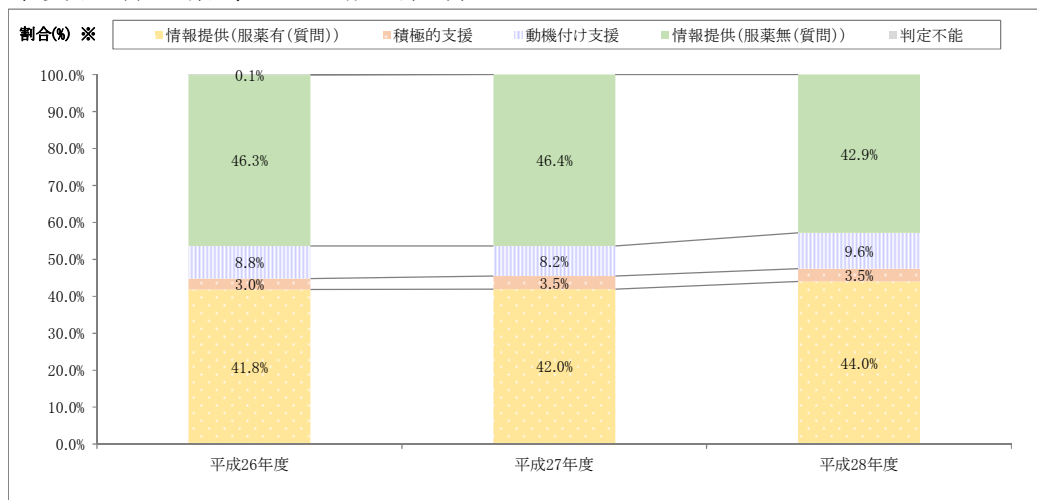
年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
平成26年度	1,176	139	35	3.0%	104	8.8%
平成27年度	1,374	160	48	3.5%	112	8.2%
平成28年度	1,400	184	49	3.5%	135	9.6%

年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
平成26年度	1,176	492	41.8%	544	46.3%	1	0.1%
平成27年度	1,374	577	42.0%	637	46.4%	0	0.0%
平成28年度	1,400	616	44.0%	600	42.9%	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

年度別 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…特定健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

②特定保健指導リスク因子別該当状況

平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を以下に示す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			184人		
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	5人	49人	27%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	6人		
	●	●	●	●		血糖＋血圧＋喫煙	4人		
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	2人		
		●	●	●	因子数2	血圧＋脂質＋喫煙	8人		
	●	●				血糖＋血圧	7人		
	●		●			血糖＋脂質	5人		
		●	●			血圧＋脂質	7人		
	●			●	因子数1	血糖＋喫煙	1人		
		●		●		血圧＋喫煙	2人		
			●	●		脂質＋喫煙	2人		
		●			因子数0	血糖	0人		
			●			血圧	0人		
				●		脂質	0人		
			●	喫煙		0人			
				因子数0	なし	0人			
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	3人	135人	73%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	15人		
	●	●	●	●		血糖＋血圧＋喫煙	2人		
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	2人		
		●	●	●	因子数2	血圧＋脂質＋喫煙	2人		
	●	●				血糖＋血圧	24人		
	●		●			血糖＋脂質	9人		
		●	●			血圧＋脂質	7人		
	●			●	因子数1	血糖＋喫煙	1人		
		●		●		血圧＋喫煙	5人		
			●	●		脂質＋喫煙	1人		
	●				因子数0	血糖	20人		
		●				血圧	37人		
			●			脂質	7人		
			●	喫煙		0人			
				因子数0	なし	0人			

データ化範囲（分析対象）…入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲（分析対象）…健診データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月1日時点。

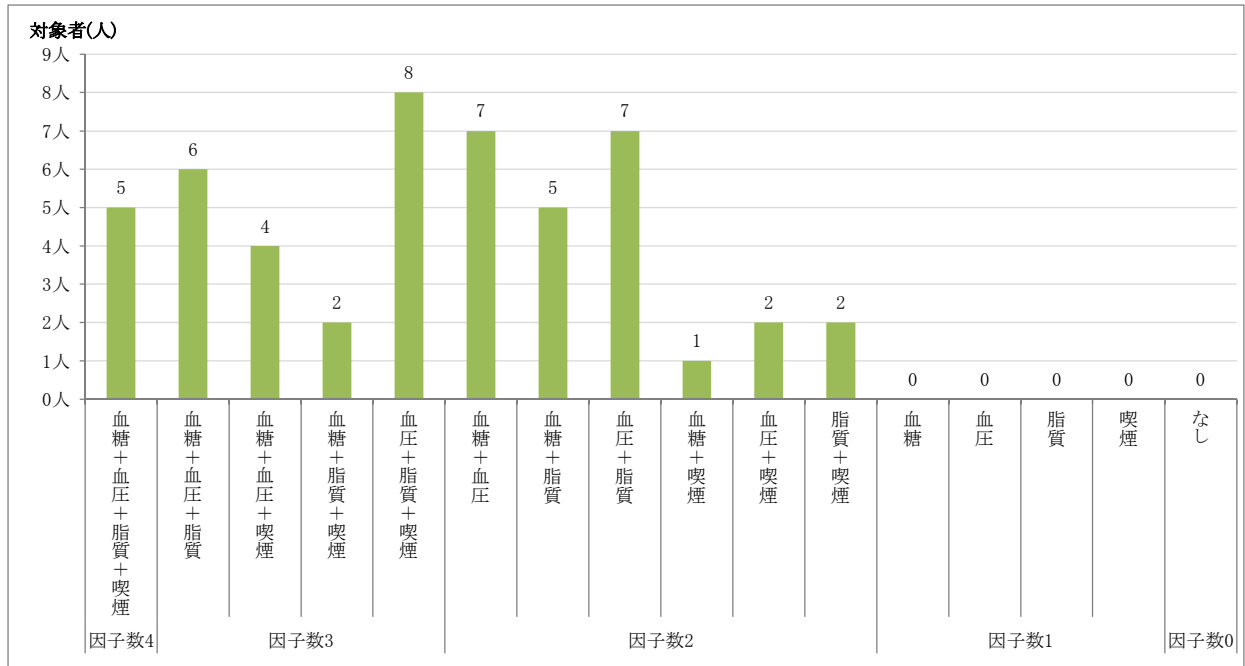
65歳以上の者については、日常生活動作能力、運動機能等を踏まえ、QOL(Quality of Life)の低下予防に配慮した生活習慣の改善が重要である等から、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機付け支援」とする

※リスク判定…健診検査値が特定健診指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

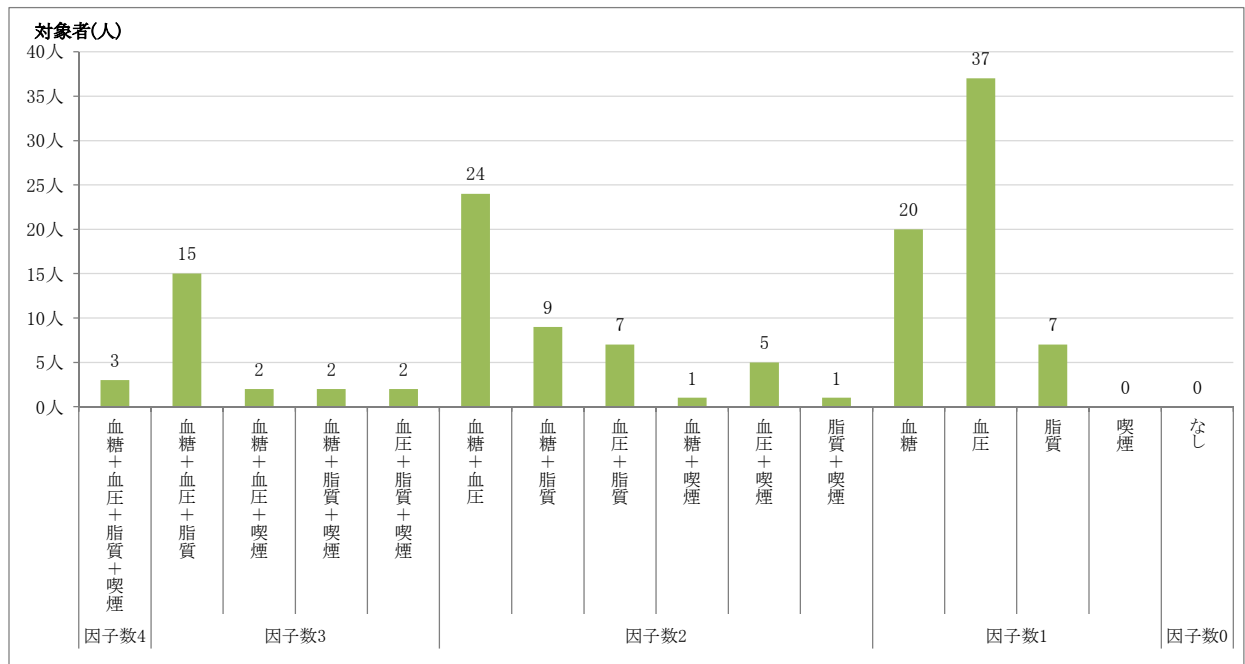
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲（分析対象）…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

③特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

平成28年4月～平成29年4月健診分(12カ月)積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。これらのグループ別に生活習慣病の患者一人当たり医療費(入院外)を比較すると「非対象者(服薬有)」が最も高く、次に「対象者」が高い。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	184	19,648	1,035,778	1,055,426	4	27	27
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	600	621,237	2,240,652	2,861,889	2	61	61
	情報提供 (服薬有(質問))	616	765,555	62,173,433	62,938,988	26	609	609

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	184	4,912	38,362	39,090
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	600	310,619	36,732	46,916
	情報提供 (服薬有(質問))	616	29,444	102,091	103,348

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

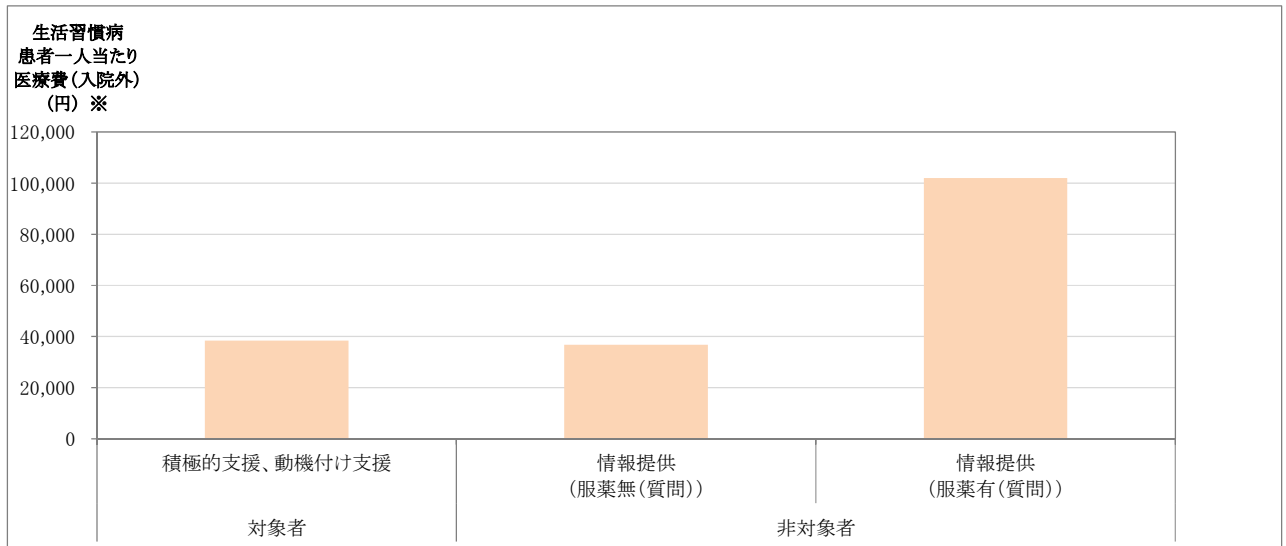
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年4月～平成29年3月全てに資格がある被保険者を対象とする。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトのうち、投薬のあったレセプトを集計する。

※生活習慣病患者数の合計…入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

5. 特定健康診査及び特定保健指導実施状況に基づく課題と対策

課題と対策は以下の通りである。

◆特定健康診査受診率

平成28年度特定健康診査受診率33.9%は、市町村国保の平成29年度到達目標値60%に未到達である。受診率向上を目指し、利用勧奨の取り組みをさらに行う必要がある。

※KDBより算出

◆メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当状況

メタボリックシンドローム基準該当割合は17.2%、予備群該当割合は9.6%である。また、積極的支援対象者割合は3.5%、動機付け支援対象者割合は9.6%である。メタボリックシンドローム及び特定保健指導該当者数を減少させるため、年齢が比較的若い対象者に対して優先的に指導する等、効果的・効率的な特定保健指導を実施する必要がある。

※健康診査データより算出

6. 特定健康診査等実施計画

(1) 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である平成35年度までに特定健康診査受診率60.0%、特定保健指導実施率60.0%、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率25.0%(平成20年度比)を達成することとしている。本町においては各年度の目標値を以下の通り設定する。

目標値

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成35年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	50.0%	52.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導実施率(%)	36.0%	40.0%	45.0%	49.0%	54.0%	60.0%	60.0%以上
特定保健指導対象者の 減少率(%)※						25.0%	25.0%以上

※平成20年度比

(2) 対象者数推計

① 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示す。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査対象者数(人)	2,890	2,803	2,709	2,663	2,580	2,427
特定健康診査受診率(%) (目標値)	50.0%	52.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%
特定健康診査受診者数(人)	1,445	1,457	1,462	1,491	1,496	1,456

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	1,379	1,323	1,249	1,176	1,132	1,091
	65歳～74歳	1,511	1,480	1,460	1,487	1,448	1,336
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	482	476	487	493	509	512
	65歳～74歳	963	981	975	998	987	944

②特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示す。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導対象者数(人)	242	241	241	251	245	237
特定保健指導実施率(%) (目標値)	36.0%	40.0%	45.0%	49.0%	54.0%	60.0%
特定保健指導実施者数(人)	87	96	108	123	132	142

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
積極的 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	101	101	103	109	105	102
	実施者数(人)	40歳～64歳	26	31	39	49	53	61
動機付け 支援	対象者数(人)	40歳～64歳	41	40	40	42	43	44
		65歳～74歳	100	100	98	100	97	91
	実施者数(人)	40歳～64歳	17	18	19	20	23	25
		65歳～74歳	44	47	50	54	56	56

(3) 実施方法

① 特定健康診査の実施方法

ア. 対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)。ただし、妊産婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

イ. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

ウ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

健診項目

■ 基本的な健診項目(全員に実施)
○質問票(服薬歴、喫煙歴等) ○身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)
○血圧測定 ○理学的検査(身体診察) ○尿検査(尿糖、尿蛋白)
○血液検査
・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)
・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c)
・肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))
■ 詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)
○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)
○血清クレアチニン検査(eGFRによる腎機能の評価を含む)

エ. 実施時期

6月から10月に実施する。

オ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

②特定保健指導の実施方法

ア. 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c (NGSP値) 5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

イ. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

ウ. 実施項目

保健指導レベルに応じた内容の保健指導を実施する。

保健指導の内容

	支援形態	支援内容
積極的支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。 b. 3カ月以上の継続支援 個別支援、グループ支援の他、電 話、e-mail等の通信手段を組み合 わせて行う。 c. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	特定健康診査の結果から、対象者自らが自分の身体に起こっている変化を理解し、生活習慣改善の必要性を実感できるような働きかけを行う。また、具体的に実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援する。支援者は目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。
動機付け支援	a. 初回面接 一人当たり20分以上の個別支援、 または1グループ当たりおおむね 80分以上のグループ支援。 b. 3カ月経過後の評価 面接または通信手段を利用して行 う。	対象者自らが、自分の生活習慣の改善すべき点を自覚することで行動目標を設定し、目標達成に向けた取り組みが継続できるように動機付け支援を行う。

エ. 実施時期

7月から翌年度6月に実施する。

オ. 案内方法

対象者に対して、特定保健指導利用券を発送する。

(4) 実施スケジュール

	実施項目	当年度												次年度					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
特定健康 診査	対象者抽出	⇔																	
	受診券送付		⇔																
	特定健康診査実施			⇔															
	未受診者受診勧奨			⇔															
特定保健 指導	対象者抽出			⇔															
	利用券送付			⇔															
	特定保健指導実施			⇔															
	未利用者利用勧奨			⇔															
	前年度の評価					⇔													
	次年度の計画							⇔											

7. その他

(1) 個人情報の保護

① 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行い、役員・職員の義務(データの正確性の確保、漏洩防止措置、従業者の監督、委託先の監督)について周知を図る。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に明示し、委託先の契約遵守状況を管理する。

② データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。また、他の医療保険に異動する等で被保険者でなくなった場合は、異動年度の翌年度末まで保管し、その後適切に破棄する。

(2) 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とあるため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

(3) 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

① 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

② 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況の評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

(4) 事業運営上の留意事項

① 各種検(健)診等との連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

② 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導の対象となる年代だけでなく、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

卷末資料

1. 地区分析
2. 年度別 特定健康診査結果分析
3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方
4. 用語解説集
5. 疾病分類

■データ分析期間

- ・入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

1. 地区分析

(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【下野田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,276,791	6.4%	6	702	10	175	7	70,153	6
II. 新生物<腫瘍>	30,794,487	16.1%	1	515	13	141	11	218,401	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	302,743	0.2%	17	195	17	40	16	7,569	19
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	15,616,600	8.2%	5	2,720	2	246	4	63,482	7
V. 精神及び行動の障害	24,030,407	12.6%	3	721	9	74	14	324,735	1
VI. 神経系の疾患	6,753,702	3.5%	11	1,326	6	142	10	47,561	9
VII. 眼及び付属器の疾患	10,002,883	5.2%	8	981	7	196	6	51,035	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	874,777	0.5%	15	247	15	63	15	13,885	17
IX. 循環器系の疾患	28,403,258	14.9%	2	3,007	1	262	3	108,409	3
X. 呼吸器系の疾患	9,745,637	5.1%	9	1,765	4	313	1	31,136	10
X I. 消化器系の疾患 ※	8,575,001	4.5%	10	2,189	3	279	2	30,735	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,534,583	1.9%	13	765	8	174	8	20,314	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,937,283	11.0%	4	1,658	5	226	5	92,643	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,268,216	6.4%	7	522	12	114	13	107,616	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	61,233	0.0%	19	10	19	4	20	15,308	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,190	0.0%	21	2	21	1	21	2,190	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	30,419	0.0%	20	9	20	5	18	6,084	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,973,206	1.0%	14	610	11	157	9	12,568	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,588,049	1.9%	12	435	14	125	12	28,704	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	822,449	0.4%	16	241	16	38	17	21,643	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	103,016	0.1%	18	23	18	5	18	20,603	14
合計	190,696,930			8,262		530		359,806	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【漆原】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,956,863	3.8%	11	651	12	190	8	36,615	11
II. 新生物<腫瘍>	19,576,823	10.8%	2	586	13	136	11	143,947	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,805,026	1.5%	14	212	16	56	16	50,090	10
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	17,770,992	9.8%	4	2,588	2	263	4	67,570	8
V. 精神及び行動の障害	14,753,141	8.1%	6	774	8	67	14	220,196	2
VI. 神経系の疾患	18,890,049	10.4%	3	1,115	6	121	13	156,116	3
VII. 眼及び付属器の疾患	6,473,912	3.6%	12	956	7	222	6	29,162	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	687,409	0.4%	16	231	15	61	15	11,269	19
IX. 循環器系の疾患	26,421,820	14.6%	1	2,908	1	268	3	98,589	5
X. 呼吸器系の疾患	11,154,480	6.2%	8	1,701	5	320	1	34,858	12
X I. 消化器系の疾患 ※	8,670,774	4.8%	10	2,095	3	288	2	30,107	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,276,607	1.3%	15	771	9	200	7	11,383	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14,828,866	8.2%	5	1,806	4	240	5	61,787	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,776,364	7.1%	7	702	11	130	12	98,280	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	141,480	0.1%	20	14	20	6	20	23,580	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	588,906	0.3%	17	2	21	2	21	294,453	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	218,914	0.1%	19	45	18	16	18	13,682	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,764,347	2.6%	13	751	10	159	9	29,964	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	11,027,574	6.1%	9	453	14	140	10	78,768	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	236,056	0.1%	18	156	17	28	17	8,431	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	31,357	0.0%	21	19	19	8	19	3,920	21
合計	181,051,760			8,376		583		310,552	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【小倉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,192,597	1.1%	15	249	13	77	10	15,488	15
II. 新生物<腫瘍>	14,081,370	12.4%	2	244	14	65	12	216,636	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	278,522	0.2%	17	47	17	19	16	14,659	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	8,919,450	7.9%	6	1,285	2	126	4	70,789	8
V. 精神及び行動の障害	10,335,834	9.1%	5	424	7	39	14	265,021	2
VI. 神経系の疾患	5,356,988	4.7%	10	577	6	66	11	81,166	7
VII. 眼及び付属器の疾患	4,389,269	3.9%	12	326	10	102	6	43,032	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	675,117	0.6%	16	102	15	30	15	22,504	14
IX. 循環器系の疾患	16,410,537	14.5%	1	1,478	1	132	3	124,322	4
X. 呼吸器系の疾患	7,173,856	6.3%	7	850	4	171	1	41,952	12
X I. 消化器系の疾患 ※	6,399,423	5.6%	8	957	3	137	2	46,711	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,084,520	2.7%	13	347	9	84	7	36,720	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,210,622	9.9%	4	766	5	118	5	95,005	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,709,314	4.1%	11	275	12	55	13	85,624	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	11,800	0.0%	21	6	21	3	20	3,933	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,299,838	10.8%	3	7	20	1	21	12,299,838	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	57,233	0.1%	18	22	18	6	18	9,539	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,226,966	1.1%	14	350	8	80	8	15,337	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5,660,063	5.0%	9	298	11	80	8	70,751	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	26,922	0.0%	20	60	16	14	17	1,923	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	42,019	0.0%	19	14	19	5	19	8,404	19
合計	113,542,260			3,991		281		404,065	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【上野田】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,883,282	2.5%	12	536	13	173	9	28,227	11
II. 新生物<腫瘍>	32,634,827	16.8%	1	633	12	152	10	214,703	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,433,570	1.3%	14	229	16	61	16	39,895	9
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	18,693,660	9.6%	4	2,921	2	277	4	67,486	7
V. 精神及び行動の障害	13,272,217	6.8%	6	779	8	89	14	149,126	2
VI. 神経系の疾患	6,075,605	3.1%	10	1,297	6	152	10	39,971	8
VII. 眼及び付属器の疾患	5,524,698	2.8%	11	983	7	219	6	25,227	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,593,228	0.8%	16	281	15	79	15	20,167	15
IX. 循環器系の疾患	32,275,954	16.6%	2	3,311	1	286	3	112,853	3
X. 呼吸器系の疾患	9,168,838	4.7%	9	1,810	5	348	1	26,347	12
X I. 消化器系の疾患 ※	10,931,054	5.6%	7	2,174	3	306	2	35,722	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,731,992	1.4%	13	710	10	176	7	15,523	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	25,047,354	12.9%	3	1,877	4	238	5	105,241	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,901,316	7.7%	5	683	11	138	13	107,981	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	104,557	0.1%	19	7	20	4	20	26,139	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	53,669	0.0%	20	27	19	9	19	5,963	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,343,715	1.2%	15	716	9	174	8	13,470	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	10,763,601	5.5%	8	459	14	152	10	70,813	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	484,185	0.2%	17	153	17	32	17	15,131	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	233,658	0.1%	18	70	18	14	18	16,690	16
合計	194,150,980			8,890		604		321,442	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【陣場】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	346,448	0.7%	13	114	9	27	8	12,831	13
II. 新生物<腫瘍>	6,114,090	11.5%	2	105	11	27	8	226,448	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	31,583	0.1%	17	27	17	7	16	4,512	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	4,575,833	8.6%	4	618	1	52	2	87,997	6
V. 精神及び行動の障害	18,940,929	35.7%	1	159	8	17	14	1,114,172	1
VI. 神経系の疾患	2,913,845	5.5%	8	234	6	29	7	100,477	4
VII. 眼及び付属器の疾患	714,361	1.3%	10	203	7	44	5	16,235	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	76,165	0.1%	15	32	16	10	15	7,617	16
IX. 循環器系の疾患	4,319,497	8.1%	5	558	2	48	4	89,990	5
X. 呼吸器系の疾患	2,012,757	3.8%	9	328	4	59	1	34,115	9
X I. 消化器系の疾患 ※	3,331,885	6.3%	6	376	3	49	3	67,998	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	231,486	0.4%	14	94	13	26	10	8,903	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,152,627	5.9%	7	298	5	38	6	82,964	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,101,559	9.6%	3	109	10	23	12	221,807	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	707,456	1.3%	11	103	12	24	11	29,477	10
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	417,711	0.8%	12	47	14	19	13	21,985	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	43,502	0.1%	16	39	15	6	17	7,250	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	19,566	0.0%	18	4	18	2	18	9,783	14
合計	53,051,300			1,433		103		515,061	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【大久保】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	14,266,431	3.4%	11	1,787	9	504	7	28,306	14
II. 新生物<腫瘍>	66,563,772	15.9%	2	1,250	13	354	10	188,033	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,238,731	0.5%	16	507	16	139	16	16,106	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	34,500,989	8.3%	5	5,964	2	590	4	58,476	9
V. 精神及び行動の障害	38,847,977	9.3%	3	1,639	10	165	15	235,442	1
VI. 神経系の疾患	18,970,824	4.5%	9	2,803	6	303	13	62,610	7
VII. 眼及び付属器の疾患	18,210,488	4.4%	10	2,592	7	576	6	31,615	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,406,453	0.6%	15	536	15	166	14	14,497	18
IX. 循環器系の疾患	73,520,413	17.6%	1	7,129	1	617	3	119,158	4
X. 呼吸器系の疾患	32,140,225	7.7%	6	4,403	4	841	1	38,217	10
X I. 消化器系の疾患 ※	27,174,083	6.5%	7	5,219	3	724	2	37,533	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,440,028	2.3%	13	2,136	8	458	8	20,611	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	35,006,629	8.4%	4	4,003	5	584	5	59,943	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,252,632	6.1%	8	1,561	11	328	11	76,990	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	976,758	0.2%	17	35	20	12	20	81,397	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	642,574	0.2%	19	9	21	5	21	128,515	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	209,610	0.1%	20	45	19	19	18	11,032	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,657,224	1.6%	14	1,426	12	379	9	17,565	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,508,936	2.3%	12	1,013	14	321	12	29,623	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	734,158	0.2%	18	433	17	80	17	9,177	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	83,315	0.0%	21	49	18	16	19	5,207	21
合計	417,352,250			20,359		1,424		293,084	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【南下】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,308,723	1.3%	14	395	10	103	8	12,706	16
II. 新生物<腫瘍>	12,369,678	12.0%	4	342	13	77	12	160,645	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	175,906	0.2%	16	123	16	22	16	7,996	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	12,526,590	12.2%	3	1,815	2	153	4	81,873	4
V. 精神及び行動の障害	13,986,726	13.6%	2	498	9	48	14	291,390	1
VI. 神経系の疾患	3,934,129	3.8%	10	927	6	88	11	44,706	8
VII. 眼及び付属器の疾患	3,463,797	3.4%	11	667	7	140	6	24,741	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	776,714	0.8%	15	128	15	41	15	18,944	12
IX. 循環器系の疾患	14,277,115	13.9%	1	2,229	1	185	3	77,174	5
X. 呼吸器系の疾患	6,174,723	6.0%	8	1,063	4	195	1	31,665	10
X I. 消化器系の疾患 ※	6,339,406	6.2%	7	1,369	3	189	2	33,542	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,773,108	1.7%	12	550	8	125	7	14,185	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,484,900	8.2%	6	1,015	5	144	5	58,923	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,517,830	11.2%	5	344	12	63	13	182,823	2
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,908	0.0%	20	4	20	3	20	1,636	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	70,438	0.1%	18	23	18	11	18	6,403	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,319,950	1.3%	13	394	11	90	10	14,666	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,265,474	4.1%	9	328	14	94	9	45,377	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	27,105	0.0%	19	67	17	15	17	1,807	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	85,330	0.1%	17	23	18	5	19	17,066	13
合計	102,882,550			5,659		345		298,210	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【北下】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	951,228	1.2%	13	301	10	108	7	8,808	17
II. 新生物<腫瘍>	17,557,842	21.9%	1	230	13	58	13	302,721	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	108,686	0.1%	18	58	16	18	16	6,038	20
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	6,134,388	7.7%	6	1,152	2	121	4	50,697	8
V. 精神及び行動の障害	9,119,277	11.4%	2	290	11	35	15	260,551	3
VI. 神経系の疾患	2,287,670	2.9%	11	699	6	65	12	35,195	10
VII. 眼及び付属器の疾患	3,176,074	4.0%	10	435	8	117	5	27,146	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	838,507	1.0%	14	92	15	40	14	20,963	14
IX. 循環器系の疾患	8,685,666	10.9%	3	1,424	1	124	3	70,046	5
X. 呼吸器系の疾患	5,371,253	6.7%	8	969	3	174	1	30,869	11
X I. 消化器系の疾患 ※	5,559,992	6.9%	7	964	4	143	2	38,881	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,505,669	1.9%	12	449	7	105	8	14,340	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,379,485	9.2%	4	898	5	110	6	67,086	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,236,924	7.8%	5	268	12	66	10	94,499	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	59,609	0.1%	19	4	21	2	21	29,805	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	153,430	0.2%	17	15	19	3	19	51,143	7
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,463,320	4.3%	9	37	18	8	18	432,915	1
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	642,053	0.8%	16	318	9	88	9	7,296	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	766,012	1.0%	15	170	14	66	10	11,606	16
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11,378	0.0%	21	40	17	9	17	1,264	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	26,347	0.0%	20	7	20	3	19	8,782	18
合計	80,034,810			4,222		303		264,141	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,637,892	4.8%	7	154	12	55	8	84,325	6
II. 新生物<腫瘍>	28,931,628	30.1%	1	185	10	37	12	781,936	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,893,468	5.1%	5	116	14	28	14	174,767	3
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	4,550,215	4.7%	8	530	2	62	3	73,391	8
V. 精神及び行動の障害	1,101,010	1.1%	13	228	9	23	15	47,870	11
VI. 神経系の疾患	4,789,802	5.0%	6	418	4	45	10	106,440	5
VII. 眼及び付属器の疾患	982,307	1.0%	14	180	11	60	5	16,372	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	825,036	0.9%	16	39	17	14	16	58,931	9
IX. 循環器系の疾患	21,820,746	22.7%	2	634	1	57	6	382,820	2
X. 呼吸器系の疾患	7,749,327	8.1%	3	376	6	101	1	76,726	7
X I. 消化器系の疾患 ※	2,998,797	3.1%	9	455	3	78	2	38,446	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,190,121	1.2%	12	242	7	49	9	24,288	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,395,773	2.5%	11	387	5	61	4	39,275	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,473,769	5.7%	4	138	13	41	11	133,507	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	12,870	0.0%	19	1	19	1	19	12,870	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	20,655	0.0%	18	22	18	2	18	10,328	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,693,340	2.8%	10	229	8	56	7	48,095	10
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	851,772	0.9%	15	76	15	31	13	27,477	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	249,082	0.3%	17	46	16	8	17	31,135	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	96,167,610			1,902		179		537,249	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【下野田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	17,946,783	9.4%	48
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,867,486	8.3%	13
3	0901 高血圧性疾患	9,971,390	5.2%	194
4	1402 腎不全	9,114,186	4.8%	8
5	0105 ウイルス性肝炎	9,005,011	4.7%	17
6	0402 糖尿病	8,586,428	4.5%	153
7	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	7,865,756	4.1%	69
8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	7,131,571	3.7%	6
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,682,192	3.5%	138
10	0403 脂質異常症	5,569,223	2.9%	144

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【漆原】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0606 その他の神経系の疾患	11,458,551	6.3%	112
2	0901 高血圧性疾患	9,722,888	5.4%	194
3	1402 腎不全	8,451,699	4.7%	10
4	0402 糖尿病	7,861,877	4.3%	143
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,304,437	4.0%	16
6	1901 骨折	6,449,970	3.6%	39
7	0903 その他の心疾患	6,413,058	3.5%	89
8	1113 その他の消化器系の疾患	5,275,837	2.9%	152
9	0105 ウイルス性肝炎	5,068,259	2.8%	29
10	1301 炎症性多発性関節障害	5,035,463	2.8%	52

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【小倉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	12,207,822	10.8%	1
2	0901 高血圧性疾患	5,333,697	4.7%	100
3	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	4,985,896	4.4%	10
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	4,965,488	4.4%	30
5	0402 糖尿病	4,895,972	4.3%	74
6	1113 その他の消化器系の疾患	3,556,772	3.1%	77
7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	3,378,906	3.0%	1
8	0903 その他の心疾患	3,305,081	2.9%	50
9	1309 骨の密度及び構造の障害	3,197,786	2.8%	21
10	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,166,735	2.8%	39

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【上野田】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	14,228,970	7.3%	52
2	1402 腎不全	10,672,232	5.5%	10
3	0402 糖尿病	10,649,369	5.5%	163
4	0901 高血圧性疾患	10,033,031	5.2%	213
5	0912 その他の循環器系の疾患	8,176,570	4.2%	36
6	1901 骨折	8,064,478	4.2%	36
7	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,095,723	3.7%	15
8	0903 その他の心疾患	6,877,554	3.5%	87
9	1113 その他の消化器系の疾患	6,271,938	3.2%	170
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	6,088,252	3.1%	39

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【陣場】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	16,768,741	31.6%	9
2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,586,281	10.5%	5
3	1402 腎不全	4,548,160	8.6%	1
4	0402 糖尿病	2,434,197	4.6%	34
5	1113 その他の消化器系の疾患	1,892,063	3.6%	30
6	0601 パーキンソン病	1,875,571	3.5%	5
7	0901 高血圧性疾患	1,831,874	3.5%	36
8	0403 脂質異常症	1,618,058	3.0%	29
9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	1,072,043	2.0%	7
10	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,021,465	1.9%	17

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【大久保】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	23,728,410	5.7%	47
2	0208 悪性リンパ腫	23,671,456	5.7%	9
3	0903 その他の心疾患	21,923,563	5.3%	220
4	0901 高血圧性疾患	21,840,271	5.2%	407
5	0402 糖尿病	18,336,089	4.4%	359
6	1113 その他の消化器系の疾患	16,714,201	4.0%	400
7	0902 虚血性心疾患	16,657,515	4.0%	143
8	1402 腎不全	14,896,819	3.6%	22
9	1301 炎症性多発性関節障害	11,957,022	2.9%	93
10	0403 脂質異常症	11,870,238	2.8%	308

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【南下】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,459,195	11.1%	13
2	1402 腎不全	9,905,287	9.6%	9
3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	6,604,424	6.4%	3
4	0901 高血圧性疾患	6,414,580	6.2%	130
5	0402 糖尿病	6,043,943	5.9%	96
6	0902 虚血性心疾患	4,139,618	4.0%	40
7	0403 脂質異常症	4,066,839	4.0%	92
8	1113 その他の消化器系の疾患	3,364,454	3.3%	101
9	0606 その他の神経系の疾患	2,539,603	2.5%	84
10	1901 骨折	2,465,707	2.4%	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【北下】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,658,683	15.8%	7
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,693,499	9.6%	11
3	1402 腎不全	5,044,635	6.3%	3
4	0901 高血圧性疾患	4,032,652	5.0%	82
5	1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	3,415,033	4.3%	7
6	0902 虚血性心疾患	2,615,092	3.3%	22
7	0402 糖尿病	2,416,049	3.0%	63
8	1113 その他の消化器系の疾患	2,405,612	3.0%	83
9	1301 炎症性多発性関節障害	2,389,154	3.0%	14
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	2,334,632	2.9%	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0904 くも膜下出血	8,668,589	9.0%	4
2	0209 白血病	7,279,464	7.6%	1
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	6,873,000	7.1%	16
4	0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	5,763,839	6.0%	5
5	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	5,259,765	5.5%	12
6	1011 その他の呼吸器系の疾患	4,207,654	4.4%	32
7	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,308,586	3.4%	12
8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	3,269,664	3.4%	4
9	0105 ウイルス性肝炎	3,253,545	3.4%	7
10	0903 その他の心疾患	3,223,569	3.4%	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【下野田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	9,971,390	194	36.6%
2	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,900,271	174	32.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,124,088	162	30.6%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,973,206	157	29.6%
5	1006	アレルギー性鼻炎	1,828,467	156	29.4%
6	0402	糖尿病	8,586,428	153	28.9%
7	0703	屈折及び調節の障害	615,140	147	27.7%
8	0403	脂質異常症	5,569,223	144	27.2%
8	1003	その他の急性上気道感染症	1,101,886	144	27.2%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,682,192	138	26.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【漆原】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	9,722,888	194	33.3%
2	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,587,347	190	32.6%
3	1003	その他の急性上気道感染症	1,194,042	167	28.6%
3	0703	屈折及び調節の障害	718,441	167	28.6%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,764,347	159	27.3%
6	1113	その他の消化器系の疾患	5,275,837	152	26.1%
7	1006	アレルギー性鼻炎	1,671,635	151	25.9%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,682,718	148	25.4%
9	0402	糖尿病	7,861,877	143	24.5%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	861,840	134	23.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【小倉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	5,333,697	100	35.6%
2	1003 その他の急性上気道感染症	633,572	87	31.0%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,089,219	84	29.9%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,226,966	80	28.5%
4	1006 アレルギー性鼻炎	570,434	80	28.5%
6	1113 その他の消化器系の疾患	3,556,772	77	27.4%
7	0402 糖尿病	4,895,972	74	26.3%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	706,845	72	25.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	268,947	69	24.6%
10	0403 脂質異常症	2,694,875	67	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【上野田】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	10,033,031	213	35.3%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,160,594	200	33.1%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,343,715	174	28.8%
4	1113 その他の消化器系の疾患	6,271,938	170	28.1%
5	0402 糖尿病	10,649,369	163	27.0%
6	0703 屈折及び調節の障害	638,267	162	26.8%
7	1003 その他の急性上気道感染症	1,152,611	161	26.7%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,101,836	154	25.5%
9	1006 アレルギー性鼻炎	1,524,635	151	25.0%
10	0403 脂質異常症	5,474,647	150	24.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【陣場】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	1,831,874	36	35.0%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	299,106	35	34.0%
2	0703 屈折及び調節の障害	117,823	35	34.0%
4	0402 糖尿病	2,434,197	34	33.0%
5	1113 その他の消化器系の疾患	1,892,063	30	29.1%
6	0403 脂質異常症	1,618,058	29	28.2%
6	0606 その他の神経系の疾患	710,011	29	28.2%
8	1006 アレルギー性鼻炎	226,481	27	26.2%
9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	707,456	24	23.3%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	526,627	24	23.3%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	92,588	24	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【大久保】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,841,017	475	33.4%
2	1006 アレルギー性鼻炎	4,345,205	461	32.4%
3	0703 屈折及び調節の障害	1,864,426	442	31.0%
4	0901 高血圧性疾患	21,840,271	407	28.6%
5	1113 その他の消化器系の疾患	16,714,201	400	28.1%
5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	10,499,845	400	28.1%
7	1003 その他の急性上気道感染症	2,860,993	380	26.7%
8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,657,224	379	26.6%
9	0402 糖尿病	18,336,089	359	25.2%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,125,739	339	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【南下】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,307,181	133	38.6%
2	0901 高血圧性疾患	6,414,580	130	37.7%
3	0703 屈折及び調節の障害	391,714	113	32.8%
4	1006 アレルギー性鼻炎	1,169,197	107	31.0%
5	1113 その他の消化器系の疾患	3,364,454	101	29.3%
6	0402 糖尿病	6,043,943	96	27.8%
7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	633,238	93	27.0%
8	0403 脂質異常症	4,066,839	92	26.7%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,817,109	92	26.7%
10	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,319,950	90	26.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【北下】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,273,005	98	32.3%
2	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	582,657	90	29.7%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	642,053	88	29.0%
4	1003 その他の急性上気道感染症	690,675	85	28.1%
4	1006 アレルギー性鼻炎	628,532	85	28.1%
6	1113 その他の消化器系の疾患	2,405,612	83	27.4%
7	0901 高血圧性疾患	4,032,652	82	27.1%
8	0703 屈折及び調節の障害	373,049	78	25.7%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	673,512	77	25.4%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,233,639	72	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下野田	漆原	小倉	上野田	陣場
大久保	南下	北下	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,693,340	56	31.3%
2	1006 アレルギー性鼻炎	496,661	48	26.8%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	561,319	45	25.1%
4	1003 その他の急性上気道感染症	218,516	44	24.6%
4	0703 屈折及び調節の障害	166,124	44	24.6%
6	1113 その他の消化器系の疾患	1,491,842	41	22.9%
7	0606 その他の神経系の疾患	2,426,376	40	22.3%
7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	189,499	40	22.3%
9	0901 高血圧性疾患	1,471,346	37	20.7%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	577,751	37	20.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

2. 年度別 特定健康診査結果分析

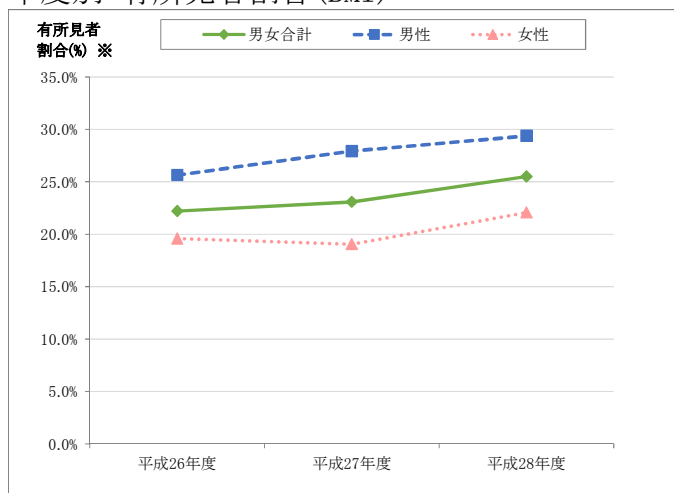
(1) 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	261	317	357
	有所見者割合(%) ※	22.2%	23.1%	25.5%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	130	174	193
	有所見者割合(%) ※	25.6%	27.9%	29.4%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	131	143	164
	有所見者割合(%) ※	19.6%	19.0%	22.1%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

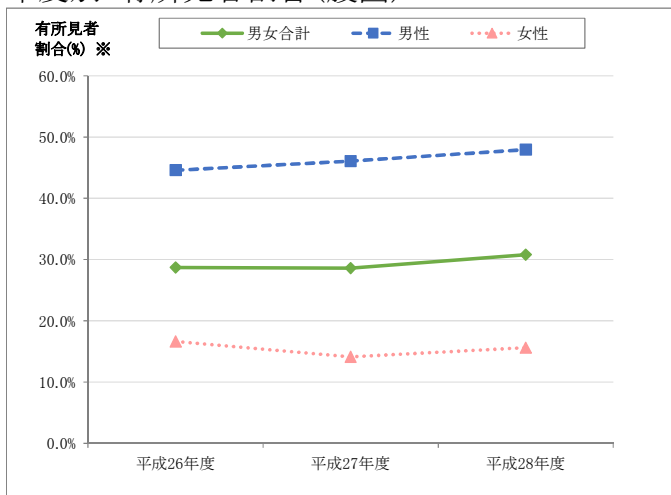
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,175	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	337	393	431
	有所見者割合(%) ※	28.7%	28.6%	30.8%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	226	287	315
	有所見者割合(%) ※	44.6%	46.1%	47.9%
女性	対象者数(人) ※	668	751	743
	有所見者数(人) ※	111	106	116
	有所見者割合(%) ※	16.6%	14.1%	15.6%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

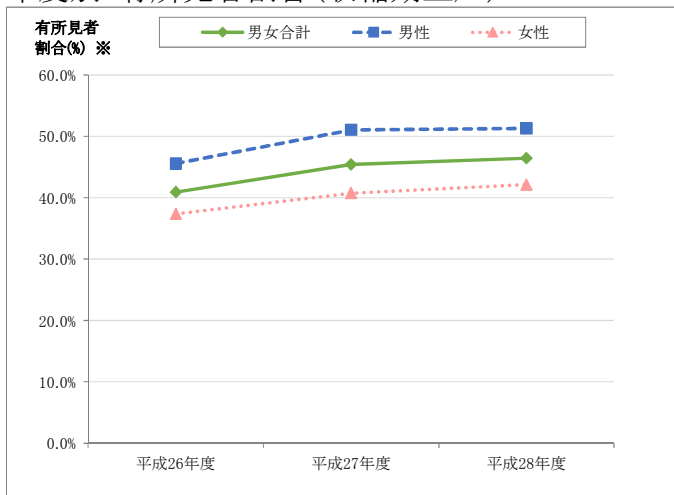
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、 女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	481	624	650
	有所見者割合(%) ※	40.9%	45.4%	46.4%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	231	318	337
	有所見者割合(%) ※	45.6%	51.0%	51.3%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	250	306	313
	有所見者割合(%) ※	37.4%	40.7%	42.1%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

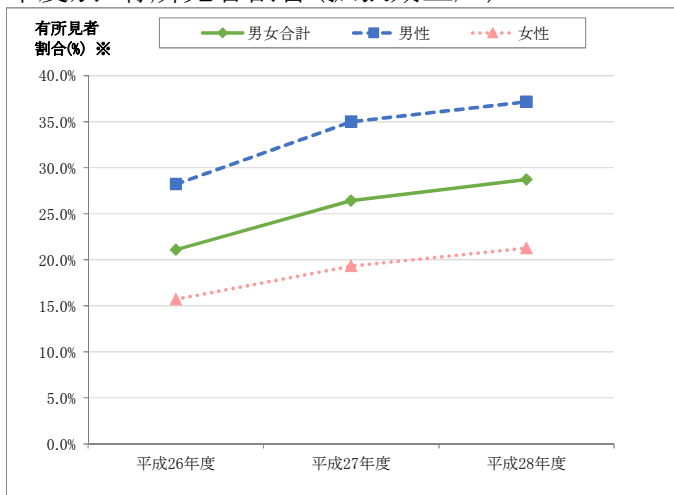
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	248	363	402
	有所見者割合(%) ※	21.1%	26.4%	28.7%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	143	218	244
	有所見者割合(%) ※	28.2%	35.0%	37.1%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	105	145	158
	有所見者割合(%) ※	15.7%	19.3%	21.3%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

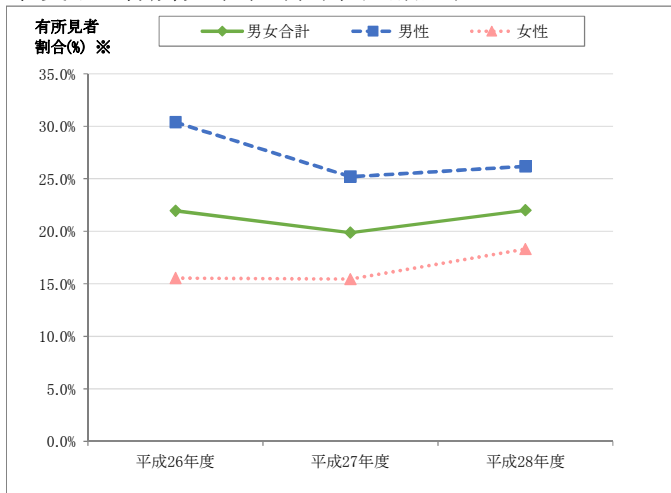
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	258	273	308
	有所見者割合(%) ※	21.9%	19.9%	22.0%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	154	157	172
	有所見者割合(%) ※	30.4%	25.2%	26.2%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	104	116	136
	有所見者割合(%) ※	15.5%	15.4%	18.3%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

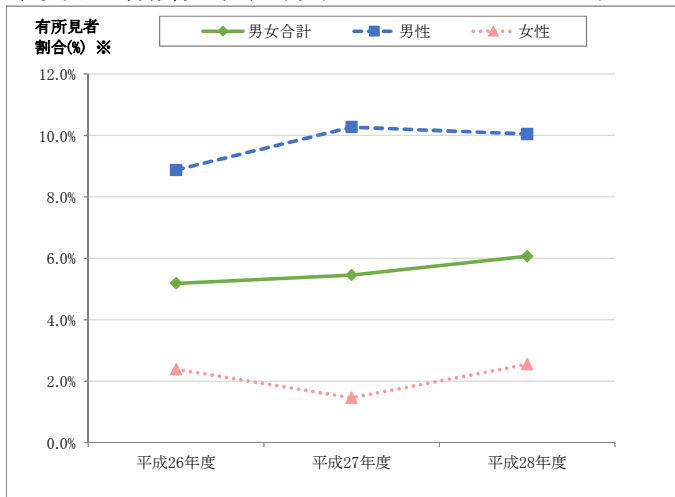
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	61	75	85
	有所見者割合(%) ※	5.2%	5.5%	6.1%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	45	64	66
	有所見者割合(%) ※	8.9%	10.3%	10.0%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	16	11	19
	有所見者割合(%) ※	2.4%	1.5%	2.6%

年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36ヵ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

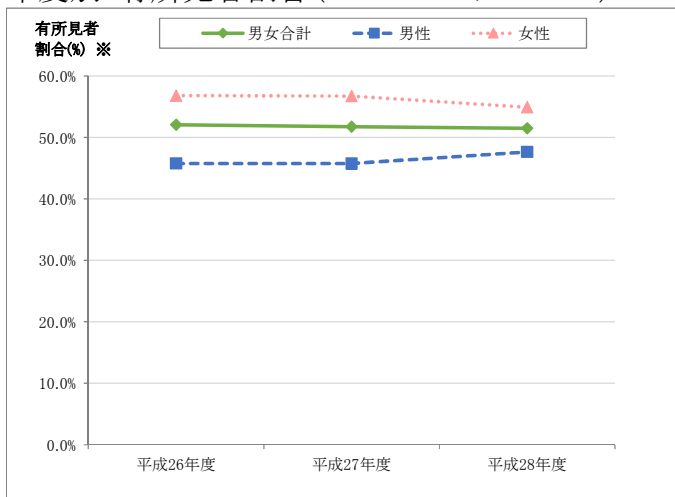
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール：39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	612	711	721
	有所見者割合(%) ※	52.0%	51.7%	51.5%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	232	285	313
	有所見者割合(%) ※	45.8%	45.7%	47.6%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	380	426	408
	有所見者割合(%) ※	56.8%	56.7%	54.9%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

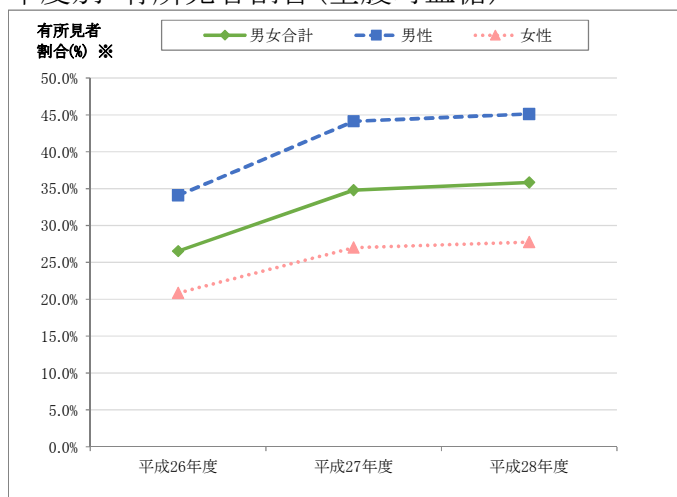
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,041	1,236	1,214
	有所見者数(人) ※	276	430	435
	有所見者割合(%) ※	26.5%	34.8%	35.8%
男性	対象者数(人) ※	446	562	565
	有所見者数(人) ※	152	248	255
	有所見者割合(%) ※	34.1%	44.1%	45.1%
女性	対象者数(人) ※	595	674	649
	有所見者数(人) ※	124	182	180
	有所見者割合(%) ※	20.8%	27.0%	27.7%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

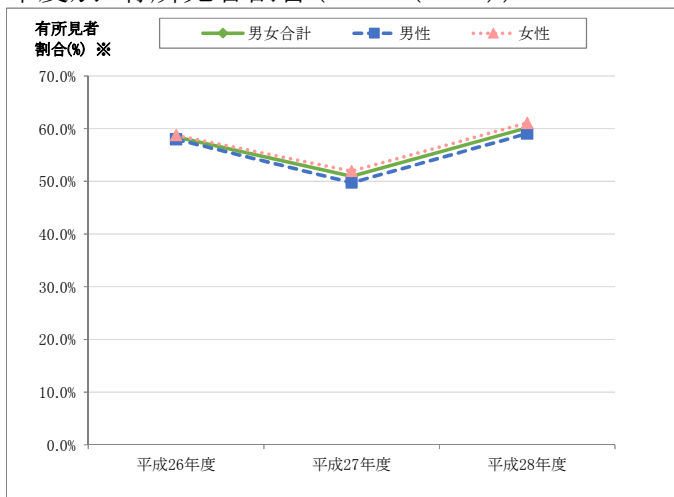
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	有所見者数(人) ※	687	700	842
	有所見者割合(%) ※	58.4%	50.9%	60.1%
男性	対象者数(人) ※	507	623	657
	有所見者数(人) ※	294	310	388
	有所見者割合(%) ※	58.0%	49.8%	59.1%
女性	対象者数(人) ※	669	751	743
	有所見者数(人) ※	393	390	454
	有所見者割合(%) ※	58.7%	51.9%	61.1%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c: 5.6%以上

(2) 質問別回答状況

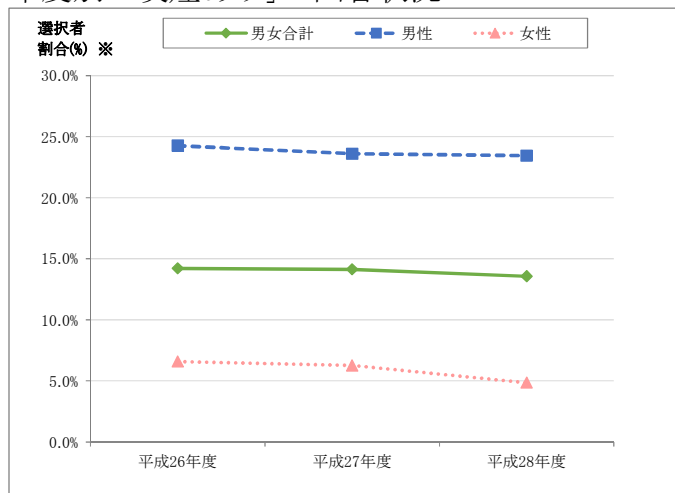
平成26年度から平成28年度特定健康診査の質問票における喫煙・運動習慣・食習慣・飲酒習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,176	1,374	1,400
	選択者数(人) ※	167	194	190
	選択者割合(%) ※	14.2%	14.1%	13.6%
男性	質問回答者数(人) ※	507	623	657
	選択者数(人) ※	123	147	154
	選択者割合(%) ※	24.3%	23.6%	23.4%
女性	質問回答者数(人) ※	669	751	743
	選択者数(人) ※	44	47	36
	選択者割合(%) ※	6.6%	6.3%	4.8%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者数割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

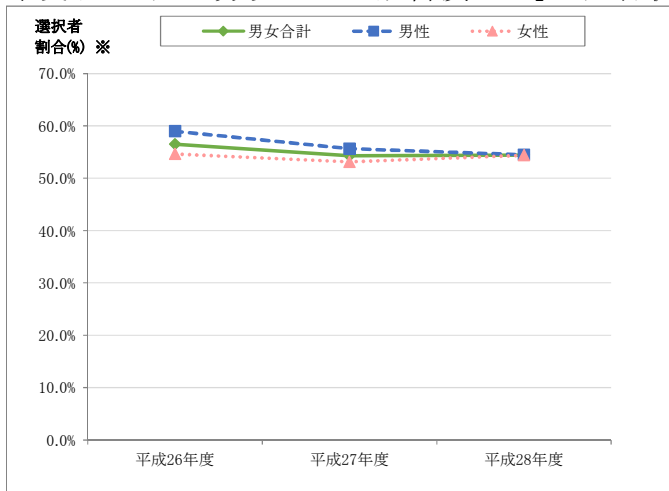
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,175	1,373	1,400
	選択者数(人) ※	664	745	762
	選択者割合(%) ※	56.5%	54.3%	54.4%
男性	質問回答者数(人) ※	507	622	657
	選択者数(人) ※	299	346	358
	選択者割合(%) ※	59.0%	55.6%	54.5%
女性	質問回答者数(人) ※	668	751	743
	選択者数(人) ※	365	399	404
	選択者割合(%) ※	54.6%	53.1%	54.4%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

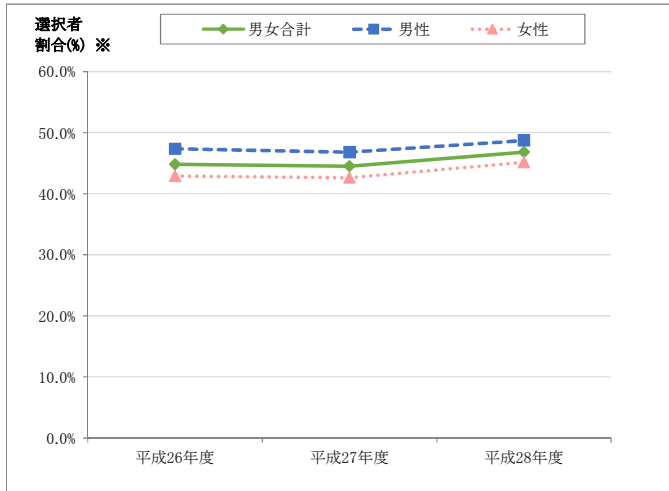
※選択者数割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,176	1,373	1,399
	選択者数(人) ※	527	611	655
	選択者割合(%) ※	44.8%	44.5%	46.8%
男性	質問回答者数(人) ※	507	622	657
	選択者数(人) ※	240	291	320
	選択者割合(%) ※	47.3%	46.8%	48.7%
女性	質問回答者数(人) ※	669	751	742
	選択者数(人) ※	287	320	335
	選択者割合(%) ※	42.9%	42.6%	45.1%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者数割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

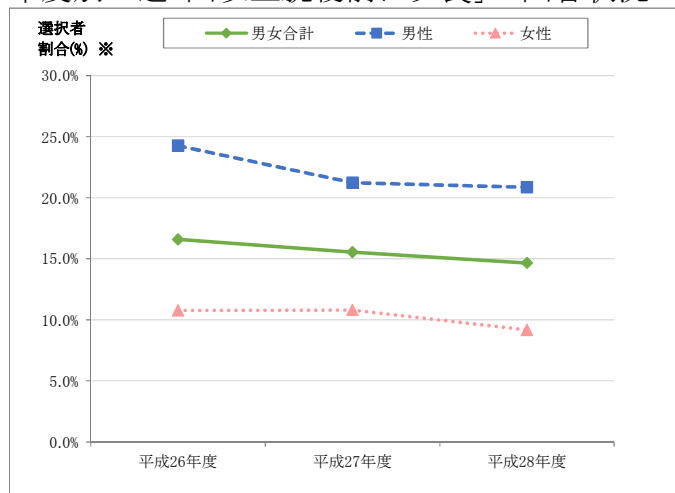
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,176	1,372	1,399
	選択者数(人) ※	195	213	205
	選択者割合(%) ※	16.6%	15.5%	14.7%
男性	質問回答者数(人) ※	507	622	657
	選択者数(人) ※	123	132	137
	選択者割合(%) ※	24.3%	21.2%	20.9%
女性	質問回答者数(人) ※	669	750	742
	選択者数(人) ※	72	81	68
	選択者割合(%) ※	10.8%	10.8%	9.2%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

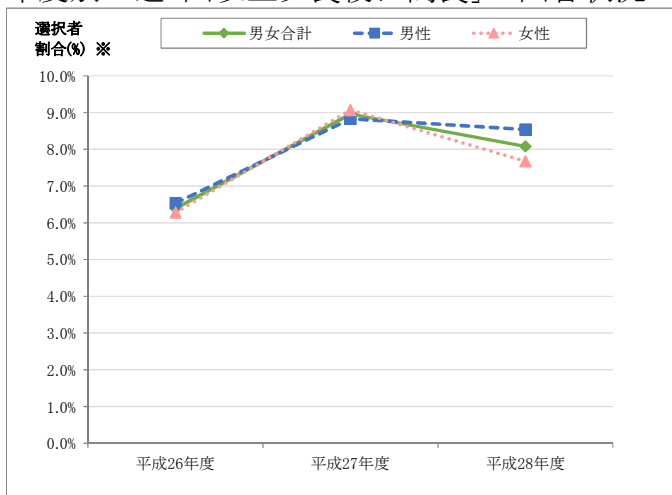
※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,174	1,373	1,399
	選択者数(人) ※	75	123	113
	選択者割合(%) ※	6.4%	9.0%	8.1%
男性	質問回答者数(人) ※	505	623	656
	選択者数(人) ※	33	55	56
	選択者割合(%) ※	6.5%	8.8%	8.5%
女性	質問回答者数(人) ※	669	750	743
	選択者数(人) ※	42	68	57
	選択者割合(%) ※	6.3%	9.1%	7.7%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…特定健康診査を受診した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

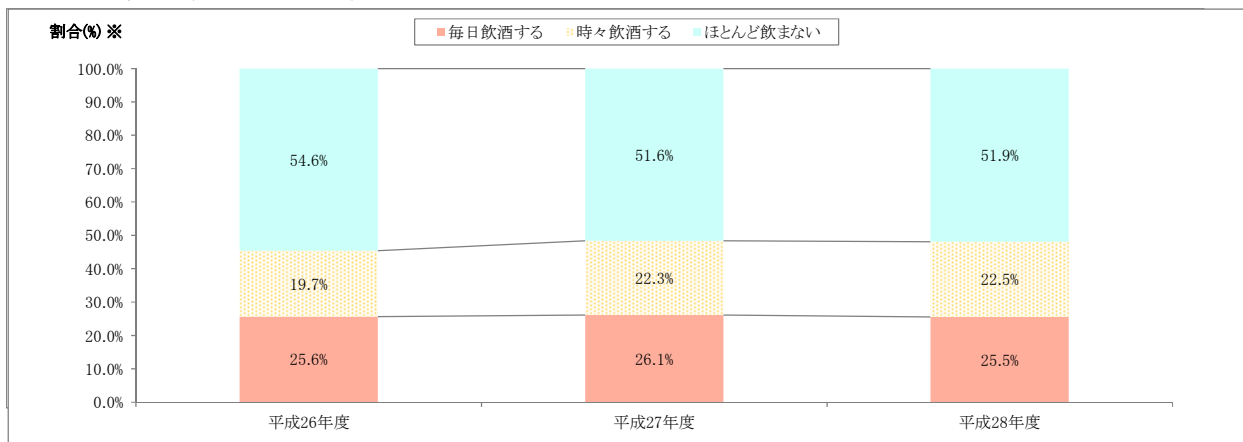
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,175	301	25.6%	232	19.7%	642	54.6%
平成27年度	1,373	358	26.1%	306	22.3%	709	51.6%
平成28年度	1,398	357	25.5%	315	22.5%	726	51.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

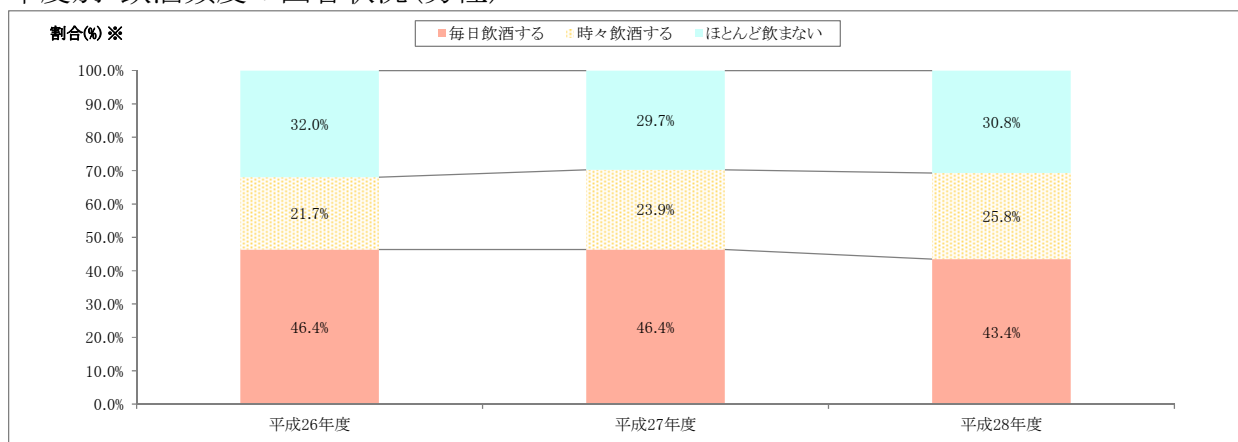
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	507	235	46.4%	110	21.7%	162	32.0%
平成27年度	623	289	46.4%	149	23.9%	185	29.7%
平成28年度	656	285	43.4%	169	25.8%	202	30.8%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

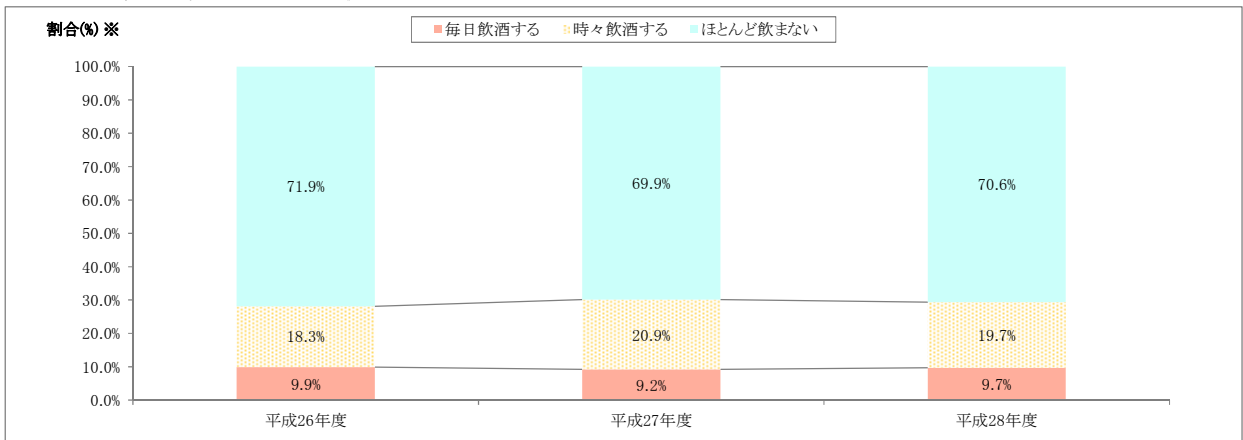
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	668	66	9.9%	122	18.3%	480	71.9%
平成27年度	750	69	9.2%	157	20.9%	524	69.9%
平成28年度	742	72	9.7%	146	19.7%	524	70.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

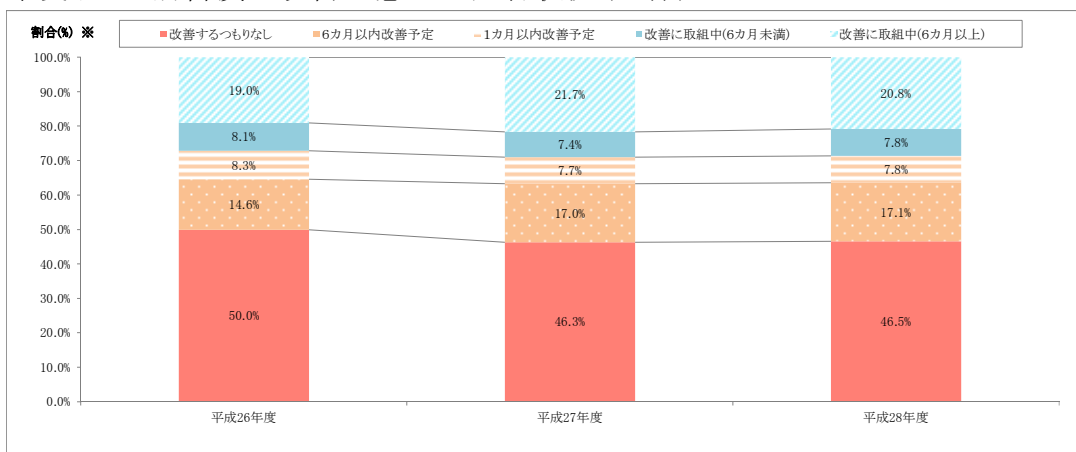
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6か月以内改善予定		1か月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,161	580	50.0%	170	14.6%	96	8.3%
平成27年度	1,367	633	46.3%	232	17.0%	105	7.7%
平成28年度	1,393	648	46.5%	238	17.1%	109	7.8%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6か月未満)		改善に取組中(6か月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,161	94	8.1%	221	19.0%
平成27年度	1,367	101	7.4%	296	21.7%
平成28年度	1,393	108	7.8%	290	20.8%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

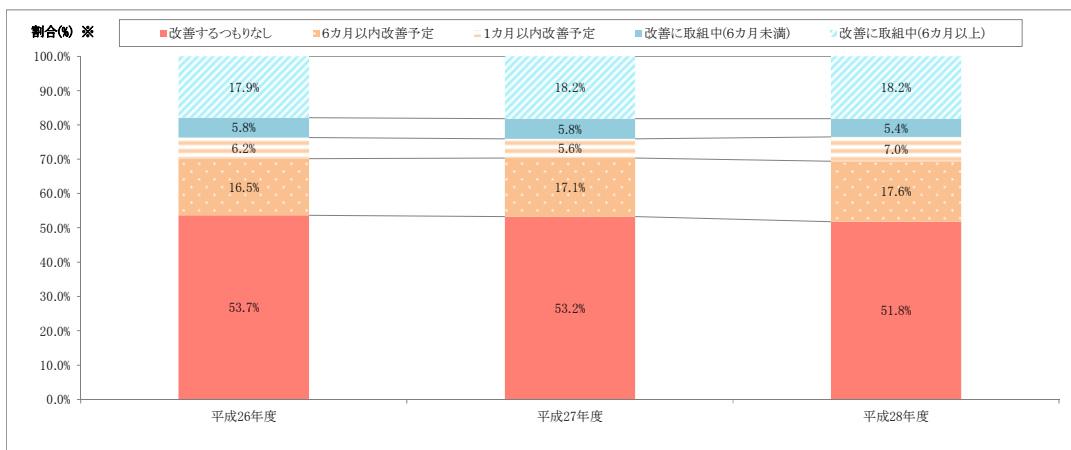
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	503	270	53.7%	83	16.5%	31	6.2%
平成27年度	620	330	53.2%	106	17.1%	35	5.6%
平成28年度	654	339	51.8%	115	17.6%	46	7.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	503	29	5.8%	90	17.9%
平成27年度	620	36	5.8%	113	18.2%
平成28年度	654	35	5.4%	119	18.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

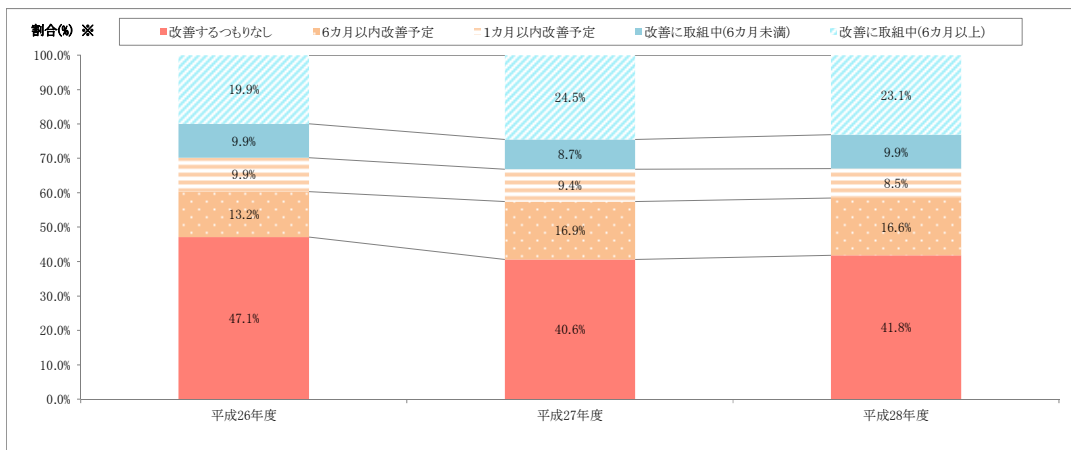
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6か月以内改善予定		1か月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	658	310	47.1%	87	13.2%	65	9.9%
平成27年度	747	303	40.6%	126	16.9%	70	9.4%
平成28年度	739	309	41.8%	123	16.6%	63	8.5%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6か月未満)		改善に取組中(6か月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	658	65	9.9%	131	19.9%
平成27年度	747	65	8.7%	183	24.5%
平成28年度	739	73	9.9%	171	23.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

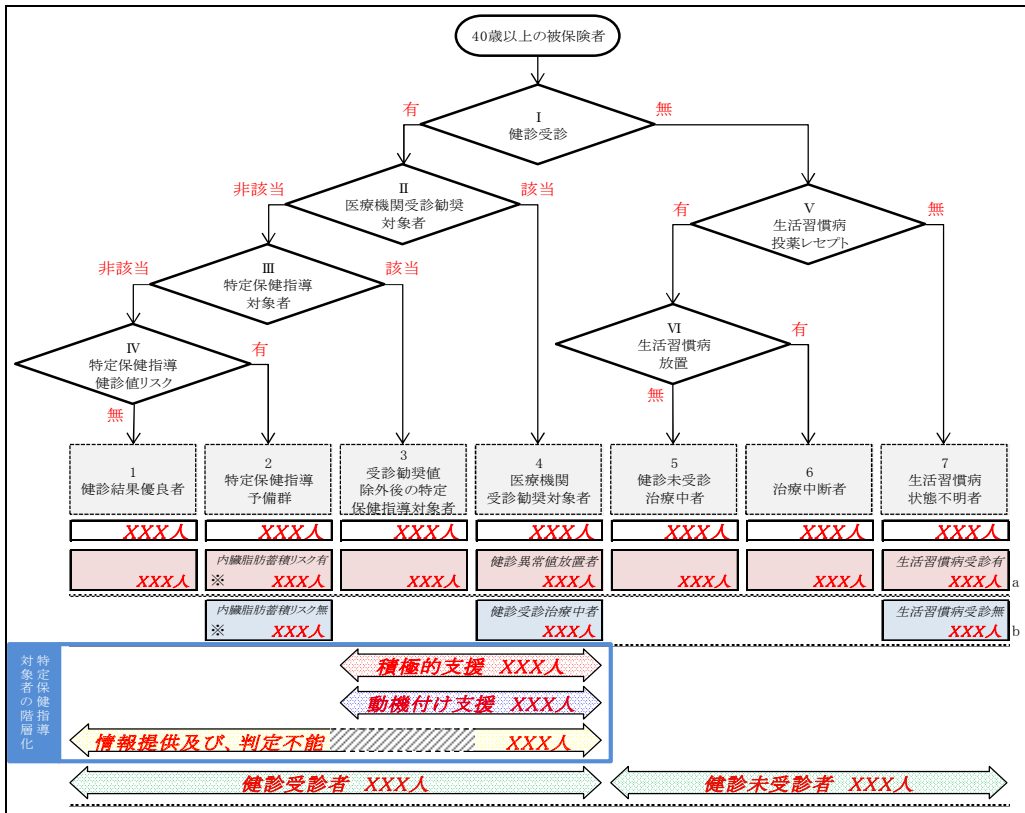
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

3. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

4. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3ヶ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、6か月後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	安倍内閣が掲げる成長戦略。日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

5. 疾病分類

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	グループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頰腕症候群	頰肩腕症候群	頰肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ベースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		